

ScanSnap
Color Image Scanner
S300M

オペレーターガイド



はじめに



このたびは、カラーイメージスキャナ スキャンスナップ ScanSnap S300M（以下、ScanSnap と呼びます。）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ScanSnap は、両面原稿をカラーで読み取ることのできるスキャナです。

ScanSnap には、以下のような特長があります。

■ ボタンを押すだけで、紙を PDF 化できます！

机の上にたまっている書類を、PDF 化してコンピュータで表示・編集・管理・保管できます。

PDF ファイルは、印刷したり、メールに添付して配布したりするのに便利です。

また、ScanSnap は、カラー原稿／白黒原稿を自動識別して読み取ることができるので、カラー／白黒混在の原稿を読み取る場合にファイルサイズを小さくすることができます。（白紙ページの削除もでき、さらにファイルサイズを小さくすることができます。）

■ 読み取りが快適です！

A4 サイズの両面カラー原稿を以下のスピードで読み取ります。

- 電源ケーブル接続時：約 8 枚／分
- 給電ケーブル接続時：約 4 枚／分

（Intel® Core™ Duo プロセッサ 1.83GHz 以上のプロセッサ、読み取りモードはノーマル、かつカラーモードは自動で、圧縮率が 3、その他の設定が初期値の場合）（*）

- *) ・白黒データとして読み込む場合、原稿によっては読み取りスピードが遅くなる場合があります。（カラーで読み込んだ画像を白黒に変換しているためです。）
例：カラーのパンフレットを白黒モードで読み込んだ場合。
・白紙ページ自動削除、原稿傾き補正が有効になっていると、読み取りスピードが遅くなる場合があります。

■ 机上で場所をとりません！

A4 より小さいサイズなので、常に机の上に置いておくことができます。

■ 軽量・コンパクトで持ち運びも可能です！

軽くて小さいので、ラップトップコンピュータと一緒に持ち運び、外出先で使うことができます。また、コンピュータに給電ケーブルで接続すれば、電源も不要です。

■ ScanSnap クイックメニューで、初心者にもやさしく操作できます！

[スキャン] ボタンで読み取ると、メニュー画面が表示され、あとは、希望の動作を選択するだけ。初めての方でもすぐに使いこなせます。（ScanSnap クイックメニュー使用時）

■ 紙文書をダイレクトに、メール添付、印刷できます！

特定のアプリケーションを起動しなくても、直接メールに添付したり、プリンタで印刷してコピー機代わりに利用したりすることができます。

注) ScanSnap は、TWAIN・ISIS 規格に準拠していません。

本書は、ScanSnap の取り扱い方、および基本的な操作方法について説明しています。ご使用の際には、本書をお読みになり、ScanSnap を正しくご使用くださるよう、お願いいたします。

Apple、Apple ロゴ、Mac、Mac OS、iPhoto、Macintosh は、Apple Inc. の商標です。
Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Adobe Reader、Acrobat Reader は Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の登録商標です。
Intel、および Intel Core は、Intel Corporation の登録商標または商標です。
ISIS は、EMC Corporation の米国における登録商標です。
PowerPC は、IBM Corp. の商標です。
ScanSnap および ScanSnap ロゴは、株式会社 PFU の日本における登録商標です。
その他、本書中の商品名や製品名は、各社の登録商標または商標です。

電波自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化促進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにロゴは参加各国の間で統一されています。



高調波ガイドラインについて

JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第 3-2 部：限度値—高調波電流発生限度値（1 相当りの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

グリーン製品について

本製品は、当社の厳しい環境評価基準（リサイクル、省エネルギー化、環境にやさしい素材の採用など）をクリアした地球にやさしい「グリーン製品」として提供しています。

詳細は富士通ホームページ「富士通の環境活動」をご参照ください。

<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/>



複製についてのご注意

紙幣、貨幣、政府発行の有価証券およびパスポート、公共団体や民間団体の発行の免許証、許可書、公文書、私文書などの複製は違法となります。処罰の対象となりますので、おやめください。

紙幣などの偽造防止について

紙幣、有価証券などをスキャナを使用して読み取り、プリンタで不正に印刷すると、その印刷物の使用の如何にかかわらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律

刑法 第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法 第 1 条、第 2 条など

ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する損害につきましては、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても当社は一切その責任を負いません。

著作権について

書籍、絵画、版画、地図、図面および写真などの著作物は、個人的にまたは家庭内のその他、これらに準ずる限られた範囲内で使用する用途以外は、権利者の許可なしに複製することはできません。

本製品の海外への持ち出しについて

本製品（ソフトウェアを含む）は、日本国内専用ですので、日本国内でご使用ください。海外における使用に関しては、当社は一切その責任を負いません。

免責事項

読み取り画像の原稿再現性について

本製品によって原稿を読み取ってつくられる読み取り画像データがお客様の必要とする精度・品質を満たしていること、たとえば寸法精度、情報量、忠実度、色調等における原稿イメージの再現性をご確認ください。

また、読み取った原稿を破棄する際は、必ず、読み取り画像データを点検し、欠落のないことを確認した上でお客様の責任において行ってください。

以下のような場合、読み取り画像データの一部が欠けたり、損失する場合がありますので、マニュアルに従って、次の点にご注意ください。

- 1) 原稿の状態（シワ、折れ、穴あきなど）をご確認ください。
- 2) 装置内部の清掃をこまめに行ってください。
- 3) 消耗品は定期的にお取り替えください。

- 原稿の状態によっては、読み取った画像にかすれ、ゆがみ、汚れ、欠けなどが発生して、読み取り画像データの一部あるいは全部が欠落する場合があります。
- 装置内部が汚れた状態で読み取りを行うと、読み取った画像にかすれ、ゆがみ、汚れ、欠けなどが発生して、読み取り画像データの一部あるいは全部が欠落する場合があります。
- 読み取り設定（読み取りモード、カラーモード、読み取り面、自動傾き補正、自動白紙ページ除去機能など）が不適切な場合は、以下のような不具合が発生することがあります。
 - － 解像度不足で文字が不鮮明となる
 - － カラー原稿の読み取り画像が白黒となる
 - － 両面原稿の片面しか読み取られない
 - － 画像の一部が欠けたり、サイズが縮小される
 - － 白紙ページが削除されない、または必要ページまで削除される
- 原稿の状態（シワ、折れ、穴あきなど）あるいは消耗品の状態により、複数枚の原稿を同時に送り（マルチフィード）、読み取ったデータにページ抜けが発生する場合があります。
- 原稿の紙質が指定外の場合、あるいは指定内の紙質であっても原稿の状態（シワ、折れ、穴あきなど）や装置内の紙送り機構・消耗品の状態により原稿づまりが発生することがあります。この場合原稿データの一部あるいは全部が欠落する場合があります。（原稿づまりにより原稿を損傷することがあります。原稿づまりを防止するため読み取る原稿と同質・同サイズの紙を用いた事前の搬送試験をお勧めします。）
- 蛍光マーカーを使用した原稿の場合、マーカー色や濃度により色を読み取れないことがあります。（ご使用のマーカー色が再現可能か、事前確認をしてください。）

バスパワー駆動時の制限について

コンピュータから電源を供給して使用する場合、以下の制限があります。

- 電源供給のない USB ハブに接続した場合、正常に動作しません。
- PC カードの USB ポートに接続した場合、正常に動作しません。
- 給電ケーブルと USB ケーブルは同一コンピュータ、または同一の電源付き（AC アダプター付き）の USB ハブに接続してください。
- ご使用のコンピュータの USB ポートに複数のバスパワー機器が接続されている場合、コンピュータの USB バス電源供給性能によっては、正常に動作しない場合があります。
- ご使用のコンピュータの USB バス電源供給性能によっては、接続されているその他の USB 接続機器の動作を不安定にする場合があります。

製造・販売元

株式会社 PFU
〒 212-8563
神奈川県川崎市幸区堀川町 580 番地（ソリッドスクエア東館）
TEL: 044-540-4538

2008 年 2 月 初 版

お願い

- 本書を無断で他に転載しないようお願いします。
- 本書は予告なしに変更されることがあります。

All Rights Reserved, Copyright© PFU LIMITED 2008

■ 本書で使用している警告表示について

本書では、使用者および周囲の方の身体や財産に損害を与えないための警告表示をしています。警告表示は、警告レベルの記号と警告文で構成しています。以下に、警告レベルの記号とその意味について説明します。

記号	説明
 警告	この記号は、正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うことがあり得ることを示しています。
 注意	この記号は、正しく使用しない場合、軽傷または中程度の傷害を負うことがあり得ることと、当該製品自体またはその他の使用者などの財産に損害が生じる危険性があることを示しています。

■ 安全上のご注意

本書には、ScanSnap を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。ScanSnap をお使いになる前に、本書をよくお読みになり、理解された上で ScanSnap をお使いください。

また、本書は、ScanSnap をご使用中に、いつでも参照できるよう大切に保管してください。

ScanSnap に関する重要な警告事項は以下のとおりです。ScanSnap を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

電源についてのご注意



- 濡れた手で電源プラグまたは給電ケーブルを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 故障の処置を行う場合は、必ず①または②をしてください。①または②をしないで故障の処置を行うと、感電の原因となることがあります。
 - ①電源プラグをコンセントから抜く。
 - ②給電ケーブル、接続ケーブルを抜く。
- 電源プラグは、交流 100V、15A 専用コンセント以外には差し込まないでください。たこ足配線をしないでください。火災や感電の原因となります。
- 電源ケーブルまたは給電ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。電源ケーブルまたは給電ケーブルを傷め、火災や感電の原因となります。
- 必ず ScanSnap 付属の電源ケーブルまたは給電ケーブルをお使いください。延長コードは使わないでください。異常な発熱や火災の原因となります。
- 電源ケーブルや給電ケーブルが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。修理は、株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (205 ページ) にご連絡ください。
- 電源プラグやコンセント、または給電ケーブルに、ほこりが付着している場合は、乾いた布でよくふいてください。そのまま使用すると、火災の原因となります。

- 以下のようなときには、ただちに使用を中止し、①または②を実施してください。
そのあと、株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (205 ページ) にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。
 - － ScanSnap から発煙したり、ScanSnap の外側が異常に熱くなった場合
 - － 異常な音がする場合
 - － ScanSnap の内部に水が入った場合
 そのまま使用すると、発火の原因となります。
①電源プラグをコンセントから抜く。
②給電ケーブル、接続ケーブルを抜く。
- 電源プラグまたは給電ケーブルは、コンセントまたはコンピュータに確実に接続してください。火災や故障の原因となることがあります。
- 長時間 ScanSnap を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグまたは給電ケーブルをコンセントまたはコンピュータから抜いてください。火災や感電の原因となることがあります。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
- 1か月に一度は、以下のような点検をしてください。
 - － 電源プラグがコンセントに、または給電ケーブルがコンピュータやハブにしっかり差し込まれていますか。
 - － 電源プラグまたは給電ケーブルに異常な発熱、サビおよび曲がりなどはありませんか。
 - － 電源プラグやコンセント、または給電ケーブルに細かいほこりがついていませんか。
 - － 電源ケーブルまたは給電ケーブルに、き裂や擦り傷などはありませんか。
 異常がある場合は、株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (205 ページ) にご連絡ください。

⚠ 注意

- 近くで雷が起きたときは、電源プラグをコンセント、または給電ケーブルをコンピュータやハブから抜いてください。そのままにしておくと、機器を破壊し、お客様の財産に被害をおよぼす原因となります。
- 複写機やシュレッダーのような消費電力の大きい機器と同じコンセントから電源をとらないでください。

設置および移動時のご注意

⚠ 警告

- 高温、多湿の場所や換気が悪くほこりの多い場所には、ScanSnap を設置しないでください。火災や感電の原因となります。
- ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものに近い場所には、ScanSnap を設置しないでください。火災の原因となります。
- 風呂場、シャワー室、プールなどの水場で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- ScanSnap を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセント、または給電ケーブルをコンピュータやハブから抜き、接続ケーブルも抜いてください。電源ケーブルまたは給電ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となったり、ScanSnap が落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

- 機器を落下させた場合、カバーなどを破損した場合は、電源プラグまたは給電ケーブルをコンセントまたはコンピュータから抜いてください。そのあと、販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンター (205 ページ) に連絡してください。
- 直射日光の当たる場所、炎天下の車内、暖房機の近くなど、高温になる場所に置かないでください。高温によってカバーなどが過熱、変形、溶解する原因となったり、本製品の内部が高温となり、火災の原因となることがあります。また、通気性、換気性の良い場所で使用してください。
- 小さいお子様の手の届くところに設置しないでください。けがの原因になることがあります。

注意

- 振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 装置の上に重いものを置いたり、装置の上で作業したりしないでください。
- 強い磁気やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避けてください。静電気が発生すると、誤作動の原因になります。床材や設置する机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。
- 雨天や降雪時に屋外へ持ち出す場合は、濡らさないように注意してください。

ScanSnap 使用上のご注意

警告

- 濡れた手で電源プラグまたは給電ケーブルを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。
- 電源ケーブルや給電ケーブルを傷つけると、火災や感電の原因になることがあります。重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりして電源ケーブルや給電ケーブルを傷つけたり、加工したりしないでください。また、電源ケーブル、電源プラグ、給電ケーブルに傷みがある場合、またはコンセントの差し込み口がゆるい場合は、使用しないでください。
- 指定された電源ケーブル、給電ケーブル、および接続ケーブル以外は使用しないでください。感電や故障の原因となることがあります。製品に添付された電源ケーブルを他の製品に使用しないでください。感電や故障の原因となることがあります。表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電の原因となることがあります。また、たこ足配線は避けてください。
- 電源プラグまたは給電ケーブルの金属部、および金属部の取り付け面にほこりが付着している場合は、乾いた布でよくふいてください。火災や感電の原因となることがあります。
- 油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所に設置しないでください。火災や感電の原因となることがあります。
- 万一、機器から発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、①または②を実施してください。そのあと、煙が消えるのを確認して、販売店または PFU イメージング サービス & サポートセンター (205 ページ) にご連絡ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

- ①電源プラグをコンセントから抜く。
 - ②給電ケーブル、接続ケーブルを装置から抜く。
 - 開口部から内部に金属類や燃えやすい異物の差し込み、落とし込みはしないでください。コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が装置内部に入らないように気をつけてください。
本体に水をかけるなどして、濡らさないでください。
 - 異物（水、金属片、液体など）が機器の内部に入った場合は、①または②を実施してください。
そのあと、販売店または **PFU イメージング サービス & サポートセンター**（205 ページ）にご連絡ください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。 - ①電源プラグをコンセントから抜く。
 - ②給電ケーブル、接続ケーブルを装置から抜く。
- 装置を分解したり、改造したりしないでください。内部に高電圧部分があります。
 - **ScanSnap** は国内専用です。海外で使用すると、火災や感電の原因になる場合があります。
 - 自動車を運転中に、本製品を使用しないでください。安全走行を損ない、事故の原因となります。
 - 本体底面や **AC** アダプターの温度が高くなる場所に長時間直接接触して使用しないでください。低温やけどの原因となることがあります。
 - ケーブルを接続したまま装置を移動させますと、ケーブルが傷つき、火災や感電、けがの原因となることがあります。装置を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、給電ケーブル、接続ケーブルなどもはずしてください。作業は足元に十分注意して行なってください。
 - 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。また、給電ケーブルの場合は、コンピュータに確実に接続してください。
 - 歯車やローラなどの可動部に衣服の袖やネクタイ、髪を巻き込まれないようにしてください。けがの原因となることがあります。
 - 装置の上に重いものを置いたり、装置の上で作業したりしないでください。故障やけがの原因となることがあります。
 - 長時間機器を使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
 - 直射日光の当たるところや暖房機の近くには置かないでください。装置内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。また、通気性、換気性の良い場所で使用してください。
 - 使用中の本装置や **AC** アダプターに布団をかけたりして使用しないでください。熱がこもり、火災の原因となることがあります。
 - 清掃などの目的でエアスプレーおよびアルコール等を含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、埃などが装置内部に侵入し、故障や装置異常の原因となる場合があります。また、静電気などによるスパーク（火花）により引火する恐れがあります。

⚠ 注意

- **ScanSnap** のどの部分も机から突き出さないように置いてください。また、振動の少ない、装置が傾かないような平らな場所に置いてください。

- 強い磁界やノイズ発生源から離して設置してください。また、静電気を避けてください。静電気を発生させますと、誤動作の原因になります。床材や設置する机には静電気を発生させない材質のものを選んでください。
- 寒い部屋から急に暖かい部屋に移動させると、機器が結露する場合があります。そのまま使用すると、読み取り不良の原因となる場合がありますので、暖かい部屋に1～2時間放置して、内部が乾いてから使用してください。
- 紙を取り扱う際は、紙の縁で手を切るなどのけがをしないように注意してください。

■ 事業所系の使用済み製品の引き取りとリサイクル についてのお願い

- この製品の所有権が事業主の場合には、使用後に廃棄される製品は産業廃棄物扱いとなり、廃棄する際にはマニフェスト伝票（廃棄物管理表）の発行が必要となります。
- 製品所有者が当社に廃棄を依頼される場合には、当社と連携している物流会社（産業廃棄物収集運搬許可業者）にて引き取りを行いますので、その際には、「PFU ライフビジネス株式会社 首都圏リサイクルセンター」（電話 0467-70-7290）へお問い合わせをお願いいたします。
- 当社では、リサイクルシステムを構築し、リサイクルセンターで使用済み製品の解体、分別処理により、部品の再使用や材料へのリサイクルを行っています。

■ 使用上のご注意

本製品として提供されるマニュアル、装置本体、およびその添付ソフトウェアは、お客様側の責任において使用していただきます。

本製品のご使用によって発生する損害やデータの損失については、当社では一切責任を負いかねます。

また、本製品の障害の補償範囲は、いかなる場合も本製品の代金としてお客様が支払った金額を超えることはありません。あらかじめご了承ください。

本製品にて提供される添付ソフトウェア、および本製品用として当社から提供されるアップデート用添付ソフトウェアについては、本製品に組み込んで使用する以外の使用方法、および改変や分解について一切許可していません。

■ 本書の読み方

本書の構成

本書は、以下のような構成になっています。

第 1 章 お使いになる前に

ScanSnap の各部の名称について説明しています。

第 2 章 ScanSnap の接続方法

ソフトウェアをインストールして、コンピュータに ScanSnap を接続するまでについて説明しています。

第 3 章 ScanSnap を使ってみましょう

ScanSnap の操作方法について説明しています。

第 4 章 ScanSnap の設定

ScanSnap の読み取り設定の変更方法、設定の保存方法について説明しています。

第 5 章 オフィス機能

ScanSnap で読み取った原稿を、メールに添付したり、ネットワーク上で共有したり、プリンタで印刷したりなど、オフィスでよく使われる機能について説明しています。

第 6 章 ScanSnap のいろいろな使い方

ScanSnap のいろいろな機能や添付プログラムの使い方について説明しています。

第 7 章 困ったときには

原稿づまりの処理方法、およびトラブルの対処方法について説明しています。

第 8 章 清掃方法

ScanSnap の清掃方法について説明しています。

第 9 章 消耗品／定期交換部品

パッドユニット、ピックアップユニットなどの消耗品の交換方法について説明しています。

なお、付録では、以下について記載しています。

- 付録 A アンインストール
- 付録 B スキャンボタンの設定項目（メニューモードでの機能差）
- 付録 C 設置諸元

ScanSnap の操作を理解いただくためには、第 1 章から第 6 章までを順にお読みください。トラブルが起きたときの対処方法が知りたいときは、第 7 章をお読みください。

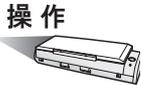
ScanSnap の清掃方法が知りたいときは、第 8 章をお読みください。

消耗品の交換方法を知りたい場合は、第 9 章をお読みください。

プログラムのアンインストール方法が知りたいときは、付録 A お読みください。

本書で正在している記号について

本書では、警告表示とは別に、説明文中に以下の記号を正在しています。

記号	説明
	特に注意が必要な事項が書かれています。 必ずお読みください。
	操作に関するワンポイントアドバイスが書かれています。
	操作方法など関連事項を説明している参照箇所を示しています。
	ScanSnap での操作の手順について書かれています。
	コンピュータでの操作の手順について書かれています。

商標の表記について

本書では、以下の用語について省略して記述しています。

Mac OS X v10.1 : Macintosh operating system バージョン 10.1

Mac OS X v10.2 : Macintosh operating system バージョン 10.2

Mac OS X v10.3 : Macintosh operating system バージョン 10.3

Mac OS X v10.4 : Macintosh operating system バージョン 10.4

Mac OS X v10.5 : Macintosh operating system バージョン 10.5

上記すべてのオペレーティングシステムを区別しないで使用する場合は、「Mac OS X」と表記します。

Adobe Reader : Adobe® Reader®

Adobe Acrobat Reader : Adobe® Acrobat® Reader®

Adobe Acrobat : Adobe® Acrobat®

本書の説明が実際の画面と異なる場合は、「Acrobat のヘルプ」を参照してください。

本書で正在している画面例について

本書では、Mac OS X v10.4 の画面を例に説明しています。

お使いの Mac OS X によって、表示される画面および操作が異なる場合があります。

目次

はじめに.....	i
■ 本書で使用している警告表示について	vi
■ 安全上のご注意	vi
■ 事業所系の使用済み製品の引き取りとリサイクルについての お願い	x
■ 使用上のご注意	x
■ 本書の読み方	xi
第 1 章 お使いになる前に	1
1.1 本体と付属品を確認してください	2
1.2 各部の名称	3
第 2 章 ScanSnap の接続方法.....	5
2.1 インストールします	6
インストールする前に.....	6
ScanSnap Manager をインストールします	8
2.2 ScanSnap とコンピュータを接続します	15
ケーブルを接続します	15
電源を ON にします	20
第 3 章 ScanSnap を使ってみましょう	23
3.1 操作の流れ	24
基本的な操作の流れ.....	24
準備します	28
クイックメニューモードで読み取ります	30
読み取り設定モードで読み取ります	35
電源の ON / OFF について	40
終了します	41

3.2	読み取りできる原稿.....	42
3.3	原稿のセット方法	44
第4章	ScanSnap の設定	47
4.1	ScanSnap Manager アイコンについて	48
	ScanSnap Manager のメニュー	49
	「読み取り設定の選択」画面.....	50
4.2	読み取り設定を変更するには	51
4.3	読み取り設定を保存するには	73
	読み取り設定を登録します	74
	登録した読み取り設定を使って読み取ります	78
	登録した読み取り設定を変更します	79
	読み取り設定の名前を変更します	81
	読み取り設定を削除します	84
4.4	ScanSnap クイックメニューの使い方.....	86
第5章	オフィス機能	89
5.1	オフィス機能とは	90
5.2	指定したフォルダに保存する	91
	クイックメニューモードの場合	92
	読み取り設定モードの場合	100
5.3	メールに添付して送信する	108
	クイックメニューモードの場合	109
	読み取り設定モードの場合	116
5.4	ScanSnap をコピー機代わりに利用する	123
	クイックメニューモードの場合	124
	読み取り設定モードの場合	129
5.5	iPhoto へ送信する	134
	クイックメニューモードの場合	135
	読み取り設定モードの場合	137
第6章	ScanSnap のいろいろな使い方	139

6.1	ScanSnap Manager を使う	140
	片面だけを読み取ります	142
	カラー原稿を白黒で読み取ります	144
	読み取った原稿から白紙ページを削除します	146
	文字列の傾きを自動的に補正します	148
	幅や長さの違う原稿を同時に読み取ります	150
	PDF ファイルのページを回転します	154
	読み取った原稿を複数のファイルに保存します	157
	読み取り中にエラーが発生して分断されたデータを1つのファイル にします	159
第7章	困ったときには	161
7.1	原稿づまりの処理	162
7.2	トラブルと対処	164
第8章	清掃方法	171
8.1	清掃用品	172
8.2	ScanSnap 外部の清掃	173
8.3	ScanSnap 内部の清掃	174
第9章	消耗品／定期交換部品	179
9.1	消耗品の番号と交換周期	180
9.2	パッドユニットの交換	182
9.3	ピックアップユニットの交換	186
付録 A	アンインストール	193
	Mac OS X v10.2 の ScanSnap Manager を削除する場合	193
	Mac OS X v10.3 の ScanSnap Manager を削除する場合	194
	Mac OS X v10.4 または Mac OS X v10.5 の ScanSnap Manager を削除 する場合	196
付録 B	スキャンボタンの設定項目 (メニューモードでの機能差)	199

付録 C 設置諸元	203
修理・お問い合わせについて	205
索 引	207

第1章



お使いになる前に

この章では、ScanSnap をお使いになる前に必要な準備について説明しています。

1.1	本体と付属品を確認してください	2
-----	-----------------------	---

1.2	各部の名称	3
-----	-------------	---

1.1 本体と付属品を確認してください

ScanSnap を開梱したら、まず、添付の「本体と付属品の確認 (リスト)」で、ScanSnap 本体と、付属品がすべてそろっていることを確認してください。

万一、足りないものや不良品がありましたら、株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (205 ページ) までご連絡ください。なお、本体と付属品はていねいに取り扱ってください。



警告

梱包に使用している袋類は、小さなお子様の手が届くところに置かないでください。口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因となります。

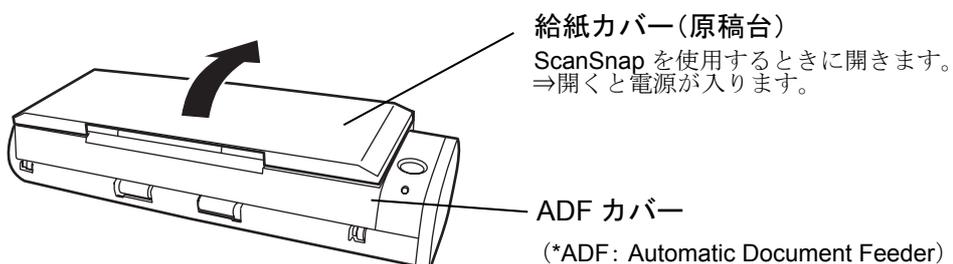
1.2 各部の名称

ScanSnap の各部の名称について説明します。



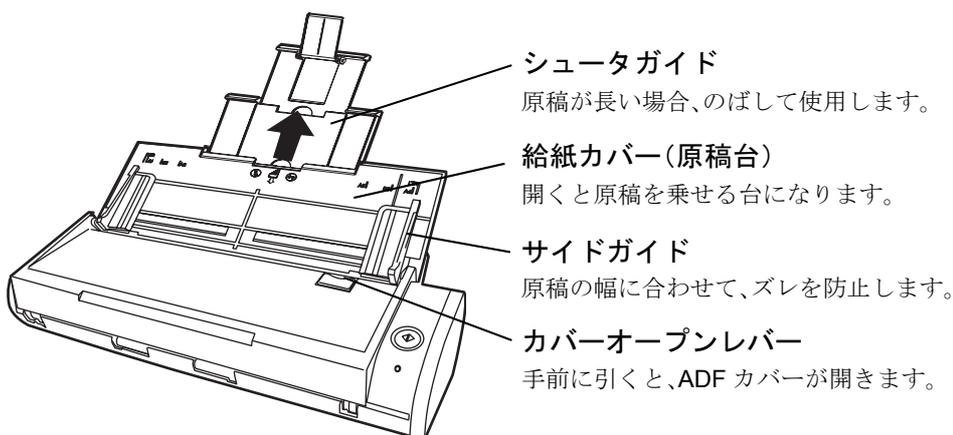
給紙カバー（原稿台）の開閉によって、電源を ON / OFF することができます。

<前面>



給紙カバー（原稿台）
ScanSnap を使用するときを開きます。
⇒開くと電源が入ります。

ADF カバー
(*ADF: Automatic Document Feeder)

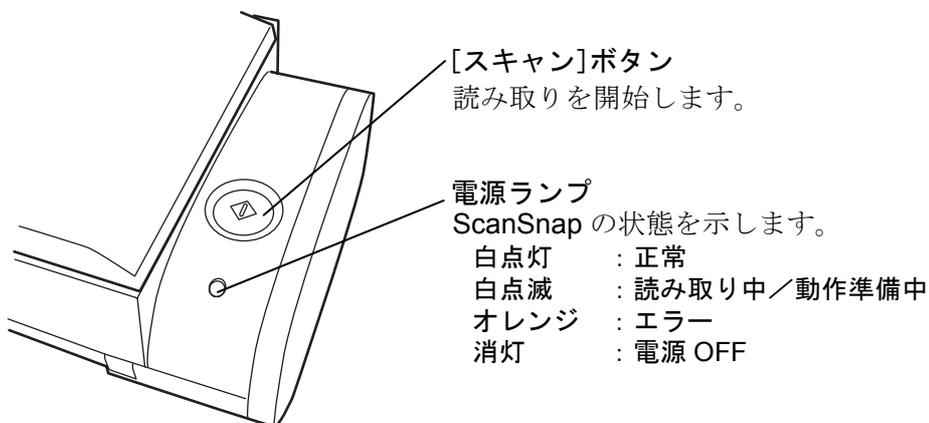


シュータガイド
原稿が長い場合、のぼして使用します。

給紙カバー（原稿台）
開くと原稿を乗せる台になります。

サイドガイド
原稿の幅に合わせて、ズレを防止します。

カバーオープンレバー
手前に引くと、ADF カバーが開きます。

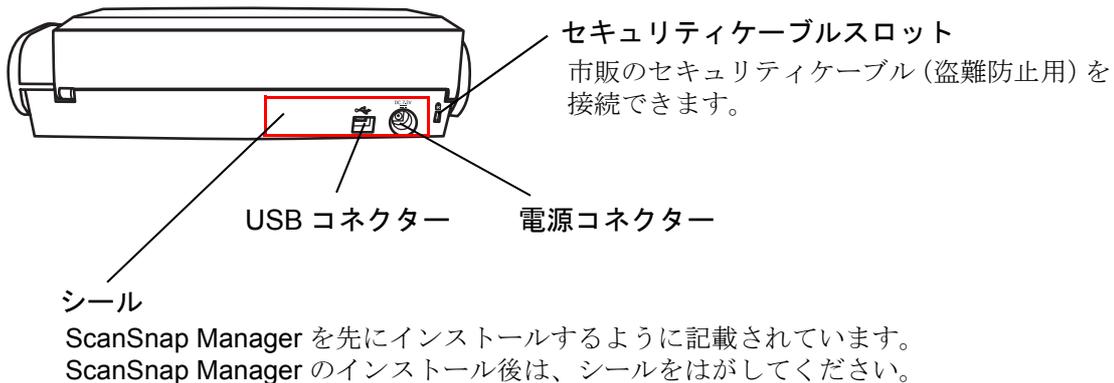


[スキャン]ボタン
読み取りを開始します。

電源ランプ
ScanSnap の状態を示します。

- 白点灯 : 正常
- 白点滅 : 読み取り中 / 動作準備中
- オレンジ : エラー
- 消灯 : 電源 OFF

<背面>



2.1 インストールします

インストールとは、ScanSnap を使用するために、ご使用のコンピュータのハードディスクに ScanSnap Manager のプログラムファイルをコピーし、インストール先のコンピュータで ScanSnap を使用する環境を作ることです。

■ インストールする前に

インストールする前に以下の準備をしてください。

1. システム条件を確認します。

ScanSnap は、以下のシステム条件で動作します。

オペレーティングシステム

- Mac OS X v10.2.8、v10.3、v10.4、v10.5

	Mac OS X v10.1	Mac OS X v10.2	Mac OS X v10.3	Mac OS X v10.4	Mac OS X v10.5
ScanSnap Manager (ドライバ)	×	○ (*1)	○	○	○

○ : サポート

× : 未サポート

*1 : Mac OS X v10.2.8 以降の場合

コンピュータ本体

- PowerPC[®] G4 プロセッサ 800MHz 以上
Intel[®]Core[™] Solo または Duo プロセッサ
(Intel[®] Core[™] Duo プロセッサ 1.83GHz 以上推奨)
- USB ポート (USB 2.0 / 1.1)

メモリ容量

128M バイト以上

(512M バイト以上推奨。Mac OS X v10.5 では 1G バイト以上推奨)

ディスク容量

ScanSnap Manager : 40M バイト



- Mac OS X に最新のアップデートを適用することを推奨します。
- キーボードやモニタの USB ポートを使用すると、ScanSnap が動作しない場合があります。
- 市販のハブをご使用になる場合は、AC アダプターを使用したタイプをご使用ください。
- USB 2.0 で接続する場合、USB ポート、およびハブが USB 2.0 に対応している必要があります。また、USB 1.1 で接続すると、読み取り速度が遅くなる場合があります。USB 2.0 に対応した USB ポートをお持ちの場合は、そちらを使用してください。
- 推奨に満たない CPU、メモリ容量の場合には、読み取り速度は低下します。

2. ScanSnap がコンピュータに接続されていないことを確認します。

3. コンピュータを起動します。

コンピュータの管理者権限を持つユーザーでログインしてください。

4. 動作しているアプリケーションをすべて終了します。

■ ScanSnap Manager をインストールします

本製品に添付されている「ScanSnap Setup CD-ROM」から、ScanSnap Manager を、以下の手順でインストールします。



ここでは、Mac OS X v10.4 の画面を使用して説明します。
そのため、ご使用の Mac OS X によって、表示される画面および操作が異なる場合があります。



1. 本 ScanSnap に添付されている ScanSnap Setup CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットします。

⇒「ScanSnap」画面が表示されます。

2. ScanSnap Manager のアイコンをダブルクリックします。



(1) Mac OS X v10.2 の場合

⇒「ようこそ ScanSnap Manager インストールへ」画面が表示されます。

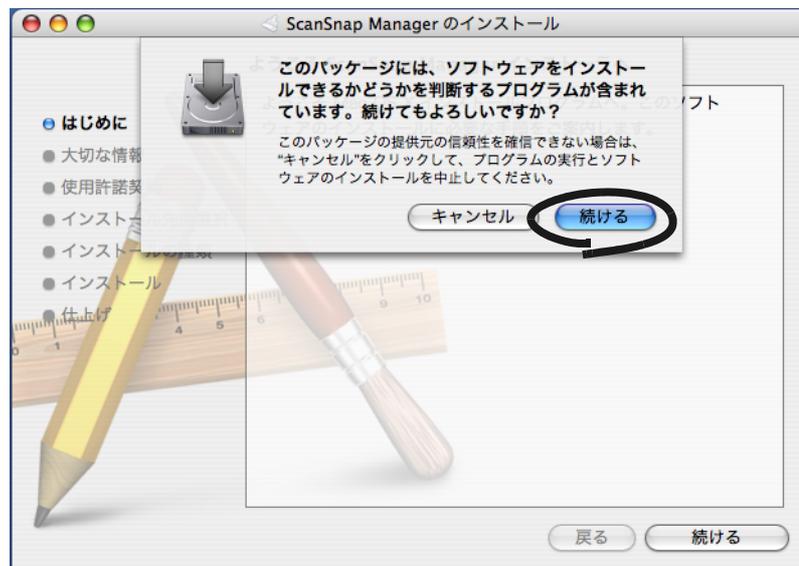


Mac OS X v10.2 の場合、「認証」画面が表示され、パスワードを要求する場合があります。この場合、管理者権限を持つユーザーのパスワードを入力してください。

(2) Mac OS X v10.3 / v10.4 / v10.5 の場合

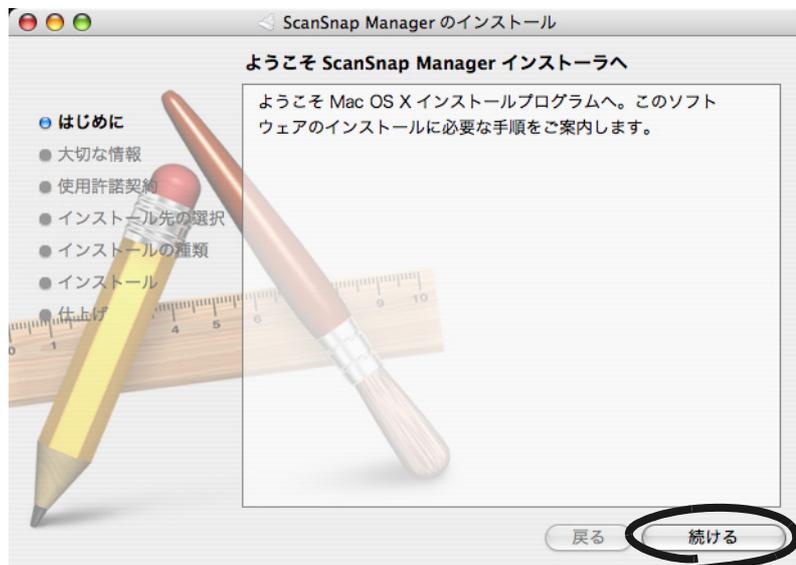
⇒「はじめに」画面が表示され、「このパッケージには、ソフトウェアをインストールできるかどうかを判断するプログラムが含まれています。続けてもよろしいですか？」の画面が表示されます。

⇒「続ける」ボタンをクリックします。



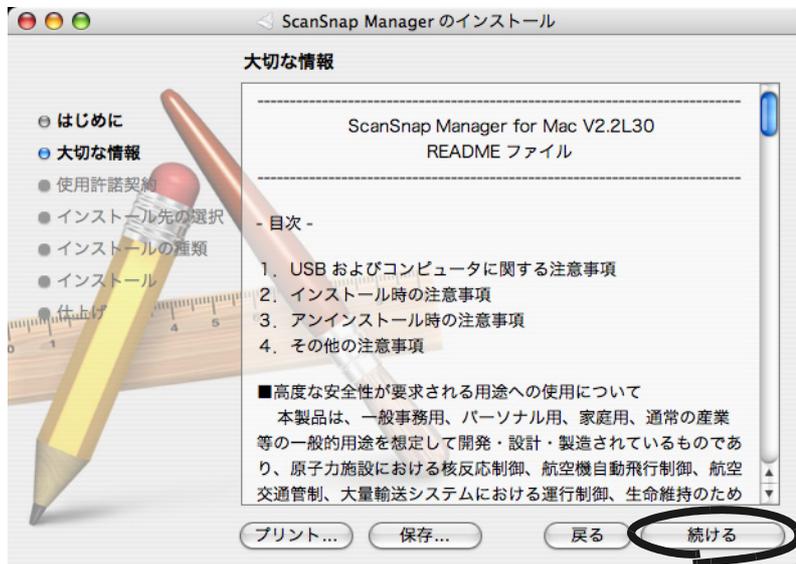
⇒「ようこそ ScanSnap Manager インストーラへ」画面が表示されます。

3. [続ける] ボタンをクリックします。



⇒「大切な情報」画面が表示されます。

4. 「大切な情報」の内容を確認し、[続ける] ボタンをクリックします。



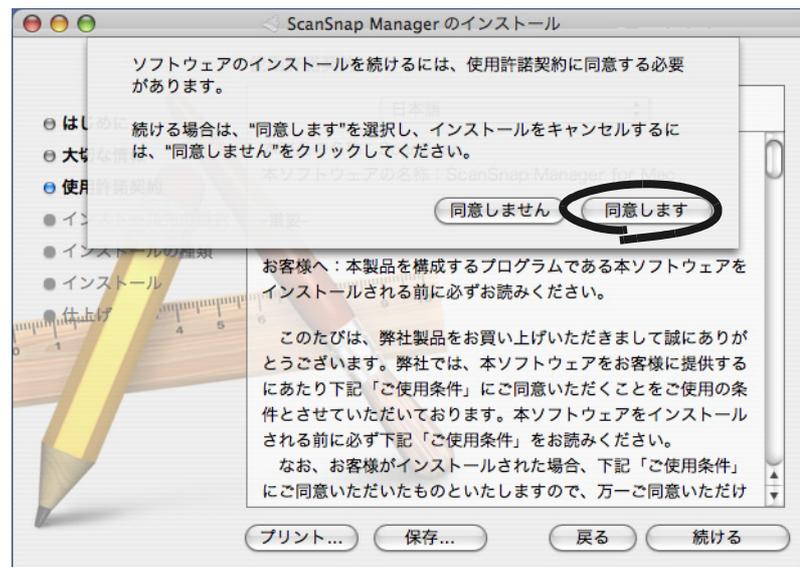
⇒「使用許諾契約」画面が表示されます。

5. 「使用許諾契約」の内容を確認し、[続ける] ボタンをクリックします。



⇒ 同意の確認画面が表示されます。

6. 契約に同意する場合は、[同意します] ボタンをクリックします。



⇒ [同意します] ボタンをクリックすると、「インストール先の選択」画面が表示されます。

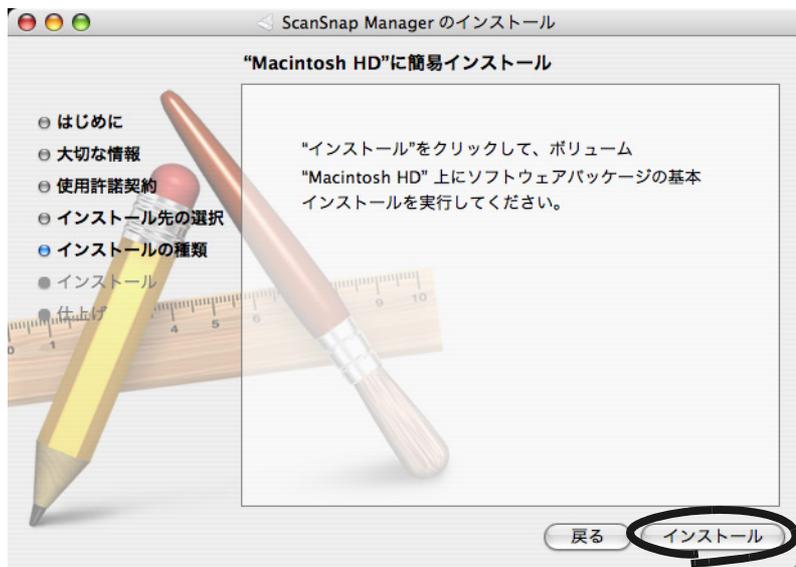
⇒ [同意しません] ボタンをクリックすると、Mac OS X v10.5 の場合は、画面が閉じてインストールが終了します。Mac OS X v10.5 以外の場合は、インストールが中止され、「使用許諾契約」画面に戻ります。

7. インストール先に指定するボリュームを確認し、[続ける] ボタンをクリックします。



⇒ 「インストールの種類」画面が表示されます。

8. [インストール] ボタンをクリックします。



Mac OS X v10.3、Mac OS X v10.4、および Mac OS X v10.5 の場合、「認証」画面が表示され、パスワードを要求する場合があります。この場合、管理者権限を持つユーザーのパスワードを入力してください。



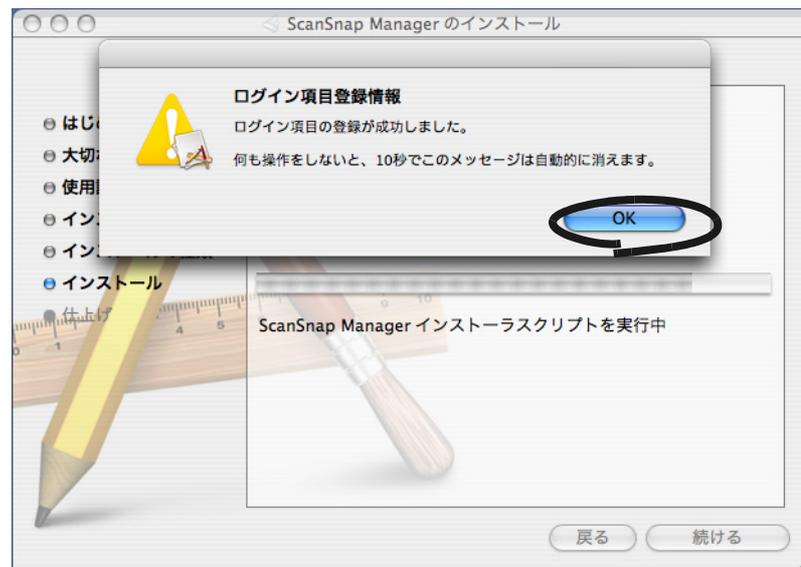
ScanSnap Manager と『オペレーターガイド』（Manual.pdf）がインストールされます。

9. インストールが開始され、「インストール中」の画面が表示されます。



⇒インストールが終了する前に、「ログイン項目登録情報」画面が表示されます。

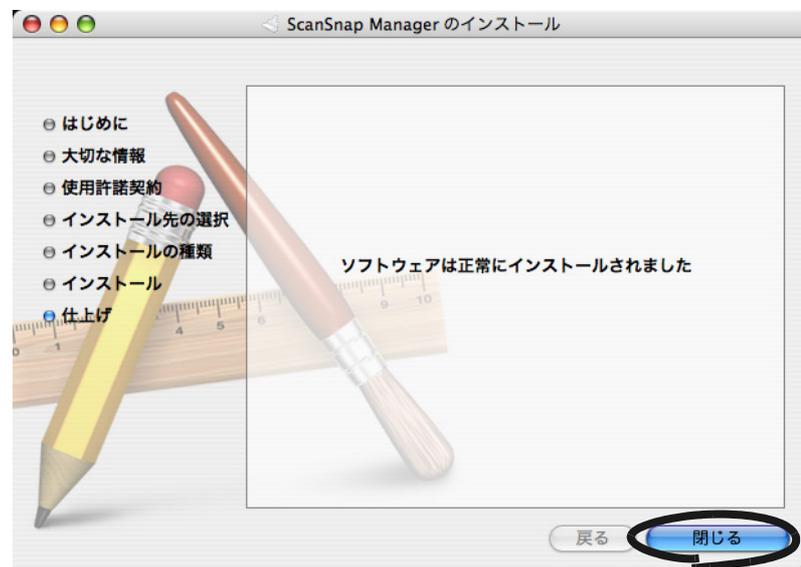
10.[OK] ボタンをクリックします。



⇒ [OK] ボタンをクリックすると、この画面は閉じます。何も操作をしなくても、10秒でこの画面は自動的に閉じます。

⇒ インストールが終了すると、「仕上げ」画面が表示されます。

11.[閉じる] ボタンをクリックします。



⇒ ScanSnap Manager が起動され、「ScanSnap Manager」のアイコンが Dock メニューに表示されます。

12.インストールが完了したら、CD-ROM ドライブから CD-ROM を取り出します。



インストールしたユーザー以外のユーザーが ScanSnap を使用する場合、手動でログイン項目（起動項目）に登録が必要です。

1. 設定したいユーザーで ログインします。
2. Mac OS X v10.2 では、[システム環境設定] アイテムから [ログイン項目] → [追加] → [ScanSnap Manager] を選択して、登録します。

Mac OS X v10.3 では、[システム環境設定] アイテムから [アカウント] → [マイアカウント] → [起動項目] → [+] → [ScanSnap Manager] を選択して、登録します。

Mac OS X v10.4 および Mac OS X v10.5 では、[システム環境設定] アイテムから [アカウント] → [マイアカウント] → [ログイン項目] → [+] → [ScanSnap Manager] を選択して、登録します。

2.2 ScanSnap とコンピュータを接続します

ScanSnap Manager をインストールしたあと、ScanSnap をコンピュータに接続します。



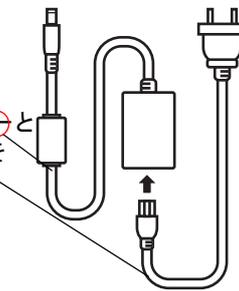
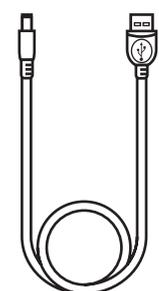
まって!

ケーブルを接続する前に、必ず「ScanSnap Manager をインストールします」(8 ページ) をしてください。

■ ケーブルを接続します

以下のどちらかの方法で、ScanSnap の電源接続をします。

電源ケーブル／給電ケーブルを接続したあと、USB ケーブルでコンピュータと接続します。

電源供給方法	使用する電源接続ケーブル	接続方法
コンセントから電源を供給する (作業場所が常に同じで、持ち出ししない場合)	 <p>電源ケーブル AC アダプターと AC ケーブルを 接続した ものです。</p>	「電源ケーブル接続の場合」 (17 ページ) を参照してください。
コンピュータから電源を供給する (コンセントが近くにない場合や、ラップトップコンピュータなどと共に持ち出して外出先で使用する場合)	 <p>給電ケーブル</p>	「給電ケーブル接続の場合」 (19 ページ) を参照してください。

注意

AC アダプターは、以下のもの以外は使用しないでください。
故障の原因となります。

メーカー名	型番
LEI	NU13-1072166-I3



- 給電ケーブル接続の場合は、接続するコンピュータに給電ケーブル用と、USB ケーブル用（装置接続用）の2つのUSBポートが必要です。
- 給電ケーブル接続の場合で、USB ハブに接続するときは、電源供給のあるハブを使用してください。
- 給電ケーブル接続の場合は、読み取り速度が低下します。
A4 サイズの両面カラー原稿を以下のスピードで読み取ります。
電源ケーブル接続時：約8枚/分
給電ケーブル接続時：約4枚/分
(Intel® Core™ Duo プロセッサ 1.83GHz 以上のプロセッサ、読み取りモードはノーマル、かつカラーモードは自動で、圧縮率が3、その他の設定が初期値の場合)

電源ケーブル接続の場合

以下の手順で、電源ケーブル **①** と USB ケーブル **②** を接続します。

操作

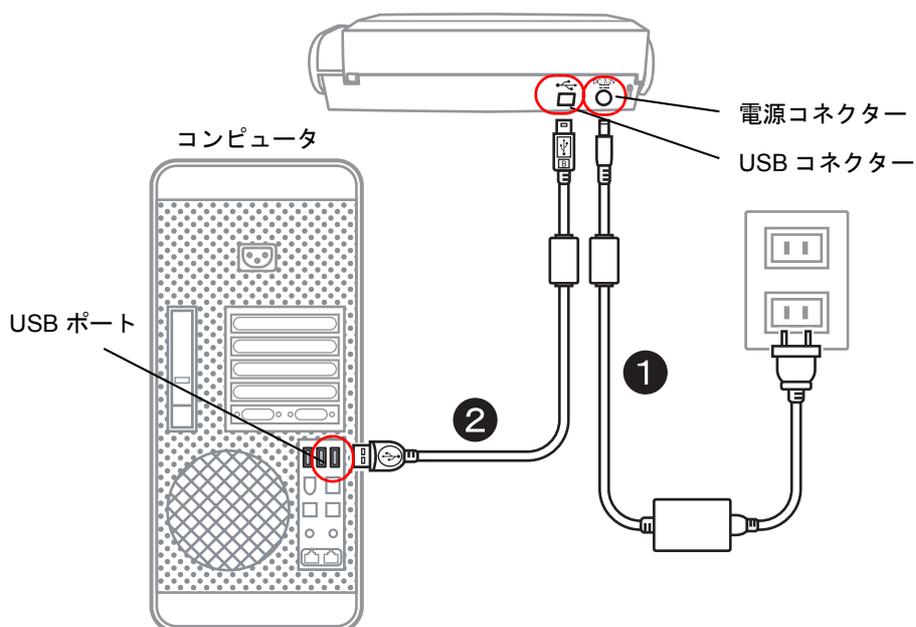


1. 電源ケーブルを接続します。

USB コネクタおよび電源コネクタを覆っているシールをはがします。
電源ケーブルを、ScanSnap の電源コネクタとコンセントに接続します。

2. USB ケーブルを接続します。

USB ケーブルを、ScanSnap とコンピュータに接続します。奥までしっかりと差し込んでください。



3. 接続は完了しました。

次に、「電源を ON にします」(20 ページ) の手順に進んでください。



- 必ず、添付の AC アダプターおよび AC ケーブルをご使用ください。
- 必ず、添付の USB ケーブルをご使用ください。
市販の USB ケーブルでの動作保証はしておりません。
- USB ケーブルだけの接続では、動作しません。必ず、電源ケーブルと、USB ケーブルの 2 本を接続してください。
- 必ず、電源ケーブルを接続してから、USB ケーブルを接続してください。
- 必ず、ScanSnap Manager をインストールしてから、ScanSnap をコンピュータに接続してください。（インストール方法については、「[2.1 インストールします](#)」(6 ページ) を参照してください。)
- USB ハブに接続する場合は、必ず、コンピュータに一番近い USB ハブ（1 段目）に接続してください。2 段目以降の USB ハブに接続した場合、動作しない場合があります。
- USB 2.0 で接続する場合、USB ポート、およびハブが USB 2.0 に対応している必要があります。また、USB 1.1 で接続すると、読み取り速度が遅くなる場合があります。USB 2.0 に対応した USB ポートをお持ちの場合は、そちらを使用してください。

給電ケーブル接続の場合

以下の手順で、給電ケーブル **①** と USB ケーブル **②** を接続します。

操作

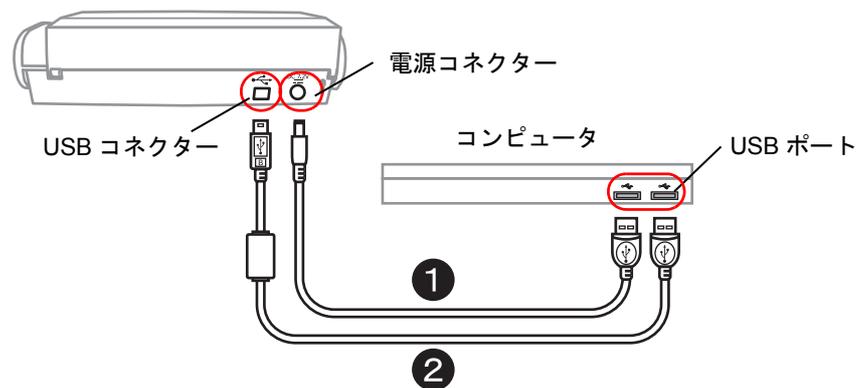


1. 給電ケーブルを接続します。

USB コネクタおよび電源コネクタを覆っているシールをはがします。
給電ケーブルを、ScanSnap の電源コネクタとコンピュータに接続します。

2. USB ケーブルを接続します。

USB ケーブルを、ScanSnap とコンピュータに接続します。奥までしっかりと差し込んでください。



3. 接続は完了しました。

次に、「電源を ON にします」(20 ページ) の手順に進んでください。



- 必ず、添付の給電ケーブルをご使用ください。
- 必ず、添付の USB ケーブルをご使用ください。
市販の USB ケーブルでの動作保証はしておりません。
- USB ケーブルだけの接続では、動作しません。必ず、給電ケーブルと、USB ケーブルの 2 本を同一コンピュータに接続してください。
または、同一の電源付き (AC アダプター付き) の USB ハブに接続してください。
- USB ハブに接続する場合は、必ず、コンピュータに一番近い USB ハブ (1 段目) に接続してください。2 段目以降の USB ハブに接続した場合、動作しない場合があります。
- 必ず、給電ケーブルを接続してから、USB ケーブルを接続してください。
- 必ず、ScanSnap Manager をインストールしてから、ScanSnap をコンピュータに接続してください。(インストール方法については、「[2.1 インストールします](#)」(6 ページ) を参照してください。)
- USB 2.0 で接続する場合、USB ポート、およびハブが USB 2.0 に対応している必要があります。また、USB 1.1 で接続すると、読み取り速度が遅くなる場合があります。USB 2.0 に対応した USB ポートをお持ちの場合は、そちらを使用してください。

■ 電源を ON にします

以下の手順で、ScanSnap の電源を ON にします。



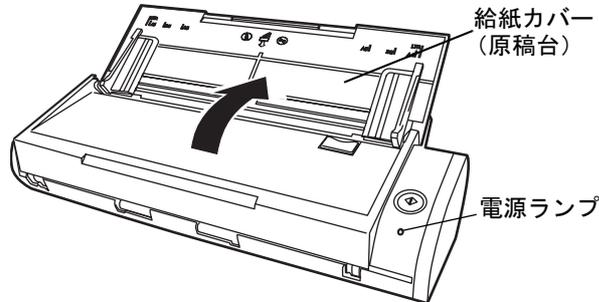
ScanSnap の電源は、以下ようになります。

- 給紙カバー (原稿台) を開けると電源が ON になり、閉めると電源が OFF になります。
 - コンピュータの電源に連動して ON / OFF します。
- また、給紙カバー (原稿台) の開 / 閉が最優先されるため、給紙カバー (原稿台) が閉じた状態でコンピュータを起動しても、ScanSnap の電源は ON になりません。

通常は、コンピュータに接続したままで、必要なときに給紙カバー (原稿台) を開け、使い終わったら給紙カバー (原稿台) を閉めるというようにご使用いただけます。



1. ScanSnap の給紙カバー（原稿台）を開きます。



2. ScanSnap の電源が ON になります。

⇒ 電源ランプが点滅します。そのあと、電源ランプが点灯状態となり、コンピュータに自動的に検出されます。



コンピュータ上で多数のプログラムが動作しているときなど、コンピュータの負荷、性能、環境によって、電源ランプが点灯状態になるまで時間がかかることがあります。そのような場合は、電源ランプが点灯状態になるまでお待ちください。
数分経過しても点滅状態が続く場合は、給紙カバー（原稿台）を閉め、5 秒以上間隔を開けてから、再度開けてお待ちください。それでも点滅状態が続く場合は、ケーブルの接続を確認してください。

3. 以上で、ScanSnap の接続は完了です。



Dock メニューにある「ScanSnap Manager」のアイコンが  になるまでに時間がかかる場合があります。

「ScanSnap Manager」のアイコンは、電源接続の方法により表示が異なります。

- 電源ケーブル接続の場合： 
- 給電ケーブル接続（バスパワー）の場合： 

本書では、電源ケーブル接続の場合の表示を例にして説明します。



ユーザー登録について

本製品をご使用の際には、添付されている「ユーザー登録カード」で、ユーザー登録を行ってください。

また、インターネットに接続する環境をお持ちの方は、

Setup CD-ROM の [ユーザー登録] ボタンから登録を行うこともできます。

(※ユーザー登録されていない場合、当社サポートサービスが提供できないこともありますので、ご購入後速やかにユーザー登録をお願いいたします。)

第3章



ScanSnap を使ってみましょう

この章では、ScanSnap の基本的な操作について説明しています。

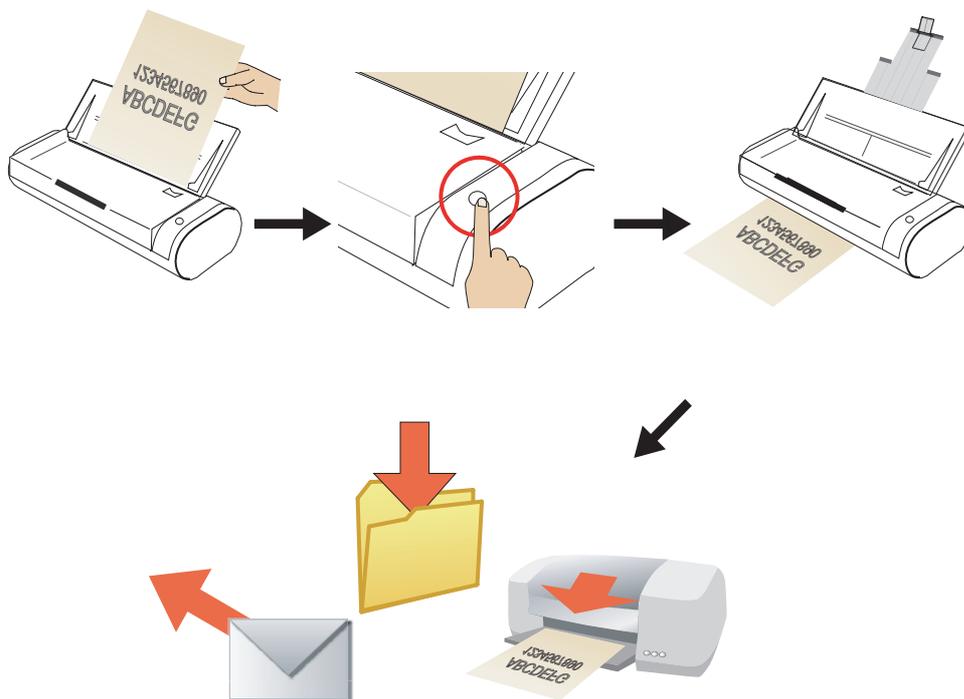
3.1	操作の流れ	24
3.2	読み取りできる原稿	42
3.3	原稿のセット方法	44

3.1 操作の流れ

ScanSnap で原稿を読み取り、PDF 形式で保存するまでの操作の流れについて説明します。

■ 基本的な操作の流れ

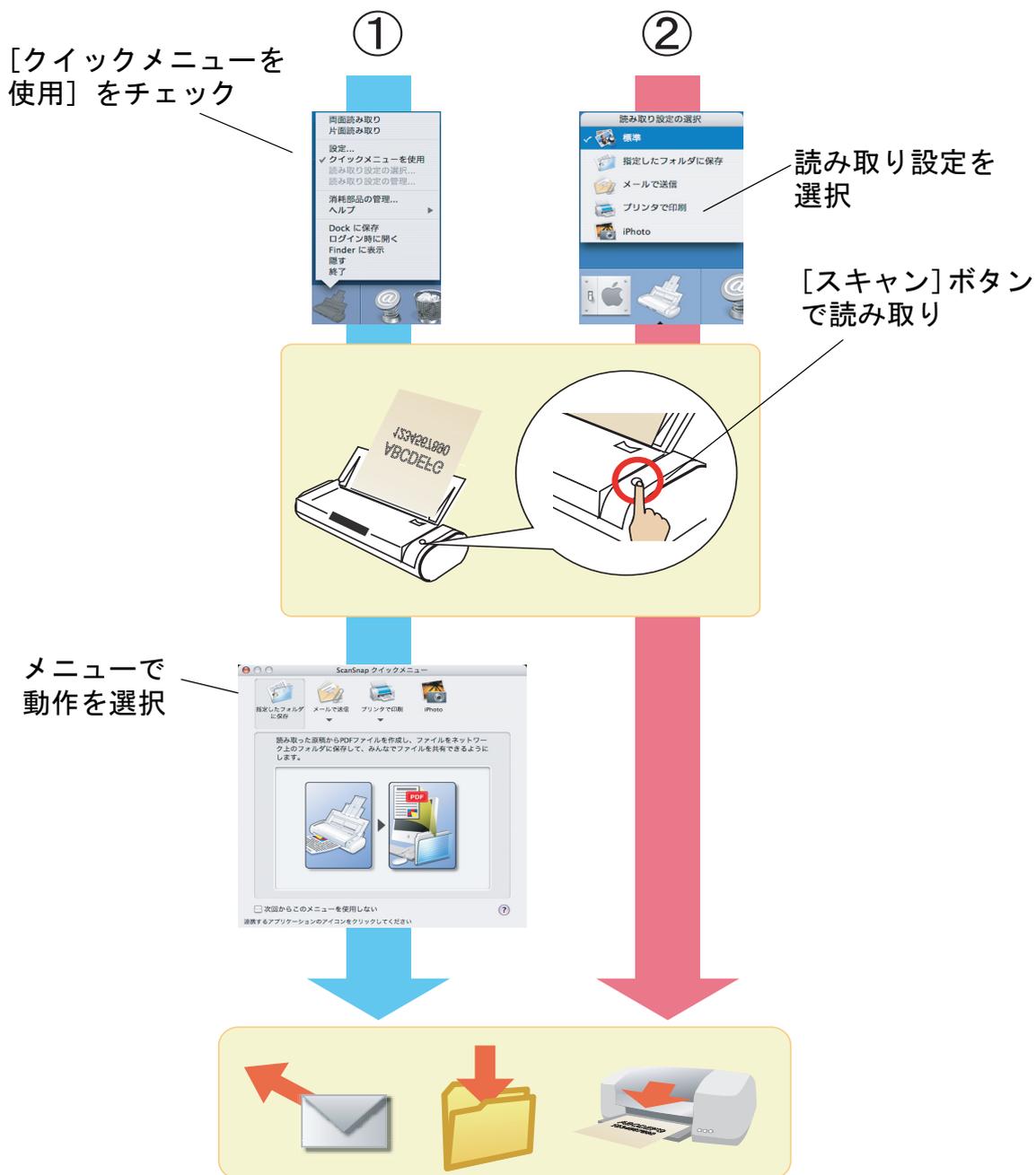
ScanSnap は、原稿をセットし、ボタンを押すだけの簡単操作で、原稿を読み取り、ファイルにして保存したり、メールに添付したり、印刷したりすることができます。



[スキャン] ボタンを押して読み取ります。
以下の方法で読み取ることができます。

ボタン	読み取り方法
スキャン 	①読み取ったあとに、何をしたいのかをメニューで選択する方法 <クイックメニューモード> (→ 26 ページ) ②特定のアプリケーションを使用して読み取る方法 <読み取り設定モード> (→ 27 ページ)

使用目的に合わせて、使いやすい方法でご使用ください。



ヒント

[スキャン] ボタンのモードの切り替えは、Dock メニューにある「ScanSnap Manager」

のアイコン  をしばらく押すと表示されるメニューの [クイックメニューを使

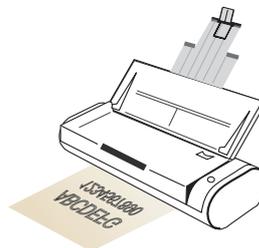
用] (49 ページ) で行います。

3

ScanSnap を使ってみましょう

① 読み取ったあとに、何をしたいのかをメニューで選択する方法
＜クイックメニューモードの場合＞

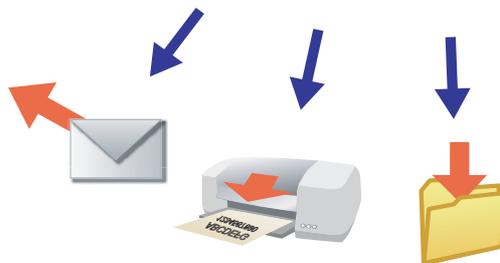
1. [スキャン] ボタンで読み取り



2. 読み取りが終了すると、
ScanSnap クイックメニューが
起動



3. ScanSnap クイックメニューで、
連携するアプリケーションを決定



⇒ 選択したアプリケーションが起動



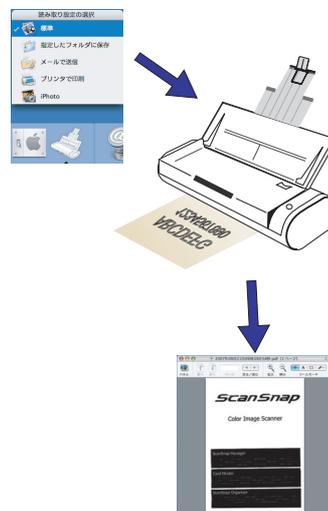
ヒント

「クイックメニューモード」には、以下のような特長があります。

- メニューで希望の動作を選択するため、初心者にも簡単に操作できます。
- 読み取ったあとに、メニューから希望の動作を選択するため、あらかじめ連携するアプリケーションを指定しておく必要がありません。

② 特定のアプリケーションを使用して読み取る方法 ＜読み取り設定モード＞

1. 「読み取り設定の選択」画面で、連携するアプリケーションを選択



2. [スキャン] ボタンで読み取り

⇒ 選択したアプリケーションが起動



ヒント

「読み取り設定モード」には、以下のような特長があります。

- ボタンを押すだけの1操作で読み取ることができます。
- 決まった読み取り設定を使用して読み取る場合に適しています。
- いろいろな読み取り条件を保存しておくことができます。

次のページから、さらに詳しい操作の流れについて説明します。

クイックメニューモードで読み取る場合は、
「クイックメニューモードで読み取ります」(30 ページ) をご覧ください。

読み取り設定モードで読み取る場合は、
「読み取り設定モードで読み取ります」(35 ページ) をご覧ください。

3

ScanSnap を使ってみましょう

■ 準備します

操作



1. 電源ケーブルまたは給電ケーブルが ScanSnap に正しく接続されていることを確認します。

2. ScanSnap がコンピュータに正しく接続されていることを確認します。



コンピュータを起動してから、接続しても問題ありません。
また、すでに接続されている場合は、あらためて接続し直す必要はありません。

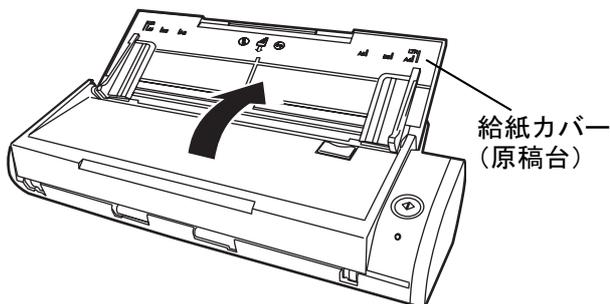


3. コンピュータの電源を入れます。

⇒ Mac OS X が起動すると、Dock メニューに「ScanSnap Manager」のアイコンが表示されます。



4. 給紙カバー（原稿台）を開きます。



⇒ ScanSnap の電源が入り、Dock メニューの「ScanSnap Manager」のアイコンが



から



に変化します。



ヒント

コンピュータ上で多数のプログラムが動作しているときなど、コンピュータの

負荷、性能、環境によって、「ScanSnap Manager」のアイコンが  に

なるまでに時間がかかる場合があります。

■ クイックメニューモードで読み取ります



1. Dockメニューに「ScanSnap Manager」のアイコンが表示されていることを確認します。



「ScanSnap Manager」のアイコンが表示されていない場合は、Finder から「ScanSnap」のインストール場所（通常は [アプリケーション] → [ScanSnap]）→ [ScanSnap Manager] を選択し、ScanSnap Manager を起動してください。

通常は、インストール時に Mac システムのログイン項目として登録されるため、Mac OS X 起動時に Dock メニューにアイコンが表示されます。

[システム環境設定] に「ScanSnap Manager」がログイン項目として登録されていない場合は、以下の方法によって設定してください。

- Mac OS X v10.2 では、[システム環境設定] アイテムから [ログイン項目] → [追加] → [ScanSnap Manager] を選択して、再登録します。
- Mac OS X v10.3 では、[システム環境設定] アイテムから [アカウント] → [マイアカウント] → [起動項目] → [+] → [ScanSnap Manager] を選択して、再登録します。
- Mac OS X v10.4 および Mac OS X v10.5 では、[システム環境設定] アイテムから [アカウント] → [マイアカウント] → [ログイン項目] → [+] → [ScanSnap Manager] を選択して、再登録します。

Dock メニューの「ScanSnap Manager」のアイコン



をしばらく押し、表示さ

れたメニューの [クイックメニューを使用] にチェックが付いていることを確認します。



ヒント

[クイックメニューを使用] にチェックが付いていない場合、「読み取り設定モード」で読み取られます。「読み取り設定モード」で読み取る方法については、「読み取り設定モードで読み取ります」(35 ページ) を参照してください。

操作



2. ScanSnap に原稿をセットします。



参照

「3.2 読み取りできる原稿」(42 ページ) および「3.3 原稿のセット方法」(44 ページ) を参照してください。

3. [スキャン] ボタン を押します。

⇒ 原稿の読み取りが開始されます。



ヒント

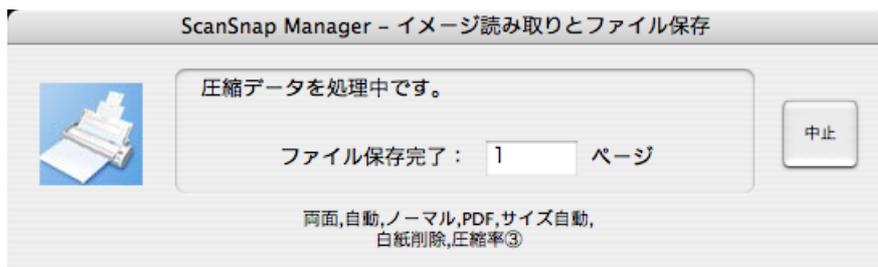
- 初期設定では、[スキャン] ボタンの設定は「両面読み取り」に設定されています。また、ScanSnap Manager を使って、[スキャン] ボタンの設定を片面読み取りに切り替えることができます。詳細は、「4.2 読み取り設定を変更するには」(51 ページ) を参照してください。

- Dock メニューの「ScanSnap Manager」のアイコン  から、読み取りを開始することもできます。詳細は、「4.1 ScanSnap Manager アイコンについて」(48 ページ) を参照してください。



- 読み取り中は、他の USB 機器を抜き差ししないでください。
- 読み取り中は、ScanSnap の給紙カバー（原稿台）を閉じないでください。
- 読み取り中は、ユーザー切り替えを行わないでください。読み取りがキャンセルされます。

⇒ 読み取り中は、ScanSnap の④ランプが白色に点滅します。
また、コンピュータには、読み取り中の画面が表示されます。



⇒ 読み取りが終わると、「ScanSnap クイックメニュー」が表示されます。



4. ScanSnap クイックメニューの項目一覧から、実行したい動作を選択してクリックします。



項目一覧

選択した項目の動作説明

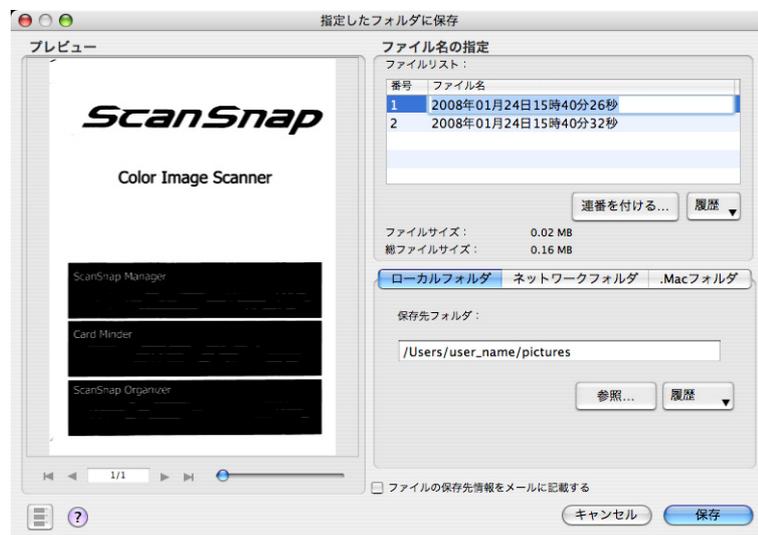
項目一覧

項目名	動作
指定したフォルダに保存	読み取った原稿から PDF ファイルを作成し、指定したフォルダ（共有フォルダ）に保存します。 ⇒ 「5.2 指定したフォルダに保存する」（91 ページ）
メールで送信	読み取った原稿から PDF ファイルを作成し、メールに添付した状態でメールソフトを起動します。 ⇒ 「5.3 メールに添付して送信する」（108 ページ）
プリンタで印刷	読み取った原稿を、プリンタで印刷します。 ⇒ 「5.4 ScanSnap をコピー機代わりに利用する」（123 ページ）
iPhoto	読み取った原稿から PDF ファイルを作成し、iPhoto で表示します。 ⇒ 「5.5 iPhoto へ送信する」（134 ページ）



iPhoto は、iPhoto5 以降（Mac OS X v10.3.4 以降で動作可能）がインストールされている場合に表示されます。

⇒ 選択した動作に合わせてアプリケーションが起動され、選択した動作が実行されます。



読み取り条件、ファイル名、保存先などの設定方法については、「4.2 読み取り設定を変更するには」（51 ページ）を参照してください。



- 初期設定では、以下のように読み取られます。
 - 画質の選択 : ノーマル
 - カラーモードの選択 : 自動
 - 読み取り面の選択 : 両面読み取り
- 活字や手書き文字の原稿を読み取る場合は、「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面の「読み取りモード」タブで「オプション」ボタン → 「文字をくっきりします」チェックボックスにチェックを付けて読み取ってください。詳細は、「4.2 読み取り設定を変更するには」(51 ページ) を参照してください。
- 「クイックメニューモード」の場合、読み取った原稿を JPEG 形式で保存することはできません。JPEG 形式で保存したい場合は、「読み取り設定モード」を使用してください。「読み取り設定モード」で読み取る方法については、「読み取り設定モードで読み取ります」(35 ページ) を参照してください。
- 原稿を読み取る時の設定の変更については、「4.2 読み取り設定を変更するには」(51 ページ) を参照してください。「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面では、以下の設定を変更できます。
 - 読み取った原稿のイメージデータを保存するフォルダ
 - 読み取った原稿のイメージデータを保存するファイル名
 - 読み取りモード（速く読み取るか、きれいに読み取るか、文字をくっきり読み取るか、白紙ページを自動で取り除くか、傾きを補正するかなど）
 - 読み取った原稿のイメージデータを1つのPDFファイルにするか、設定したページごとに分割するか
 - 読み取る原稿のサイズ
 - 読み取った原稿のイメージデータのファイルサイズ（圧縮率）読み取った原稿のイメージデータの倍率は、若干変わることがあります。



- ScanSnap クイックメニューの表示中は、ScanSnap で読み取りを実行することができません。ScanSnap クイックメニューを閉じるか、ScanSnap クイックメニューのどれか項目を選択して処理を完了してから、次の読み取りを行ってください。
- ScanSnap クイックメニューの表示中は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。

■ 読み取り設定モードで読み取ります



1. Dockメニューに「ScanSnap Manager」のアイコンが表示されていることを確認します。



「ScanSnap Manager」のアイコンが表示されていない場合は、Finderから「ScanSnap」のインストール場所（通常は [アプリケーション] → [ScanSnap]）→ [ScanSnap Manager] を選択し、ScanSnap Manager を起動してください。

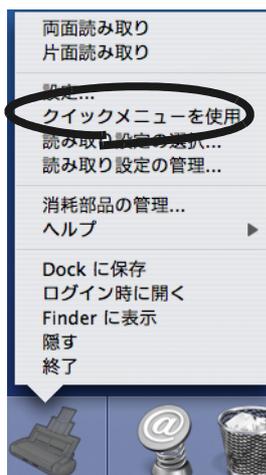
通常は、インストール時に Mac システムのログイン項目として登録されるため、Mac OS X 起動時に Dock メニューにアイコンが表示されます。

[システム環境設定] に「ScanSnap Manager」がログイン項目として登録されていない場合は、以下の方法によって設定してください。

- Mac OS X v10.2 では、[システム環境設定] アイテムから [ログイン項目] → [追加] → [ScanSnap Manager] を選択して、再登録します。
- Mac OS X v10.3 では、[システム環境設定] アイテムから [アカウント] → [マイアカウント] → [起動項目] → [+] → [ScanSnap Manager] を選択して、再登録します。
- Mac OS X v10.4 および Mac OS X v10.5 では、[システム環境設定] アイテムから [アカウント] → [マイアカウント] → [ログイン項目] → [+] → [ScanSnap Manager] を選択して、再登録します。

2. Dockメニューの「ScanSnap Manager」のアイコン  をしばらく押し、表示

されたメニューの [クイックメニューを使用] のチェックをはずします。



ヒント

[クイックメニューを使用] にチェックが付いている場合、「クイックメニューモード」で読み取られます。「クイックメニューモード」で読み取る方法については、「クイックメニューモードで読み取ります」(30 ページ) を参照してください。

3. Dock メニューの「ScanSnap Manager」のアイコン  をしばらく押し、表示

されたメニューから [読み取り設定の選択] を選択するか、「ScanSnap Manager」

のアイコン  をクリックして、読み取り設定を選択します。

操作



4. ScanSnap に原稿をセットします。



「3.2 読み取りできる原稿」(42 ページ) および「3.3 原稿のセット方法」(44 ページ) を参照してください。

5. [スキャン] ボタン  を押します。

⇒ 原稿の読み取りが開始されます。



ヒント

- 初期設定では、[スキャン] ボタンの設定は「両面読み取り」に設定されています。また、ScanSnap Manager を使って、[スキャン] ボタンの設定を片面読み取りに切り替えることができます。詳細は、「4.2 読み取り設定を変更するには」(51 ページ) を参照してください。

- Dock メニューの「ScanSnap Manager」のアイコン  から、読み取りを開始することもできます。詳細は、「4.1 ScanSnap Manager アイコンについて」(48 ページ) を参照してください。

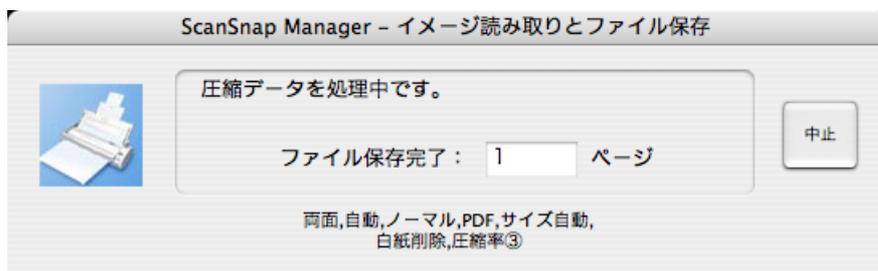


まって!

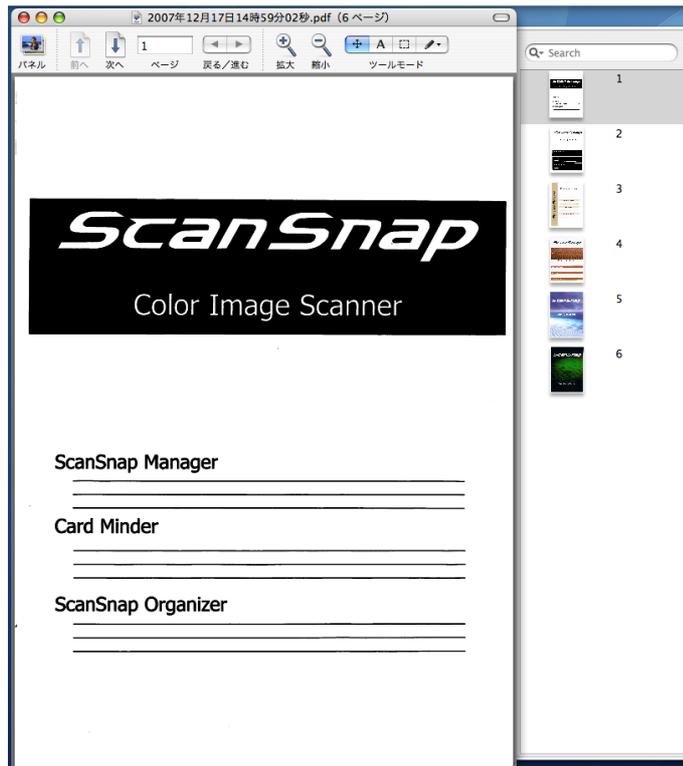
- 読み取り中は、他の USB 機器を抜き差ししないでください。
- 読み取り中は、ScanSnap の給紙カバー（原稿台）を閉じないでください。
- 読み取り中は、ユーザー切り替えを行わないでください。読み取りがキャンセルされます。

⇒ 読み取り中は、ScanSnap の  ランプが白色に点滅します。

また、コンピュータには、読み取り中の画面が表示されます。



⇒ 選択したアプリケーション（プレビューなど）が起動され、読み取った原稿のイメージデータが表示されます。



読み取り条件、ファイル名、保存先などの設定方法については、[「4.2 読み取り設定を変更するには」](#) (51 ページ) を参照してください。



- 初期設定では、以下のように読み取られます。
 - 画質の選択 : ノーマル
 - カラーモードの選択 : 自動
 - 読み取り面の選択 : 両面読み取り
- 活字や手書き文字の原稿を読み取る場合は、「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面の「読み取りモード」タブで「オプション」ボタン → 「文字をくっきりします」チェックボックスにチェックを付けて読み取ってください。詳細は、「4.2 読み取り設定を変更するには」(51 ページ) を参照してください。
- 読み取ったあとに起動されるアプリケーションは、「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面の「アプリ選択」タブの設定によって異なります。詳細は、「4.2 読み取り設定を変更するには」(51 ページ) を参照してください。
- 読み取った原稿のイメージデータを JPEG 形式で保存することもできます。この場合、原稿を読み取る時の設定を変更してから読み取ります。
- 原稿を読み取る時の設定の変更については、「4.2 読み取り設定を変更するには」(51 ページ) を参照してください。「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面では、以下の設定を変更できます。
 - ScanSnap と連携するアプリケーション
 - 読み取った原稿のイメージデータを保存するフォルダ
 - 読み取った原稿のイメージデータを保存するファイル名
 - 読み取りモード（速く読み取るか、きれいに読み取るか、文字をくっきり読み取るか、白紙ページを自動で取り除くか、傾きを補正するかなど）
 - 読み取った原稿のイメージデータのファイル形式 (*.pdf / *.jpg)
 - 読み取った原稿のイメージデータを 1 つの PDF ファイルにするか、設定したページごとに分割するか
 - 読み取る原稿のサイズ
 - 読み取った原稿のイメージデータのファイルサイズ（圧縮率）読み取った原稿のイメージデータの倍率は、若干変わることがあります。

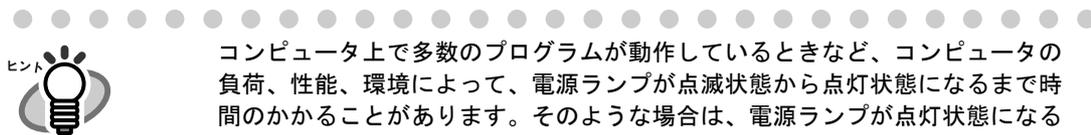
■ 電源の ON / OFF について

ScanSnap の電源は、以下の方法で ON / OFF します。

- コンピュータの電源を ON / OFF する
- 給紙カバー（原稿台）を開閉する

ScanSnap の電源は、コンピュータの電源または給紙カバー（原稿台）の開閉と連動しています。そのため、コンピュータに接続したままにしておけば、電源の ON / OFF を意識することなくご使用いただけます。

- コンピュータの電源を切る、または給紙カバー（原稿台）を閉じると ...
⇒ ScanSnap の電源ランプが消灯します（電源 OFF）。
- コンピュータの電源を入れる、または給紙カバー（原稿台）を開けると ...
⇒ ScanSnap の電源が ON になり、電源ランプが点滅します。そのあと、電源ランプが点灯状態になります（電源 ON）。



コンピュータ上で多数のプログラムが動作しているときなど、コンピュータの負荷、性能、環境によって、電源ランプが点滅状態から点灯状態になるまで時間がかかることがあります。そのような場合は、電源ランプが点灯状態になるまでお待ちください。

数分経過しても点滅状態が続く場合は、給紙カバー（原稿台）を閉め、5秒以上間隔をあけてから、再度開けてお待ちください。それでも点滅状態が続く場合は、ケーブルの接続を確認してください。



以下は、コンピュータの仕様であり、ScanSnap が故障しているわけではありません。

- ご使用のコンピュータによっては、コンピュータ起動時に、ScanSnap の初期化動作が数回行われる場合があります。
- ご使用のコンピュータによっては、コンピュータの電源を切断してから、ScanSnap の電源ランプが消灯するまでに、2～3分かかる場合があります。



■ 終了します

< ScanSnap Manager を終了するには >



Dock メニューの「ScanSnap Manager」のアイコン  をしばらく押し、表示された

メニューで [終了] を選択します。



「ScanSnap Manager」を終了すると、ScanSnap は使用できなくなります。「ScanSnap Manager」を起動する場合は、Finder から、「ScanSnap」のインストール場所（通常は、[アプリケーション] → [ScanSnap]）→ [ScanSnap Manager] を選択して、ScanSnap Manager を起動してください。
※通常は、終了する必要はありません。

< ScanSnap を取りはずすには >



1. ScanSnap の給紙カバー（原稿台）を閉じて、電源を切ります。

⇒ Dock メニューの「ScanSnap Manager」のアイコンが  状態になります。

ScanSnap の電源ランプが消灯します。

2. USB ケーブルをコンピュータからはずします。

3. ScanSnap の電源ケーブルまたは給電ケーブルを、コンセントまたはコンピュータからはずします。



ScanSnap の電源は、コンピュータの ON / OFF や、給紙カバー（原稿台）の開閉に連動します。そのため、通常コンピュータに接続したままにしておけば、電源の ON / OFF を意識することなくご使用いただけます。

3.2 読み取りできる原稿

以下に、読み取りできる原稿を示します。

原稿を直接読み取る場合																					
読み取り対象	一般的なオフィス用紙、はがき、名刺																				
坪量	64g / m ² ~ 104.7g / m ² (55kg / 連 ~ 90kg / 連)																				
大きさ	<table border="0"> <tr> <td>A4</td> <td>(210 × 297mm)</td> </tr> <tr> <td>A5</td> <td>(148 × 210mm)</td> </tr> <tr> <td>A6</td> <td>(105 × 148mm)</td> </tr> <tr> <td>B5</td> <td>(182 × 257mm)</td> </tr> <tr> <td>B6</td> <td>(128 × 182mm)</td> </tr> <tr> <td>はがき</td> <td>(100 × 148mm)</td> </tr> <tr> <td>名刺</td> <td>(90 × 55mm、55 × 90mm)</td> </tr> <tr> <td>レター</td> <td>(8.5 × 11 インチ、216 × 279.4mm)</td> </tr> <tr> <td>リーガル</td> <td>(8.5 × 14 インチ、216 × 355.6mm)</td> </tr> <tr> <td>カスタムサイズ</td> <td>幅 : 50.8 ~ 216mm (2 ~ 8.5 インチ) 長さ : 50.8 ~ 360mm (2 ~ 14.17 インチ)</td> </tr> </table>	A4	(210 × 297mm)	A5	(148 × 210mm)	A6	(105 × 148mm)	B5	(182 × 257mm)	B6	(128 × 182mm)	はがき	(100 × 148mm)	名刺	(90 × 55mm、55 × 90mm)	レター	(8.5 × 11 インチ、216 × 279.4mm)	リーガル	(8.5 × 14 インチ、216 × 355.6mm)	カスタムサイズ	幅 : 50.8 ~ 216mm (2 ~ 8.5 インチ) 長さ : 50.8 ~ 360mm (2 ~ 14.17 インチ)
A4	(210 × 297mm)																				
A5	(148 × 210mm)																				
A6	(105 × 148mm)																				
B5	(182 × 257mm)																				
B6	(128 × 182mm)																				
はがき	(100 × 148mm)																				
名刺	(90 × 55mm、55 × 90mm)																				
レター	(8.5 × 11 インチ、216 × 279.4mm)																				
リーガル	(8.5 × 14 インチ、216 × 355.6mm)																				
カスタムサイズ	幅 : 50.8 ~ 216mm (2 ~ 8.5 インチ) 長さ : 50.8 ~ 360mm (2 ~ 14.17 インチ)																				



- 鉛筆書きの原稿を読み取る際は、原稿に黒い跡が残る可能性があります。また、ローラよごれ、原稿送り不良の原因となります。読み取る場合は、できる限り頻繁にローラを清掃してください。(清掃方法については、「[8.3 ScanSnap 内部の清掃](#)」(174 ページ)を参照してください。)
- ノーカーボン紙は、パッドユニットやローラ類(ピックローラユニットなど)を傷めるような化学物質を含んでいる可能性があります。読み取る場合は以下のことに注意してください。
 - できる限り頻繁にパッドユニットやローラ類の清掃を行ってください。
 - 一般的なオフィス用紙を使用した場合に比べて、装置寿命が短くなる場合があります。
- 写真やメモ用紙が貼り付けられている原稿は読み取らないでください。原稿を読み取る際にパッドやローラに接触して、写真やメモ用紙を傷つける可能性があります。



- 以下のような原稿は、使用しないでください。
 - － クリップ、ステープラーの針などがついているもの（はずしてからご使用ください。）
 - － インクの乾いていないもの（十分乾かしてからご使用ください。）
 - － 幅 216mm、長さ 360mm より大きいもの
 - － 2 つ折りにした状態で、幅 216mm、長さ 297mm より大きいもの
 - － 布地、金属シート、OHP シート、プラスチックカードなどの紙以外のもの
- 以下のような原稿を読み取ると、原稿を傷つけたり、正常に読み取れないことがあります。
 - － 幅 50.8mm、長さ 50.8mm より小さいもの
 - － 64g / m² (55kg / 連) より薄いもの
 - － 紙厚の不均一なもの（封筒や切り貼りされた用紙）
 - － シワやカールの大きなもの
 - － 折れ破れのあるもの
 - － トレーシング紙
 - － コーティングが施されているもの
 - － 写真（印画紙）
 - － 周辺にミシン目加工されたもの
 - － 四角形以外の異形用紙
 - － ノーカーボン紙
 - － 裏カーボン紙
 - － 感熱紙
 - － 写真やメモ用紙などが貼り付けられた原稿

3.3 原稿のセット方法

原稿を ScanSnap にセットする方法について説明します。

1. 原稿をそろえます。

以下のように原稿をそろえます。

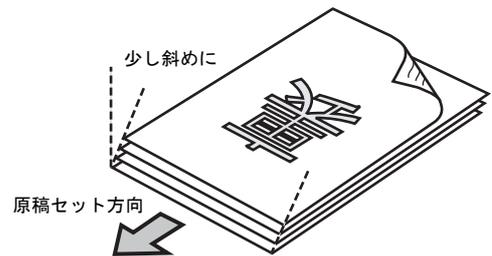
- 1) セットする原稿の両端をそろえます。
原稿の両端をそろえると、原稿が正確に読み取れます。
- 2) 原稿枚数を確認します。
セットする原稿枚数の目安は、以下のとおりです。
 - A4 サイズ以下の場合、原稿の厚みが 1mm 以下になる枚数 (64g / m² の (55kg / 連) 用紙で 10 枚)



セットできる枚数より多く続けて読み取らないでください。ファイルサイズが大きくなりすぎ正常にファイルを作成できなくなることがあります。

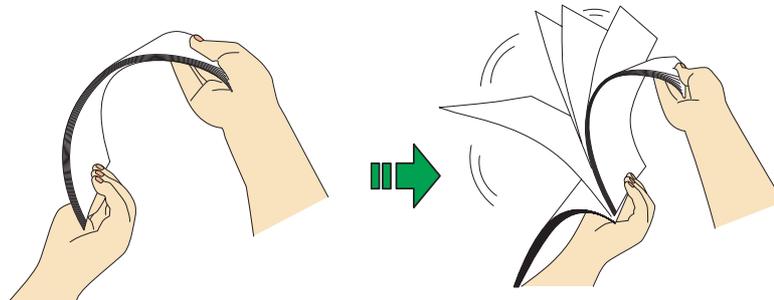


原稿を ScanSnap にセットする前に、原稿の先端を少し斜めにずらしておく、さらに正確に読み取れます。



複数枚の原稿をセットする場合は、以下の手順で原稿をさばきます。

- 1) 原稿を、セットできる厚みで取り出します。
- 2) 両手で原稿の両端を軽くつかみ、2～3回さばきます。

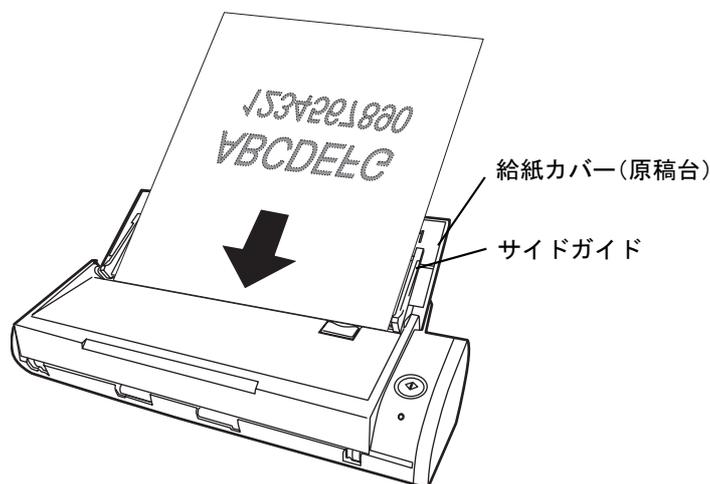


- 3) 原稿の向きを 90 度回転し、同じようにさばきます。

2. 給紙カバー（原稿台）の上に原稿をセットします。

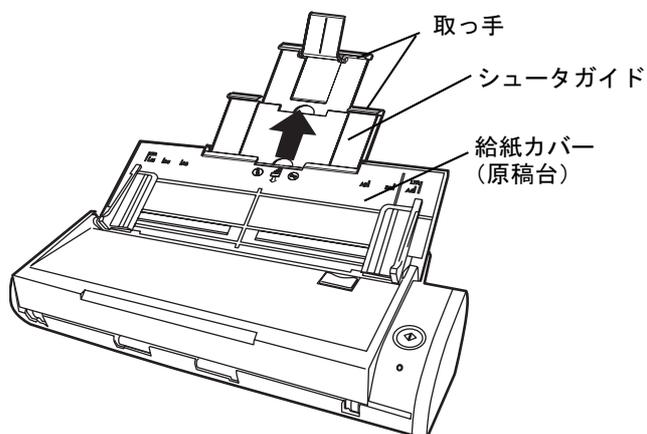
原稿の表面（複数枚ある場合は、1 ページ目）を給紙カバー（原稿台）側に、先端を下向きになるようにセットします。

原稿の厚みが、サイドガイド内側に刻まれたメモリを超えないように、原稿の枚数を調節してください。



ヒント

長さのある原稿をセットする場合は、給紙カバー（原稿台）の取っ手を引き上げてシュータガイドをのばしてから、原稿をセットします。

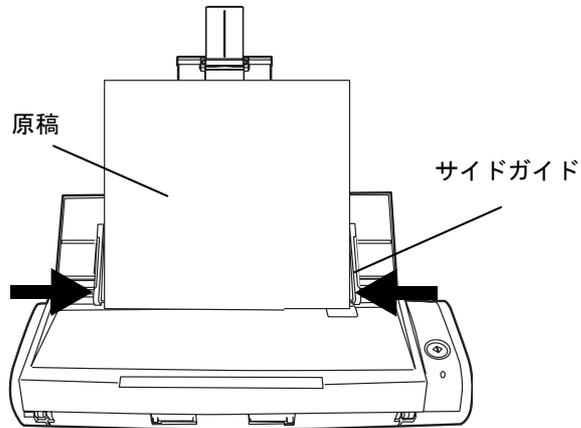


3. 原稿の幅に合わせて、サイドガイドを移動します。

サイドガイドを動かして、サイドガイドと原稿の間に隙間ができないようにします。

サイドガイドを動かすときは、突起がある部分を持って動かします。

サイドガイドと原稿の間に隙間があると、原稿が斜めに読み取られることがあります。



第4章



ScanSnap の設定

この章では、ScanSnap の読み取り設定の変更方法、設定の保存方法について説明しています。

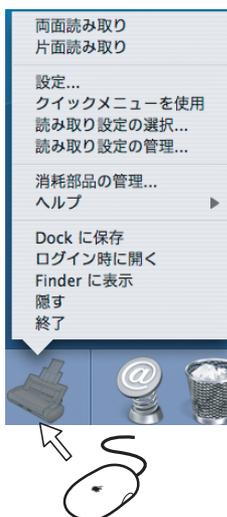
4.1	ScanSnap Manager アイコンについて	48
4.2	読み取り設定を変更するには	51
4.3	読み取り設定を保存するには	73
4.4	ScanSnap クイックメニューの使い方	86

4.1 ScanSnap Manager アイコンについて

ScanSnap の動作は、すべて ScanSnap Manager で管理されています。

ScanSnap Manager は、通常、Dock メニューにアイコン  として登録されています。

このアイコンをしばらく押すと、以下のメニューが表示され、読み取りを開始したり、原稿を読み取るときの設定を変更したり、消耗品を管理することができます。



「ScanSnap Manager」のアイコンは、電源の接続方法で表示が異なります。

- 電源ケーブル接続時の表示



- 給電ケーブル接続時の表示



本書では、電源ケーブル接続時を例にして説明しています。

■ ScanSnap Manager のメニュー

「ScanSnap Manager」のアイコン  をしばらく押すと表示されるメニューです。

以下のような項目があります。

項目名	機能
両面読み取り	両面読み取りを実行します。その他の設定は、「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面に従います。
片面読み取り	片面読み取りを実行します。その他の設定は、「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面に従います。
設定	「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面を表示します。 [スキャン] ボタン  を押して読み取るとき、設定を行います。 ⇒ 「4.2 読み取り設定を変更するには」(51 ページ)
クイックメニューを使用	クイックメニューモード/読み取り設定モードの切り替えを行います。 [スキャン] ボタン  を押して読み取るとき、モードの切り替えを行います。 ⇒ 「3.1 操作の流れ」(24 ページ)
読み取り設定の選択	「読み取り設定の選択」画面を表示します。 ⇒ 「「読み取り設定の選択」画面」(50 ページ)
読み取り設定の管理	「読み取り設定の管理」画面を表示します。 ⇒ 「4.3 読み取り設定を保存するには」(73 ページ)
消耗部品の管理	「ScanSnap Manager- 消耗部品の管理」画面を表示します。 消耗品を交換した際に、消耗品カウンタのリセットを行います。 ⇒ 「第9章 消耗品/定期交換部品」(179 ページ)
ヘルプ	ヘルプ、バージョン情報の画面を表示します。
Dock に保存	「ScanSnap Manager」のアイコン  を Dock メニューに追加します。
ログイン時に開く	Mac OS X の起動時に、ScanSnap Manager を自動的に起動します。
Finder に表示	Finder を使って [ScanSnap] フォルダ内を表示します。
隠す/表示	表示している ScanSnap Manager のすべての画面を隠したり、再度表示したりします。
終了	ScanSnap Manager を終了します。



ヒント

ご使用の Mac OS X のバージョンによっては、メニュー項目が上記の内容と異なる場合があります。

■ 「読み取り設定の選択」画面

ScanSnap Manager のメニューの「読み取り設定の選択」を選択するか、「ScanSnap

Manager」のアイコン  をクリックすると表示される画面です。

現在保存されている読み取り設定を一覧表示します。

ここで、読み取りに使用する「読み取り設定」を選択することによって、あらかじめ準備しておいた読み取り設定に切り替えることができます。

この設定は、読み取り設定モード ([35 ページ](#)) での読み取り時に使用されます。



読み取り設定の作成、管理方法については、「[4.3 読み取り設定を保存するには](#)」(73 ページ) を参照してください。

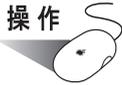


「読み取り設定の選択」画面を表示したい場合は、ScanSnap Manager のメニューの [クイックメニューを使用] のチェックをはずしてください。[クイックメニューを使用] にチェックが付いていると「読み取り設定の選択」画面は表示されません。

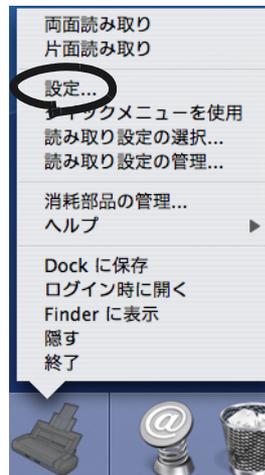
4.2 読み取り設定を変更するには

ScanSnap の読み取り設定を変更する場合は、ScanSnap Manager のメニューから行います。

以下に、設定を変更する方法について説明します。



1. Dock メニューの「ScanSnap Manager」のアイコン  をしばらく押し、表示されたメニューから [設定] を選択します。



⇒「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。



キーボードで [コマンド ()] キー + [S] キーを同時に押すことによって、「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面を表示することもできます。(ScanSnap Manager に制御があるときのみ有効です。)

2. 「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面の各タブで、読み取り設定を変更します。

以下の設定を変更できます。

- ScanSnap で読み取ったあとに起動するアプリケーション ⇒ 「[\[アプリ選択\] タブ](#)」(56 ページ)
- 読み取ったイメージの保存先 ⇒ 「[\[保存先\] タブ](#)」(60 ページ)
- 読み取りモード ⇒ 「[\[読み取りモード\] タブ](#)」(62 ページ)
(速く読み取るか、きれいに読み取るか、カラーで読み取るか、白黒で読み取るか、文字をくっきり読み取るか、白紙ページを自動的に取り除くか、文字列の傾きを自動的に補正するか、読み取り後継続するかなど)
- 読み取ったイメージのファイル形式 ⇒ 「[\[ファイル形式\] タブ](#)」(66 ページ)
(ファイル形式、PDF ファイルのページ数指定など)
- 読み取る原稿のサイズ ⇒ 「[\[原稿サイズ\] タブ](#)」(68 ページ)
- 読み取ったイメージを保存する際のファイルサイズ ⇒ 「[\[ファイルサイズ\] タブ](#)」(71 ページ)



読み取り設定は、操作モードが「クイックメニューモード」のときと「読み取り設定モード」のときでは、設定できる項目が異なります。

設定できる項目の違いについては、「付録B スキャンボタンの設定項目（メニューモードでの機能差）」（199 ページ）を参照してください。

本節では、読み取り設定モード時の「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面を使って説明していますので、実際の画面と設定できる項目が異なる場合があります。

3. [適用] ボタンをクリックします。

⇒ 読み取りと保存に関する設定が変更されます。

＜設定項目＞

[スキャン] ボタンの操作モードが「クイックメニューモード」と「読み取り設定モード」では異なります。

以下に、分かりやすくするために、設定項目の右側に以下のマークを表示し、それぞれの設定項目について説明します。

スキャン-クイック : クイックメニューモード時に設定できる項目

スキャン-読み取り設定 : 読み取り設定モード時に設定できる項目

※表示がない場合は、すべて設定可能な項目です。

● 読み取り設定の選択 **スキャン-読み取り設定**



ここで、あらかじめ準備されている「読み取り設定」を選択することによって、読み取り設定を切り替えることができます。

初期状態では、以下の「読み取り設定」が登録されています。

- 標準
- 指定したフォルダに保存
- メールで送信
- プリンタで印刷
- iPhoto
(iPhoto5 以降 (Mac OS X v10.3.4 以降で動作可能) がインストールされている場合に表示されます。)

「読み取り設定の選択」ポップアップメニューには、以下の項目があります。

- **新しい読み取り設定**
新しく任意の読み取り設定を追加登録することができます。



登録方法については、「[読み取り設定を登録します](#)」(74 ページ)を参照してください。

- **読み取り設定の管理**
「読み取り設定の管理」画面が表示されます。



この画面で、設定名を変更・削除したり、並び順を変更することができます。ただし、「標準」は変更・削除できません。



編集方法については、「[登録した読み取り設定を変更します](#)」(79 ページ)を参照してください。

以下に、それぞれのタブの設定項目について説明します。

● [アプリ選択] タブ スキャン - 読み取り設定



「アプリケーションの選択」ポップアップメニュー

ScanSnap と連携して動作させるアプリケーションを指定します。指定したアプリケーションは、ScanSnap で原稿を読み取ったあとに起動されます。

 をクリックして、アプリケーションを選択します。

以下のアプリケーションが選択できます。

- アプリケーションを起動しません（ファイル保存のみ）
- Adobe Acrobat Standard
(Adobe Acrobat Standard がインストールされている場合に表示されます。)
- Adobe Acrobat Professional
(Adobe Acrobat Professional がインストールされている場合に表示されます。)
- Adobe Reader または Adobe Acrobat Reader
(Adobe Reader または Adobe Acrobat Reader がインストールされている場合に表示されます。)
- プレビュー
- iPhoto (→ [134 ページ](#))
(iPhoto5 以降 (Mac OS X v10.3.4 以降で動作可能) がインストールされている場合に表示されます。)
- 指定したフォルダに保存 (→ [91 ページ](#))
- メールで送信 (→ [108 ページ](#))
- プリンタで印刷 (→ [123 ページ](#))



ヒント

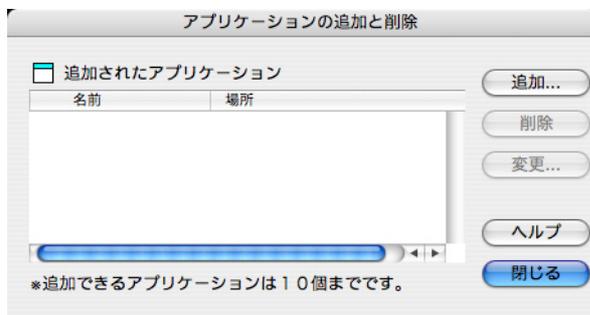
- 上記アプリケーションは、インストールすると自動的に選択可能となり、アンインストールすると自動的に選択項目に表示されなくなります。
- Adobe Acrobat (Mac 版) は本製品には添付されていません。別途、ご購入ください。
- 「アプリケーションを起動しません」を選択すると、読み取ったあとファイルを保存して、そのまま終了します。読み取り結果は、画面に表示されません。読み取るたびに読み取り結果を確認する必要がない場合は、この設定が適しています。
- Adobe Acrobat Standard と Adobe Acrobat Professional が同時にインストールされている場合、デフォルトでは Adobe Acrobat Standard が優先して選択されます。

[アプリケーションの設定] ボタン

「アプリケーションの選択」ポップアップメニューで、「メールで送信」または「プリンタで印刷」を選択した場合のみ表示されます。選択したアプリケーションに関する設定を行います。

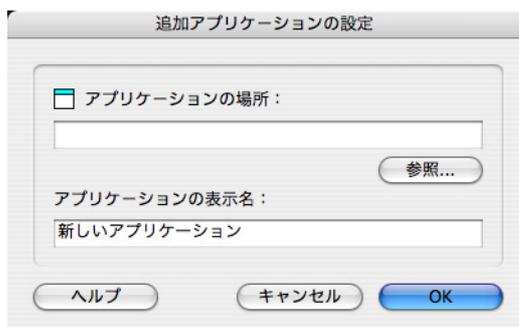
[追加と削除] ボタン

「アプリケーションの選択」ポップアップメニューに、アプリケーションを登録したり、登録したアプリケーションを削除することができます。[追加と削除] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。(最大 10 個のアプリケーションを登録することができます。)



<アプリケーションを追加する場合>

1. [追加] ボタンをクリックします。
⇒ 「追加アプリケーションの設定」画面が表示されます。
2. 各項目を設定します。



- [参照] ボタンをクリックして、登録したいアプリケーションのエイリアスファイル、または実行ファイル (.app) を選択します。
⇒「アプリケーションの場所」に、選択したアプリケーションの場所が表示されます。
 - 「アプリケーションの表示名」に、表示させたい名前を入力します。
3. 設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。
⇒「アプリケーションの追加と削除」画面が表示され、新しいアプリケーションが追加されます。
4. [閉じる] ボタンをクリックして、画面を閉じます。



追加するアプリケーションには、以下に対応したアプリケーションを選択してください。対応していないアプリケーションの場合、読み取った原稿のイメージデータを正しく表示することができません。

- JPEG (*.jpg) または PDF (*.pdf) のフォーマット形式のファイルを指定して実行できる。
- アプリケーションのエイリアス上へのドラッグ&ドロップでファイルを開くことができる。

以下のような方法で確認することができます。

例：追加するアプリケーションが JPEG 形式のファイルを指定して実行できるかどうかを確認する場合。

1. 追加したいアプリケーションのエイリアスを作成します。
2. 任意の JPEG 形式のファイル (*.jpg) をエイリアス上までドラッグ&ドロップします。
⇒アプリケーションが起動してファイルが開けば、JPEG 形式のファイルを指定して実行できることとなります。

<アプリケーションを削除する場合>

1. 「アプリケーションの追加と削除」画面で、削除したいアプリケーションを選択して、[削除] ボタンをクリックします。
⇒確認画面が表示されます。
2. [はい] ボタンをクリックします。
⇒「アプリケーションの追加と削除」画面が表示され、設定が削除されます。
3. [閉じる] ボタンをクリックして、画面を閉じます。

<設定を変更する場合>

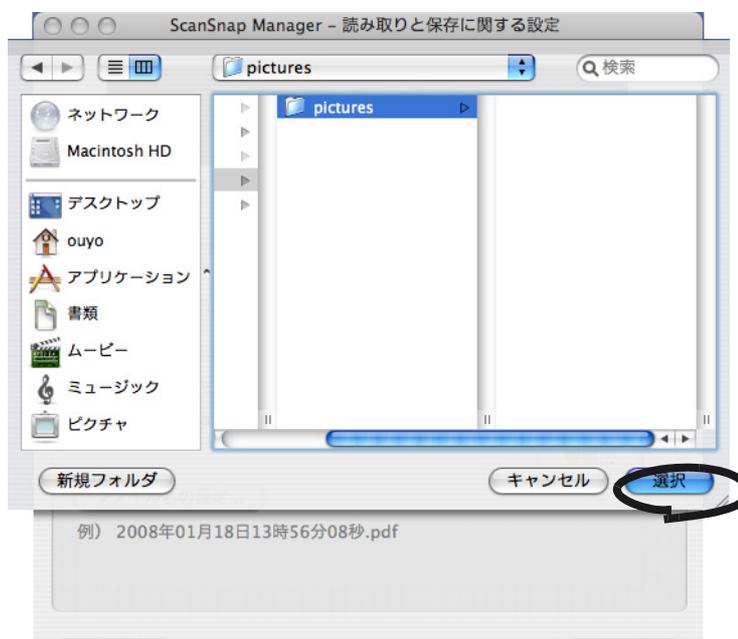
1. 「アプリケーションの追加と削除」画面で、設定を変更したいアプリケーションを選択して、[変更] ボタンをクリックします。
⇒ 「追加アプリケーションの設定」画面が表示されます。
2. 設定を変更します。
3. 設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。
⇒ 「アプリケーションの追加と削除」画面が表示され、設定が変更されます。
4. [閉じる] ボタンをクリックして、画面を閉じます。

● [保存先] タブ



イメージの保存先

読み取った原稿のイメージデータを保存するフォルダを指定します。
[参照] ボタンをクリックすると、場所を選択する画面が表示されます。
保存するフォルダを選択し、[選択] ボタンをクリックします。



[ファイル名の設定] ボタン

読み取ったイメージデータを保存するときのファイル名を設定します。
[ファイル名の設定] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



以下の 3 種類の指定が可能です。

- 「日付を使用します (yyyy 年 MM 月 dd 日 HH 時 mm 分 ss 秒)」ラジオボタン
ファイルを保存したときの日時をファイル名にします。
例：2008 年 1 月 10 日 13 時 25 分 49 秒に PDF 形式で保存した場合
ファイル名：2008 年 01 月 10 日 13 時 25 分 49 秒 .pdf
- 「日付を使用します (yyyyMMddHHmmss)」ラジオボタン
ファイルを保存したときの日時をファイル名にします。
例：2008 年 1 月 10 日 13 時 25 分 49 秒に PDF 形式で保存した場合
ファイル名：20080110132549.pdf
- 「自分で名前を付けます」ラジオボタン
「先頭文字列」に入力した文字列と「連番」ポップアップメニューで指定した桁数の数字を組み合わせてファイル名を生成します。
(画面の下の部分に、ファイル名の例が表示されます。)



「連番」について

- [保存先] タブで設定したイメージ保存先フォルダに、「先頭文字列」で指定した名前と同じファイルが存在しない場合、1 (3 桁の場合 001) となり、以降新しくファイルを保存するたびに、1 ずつ加算されていきます。
- 保存先フォルダ内に、「先頭文字列」で指定した名前と同じファイルが存在する場合、重複しない最小の番号となります。
例：フォルダ内に、Scan01.pdf、Scan03.pdf、Scan04.pdf というファイルが存在する場合、以降同じ先頭文字列のファイルで保存すると、Scan02.pdf、Scan05.pdf、Scan06.pdf、Scan07.pdf..... となります。
- 指定した桁数を超える場合 (2 桁指定で 100 個目のファイルを保存するような場合)、桁数が 1 つ繰り上がります。
- 0 桁を指定した場合は、最初のファイル名には連番が付加されず、2 番目のファイル名から連番が付加されます。
例：先頭文字列が A で、0 桁を指定した場合は、A.pdf、A1.pdf、A2.pdf..... となります。

[OK] ボタンをクリックすると設定が反映されます。

(設定したファイル名の表示例が、[ファイル名の設定] ボタンの下に表示されます。)

● [読み取りモード] タブ



「画質の選択」ポップアップメニュー

速く読み取るか、きれいに読み取るかを指定します。  をクリックして、モードを選択します。以下のモードが選択できます。

- **ノーマル (高速に読み取ります)**
速く読み取りたいときに選択します。
- **ファイン (綺麗に読み取ります)**
きれいな画像で読み取りたいときに選択します。
- **スーパーファイン (より綺麗に読み取ります)**
よりきれいな画像で読み取りたいときに選択します。
- **エクセレント (更に綺麗に読み取ります)**
スーパーファインより、さらにきれいな画像で読み取りたいときに選択します。



ヒント

読み取りモードの解像度は以下のとおりです。

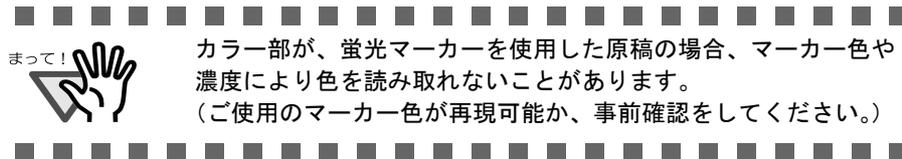
- **ノーマル** : カラー 150dpi、白黒 300dpi 相当
- **ファイン** : カラー 200dpi、白黒 400dpi 相当
- **スーパーファイン** : カラー 300dpi、白黒 600dpi 相当
- **エクセレント** : カラー 600dpi、白黒 1200dpi 相当

きれいに読み取るほど、読み取りにかかる時間が長くなり、ファイルサイズも大きくなります。
エクセレントで読み取るときは、10枚までを目安に読み取りを行ってください。

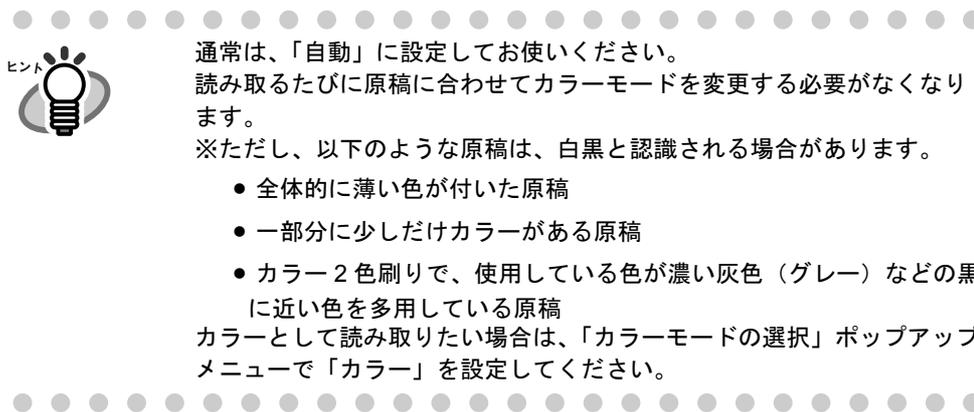
「カラーモードの選択」ポップアップメニュー

カラーで読み取るか、白黒で読み取るかを指定します。 をクリックして、モードを選択します。以下のモードが選択できます。

- **自動（原稿ごとにカラーと白黒を自動識別します）**
読み取る原稿がカラーか白黒かを識別して自動的に切り替えます。
- **カラー**
カラーで読み取りを行います。
カラー原稿を読み取る時に最適です。



- **白黒**
白黒で読み取りを行います。
白黒で文字中心の原稿を読み取る時に最適です。
ファイルサイズも「カラー」に比べて小さく抑えることができます。



「読み取り面の選択」ポップアップメニュー

[スキャン] ボタン  を押したときの読み取り面を指定します。 をクリックして、読み取り面を選択します。以下の読み取り面が選択できます。

- 両面読み取り
- 片面読み取り

「継続読み取りを有効にします」チェックボックス

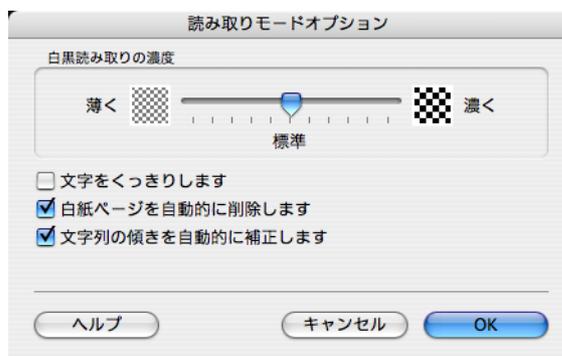
「継続読み取りを有効にします」チェックボックスにチェックを付けると、読み取り終了後、読み取りを継続するかどうかのメッセージが表示されます。



続けて読み取る場合は、ScanSnap に原稿をセットして、[継続読み取り] ボタンをクリックするか、[スキャン] ボタン  を押します。終了する場合は、[読み取り終了] ボタンをクリックします。
※ 1 つの PDF ファイルに最大 1000 ページまで出力することができます。
※ PDF ファイルのファイルサイズの上限は、1G バイトです。

[オプション] ボタン

読み取りに関するその他の設定を行います。
[オプション] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



「白黒読み取りの濃度」スライダー

白黒読み取り時の濃度を設定します。
スライダーを左に移動すると読み取り結果が薄く、右に移動すると読み取り結果が濃くなります。
※ 「カラーモードの選択」ポップアップメニューで、「白黒」が選択されている場合、または「自動」が選択されていて、白黒原稿と認識された場合に有効となります。

「文字をくっきりします」チェックボックス

読み取る原稿の種類によって、以下のようにチェックします。

- 活字や手書き文字の原稿を読み取る場合は、チェックを付けます。
- 写真が入った原稿を読み取る場合は、チェックをはずします。

「白紙ページを自動的に削除します」チェックボックス

原稿に含まれる白紙ページを検出し、自動的に削除して出力します。たとえば、両面原稿と片面原稿が混在した状態で、両面読み取りを行うと、片面原稿の裏面（白紙ページ）だけを取り除いて出力することができます。

※読み取った原稿がすべて白紙と認識された場合は、出力されません。



以下のような原稿は、白紙ページとして認識される場合があります。

- 白紙原稿内に、2、3文字以内の文字のみが書かれている場合。
- 白色でなくても、ページ全体が一様色（無地）の場合。

※黒色も含まれます。

読み取った原稿を破棄される場合は、誤って削除されたページがないかどうかを必ずご確認ください。



「文字列の傾きを自動的に補正します」チェックボックス

原稿の傾きを検出し、原稿が傾いた状態で読み取られた場合に、その傾きを補正して出力します。

最大±5°の傾きを補正することができます。



原稿中の文字列を基準にして補正するため、以下のような原稿は画像が傾く場合があります。

- 文字間や行間が極端に狭かったり、文字が接触している原稿
- 白抜きや装飾文字が多い原稿
- 写真や図などが多い原稿
- 文字の背景に模様がある原稿
- 図面など、文字が一定方向を向いていない原稿
- 斜め方向の長い直線がある原稿
- 手書き文字の原稿

※このような原稿を読み取る場合は、チェックをはずしてください。



[オプション] ボタン

PDF ファイルに関する詳細設定を行います。「ファイル形式の選択」ポップアップメニューで「PDF (*.pdf)」を選択したときに有効になります。
[オプション] ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



- 「すべてのページを1つの PDF ファイルにします」ラジオボタン
読み取った原稿のイメージデータをすべて1つのファイルにまとめて保存します。
- 「設定ページごとに PDF ファイルを作ります」ラジオボタン
指定したページ数ごとにファイルを作成します。たとえば、“2” ページに設定して6 ページある原稿を読み取った場合、ファイルが3つ作成されます。



[アプリ選択] タブで選択された、ScanSnap と連携するアプリケーションによって、読み取り後に表示されるファイルの数は異なります。

例：Adobe Acrobat Professional を選択した場合、50 個までのファイルが表示されます。



● [原稿サイズ] タブ



「原稿サイズの選択」ポップアップメニュー

セットする原稿のサイズを指定します。 をクリックして、サイズを選択します。以下の原稿サイズ（幅×長さ）が選択できます。

- サイズ自動検出
- A4 (210 × 297mm)
- A5 (148 × 210mm)
- A6 (105 × 148mm)
- B5 (182 × 257mm)
- B6 (128 × 182mm)
- はがき (100 × 148mm)
- 名刺 (90 × 55mm、55 × 90mm)
- レター (8.5 × 11 インチ、216 × 279.4mm)
- リーガル (8.5 × 14 インチ、216 × 355.6mm)
- カスタムサイズ (10 個まで登録可能)



読み取り方法および原稿の状態によっては、出力されるイメージに、原稿の端の影が線として表示される場合があります。



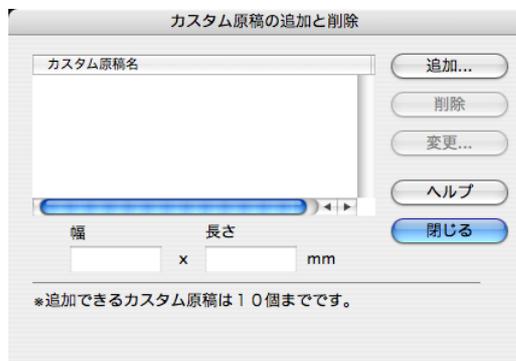
サイズ自動検出を指定することを推奨します。

[カスタマイズ] ボタン

「カスタム原稿の追加と削除」画面が表示されます。

「原稿サイズの選択」ポップアップメニューで選択するカスタム原稿サイズを追加、削除、変更することができます。

カスタム原稿サイズは、最大 10 個まで登録できます。



<カスタム原稿サイズを追加する場合>

1. [追加] ボタンをクリックします。

⇒ 「追加カスタム原稿の設定」画面が表示されます。



2. 各項目を設定します。

- 原稿のサイズを入力します。以下の範囲で設定できます。

幅 : 50.8 ~ 216 mm (2 ~ 8.5 インチ)

長さ : 50.8 ~ 360 mm (2 ~ 14.17 インチ)

- 「カスタム原稿の表示名」に、表示させたい名前を入力します。

3. 設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。

⇒ 「カスタム原稿の追加と削除」画面が表示され、新しいカスタム原稿サイズが追加されます。

4. [閉じる] ボタンをクリックして、画面を閉じます。

＜カスタム原稿サイズを削除する場合＞

1. 「カスタム原稿の追加と削除」画面で、削除したい原稿サイズ名を選択して、[削除] ボタンをクリックします。
⇒確認画面が表示されます。
2. [はい] ボタンをクリックします。
⇒「カスタム原稿の追加と削除」画面が表示され、設定が削除されます。
3. [閉じる] ボタンをクリックして、画面を閉じます。

＜カスタム原稿サイズの設定を変更する場合＞

1. 「カスタム原稿の追加と削除」画面で、設定を変更したい原稿サイズ名を選択して、[変更] ボタンをクリックします。
⇒「追加カスタム原稿の設定」画面が表示されます。
2. 設定を変更します。
3. 設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックします。
⇒「カスタム原稿の追加と削除」画面が表示され、設定が変更されます。
4. [閉じる] ボタンをクリックして、画面を閉じます。



「名刺 (90 × 55mm、55 × 90mm)」サイズを選択して読み取る場合、読み取った長さから、横置き／縦置きを自動認識して読み取ります。
長さ方向（搬送方向）は、実際に読み取った原稿の長さになります。
幅は、90mm（横置き）、または55mm（縦置き）固定になります。

「幅や長さの違う原稿を同時に読み取ります」チェックボックス

チェックを付けると、幅や長さの違う原稿を同時にセットして読み取ることができます。

● [ファイルサイズ] タブ

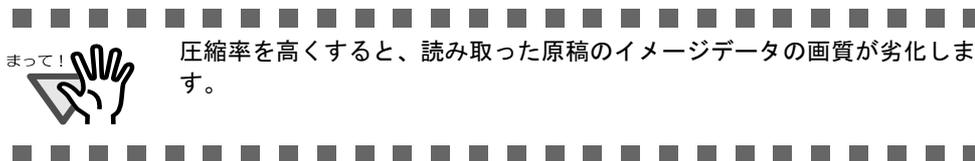


「圧縮率」スライダー

圧縮率を操作して、読み取った原稿のイメージデータのファイルサイズを指定します。

圧縮率は、スライダーを動かして操作します。

圧縮率の数字が大きいほど圧縮率が高くなり、ファイルサイズが小さくなります。





＜読み取った原稿のイメージデータのサイズ＞

カラー原稿 1 枚を片面で、以下のように読み取ったときのイメージデータのサイズの目安を示します。

- ファイル形式 : PDF
- 原稿サイズ : A4 (一般カタログ)
- 測定に使用した原稿 :



カラーモード : カラー

画質 \ 圧縮率	1	2	3	4	5
ノーマル (高速に読み取ります)	547	268	233	187	145
ファイン (綺麗に読み取ります)	841	396	344	275	217
スーパーファイン (より綺麗に読み取ります)	1712	755	647	509	396
エクセレント (更に綺麗に読み取ります)	5767	2269	1891	1436	1083

(単位 K バイト)

カラーモード : 白黒

画質 \ 圧縮率	—
ノーマル (高速に読み取ります)	122
ファイン (綺麗に読み取ります)	185
スーパーファイン (より綺麗に読み取ります)	348
エクセレント (更に綺麗に読み取ります)	916

(単位 K バイト)

4.3 読み取り設定を保存するには

読み取り設定モードは、最大 12 種類、「読み取り設定」として、名前を付けて保存しておくことができます。

保存しておいた「読み取り設定」は、「ScanSnap Manager」のアイコン  をクリッ

クするだけで、簡単に呼び出し、使用することができます。



「読み取り設定の選択」画面

よく使う読み取り条件をあらかじめ何種類か「読み取り設定」として登録しておけば、読み取るたびに設定画面を開いて、設定を変更する必要がなく、簡単な操作で目的にあった条件に切り替えて読み取ることができます。



ヒント

- ここで説明する内容は、スキャンボタンの設定が、「読み取り設定モード」の場合のみ有効となります。
- クイックメニューモード使用時の読み取り設定は、1つしか保存できません。読み取り設定を変更したい場合は、ScanSnap Manager のメニューの [設定] を選択し、「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面で変更してください。

以下に、操作方法を説明します。

■ 読み取り設定を登録します



1. 「ScanSnap Manager」のアイコン  をしばらく押し、表示されたメニューで、**[クイックメニューを使用]** のチェックがはずれていることを確認します。



⇒ チェックをはずすと、ScanSnap Manager のメニューが閉じます。

 ヒント

[クイックメニューを使用] にチェックが付いていると、[スキャン] ボタンの設定が「クイックメニューモード」になります。クイックメニューモードでは、本機能を使用することができません。

2. 「ScanSnap Manager」のアイコン  をしばらく押し、表示されたメニューから **[設定]** を選択します。



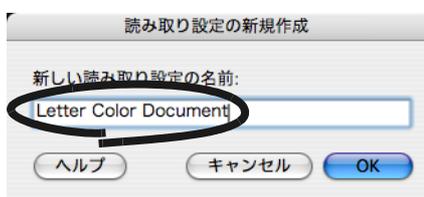
⇒ 「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

3. 「読み取り設定の選択」ポップアップメニューで、「新しい読み取り設定」を選択します。

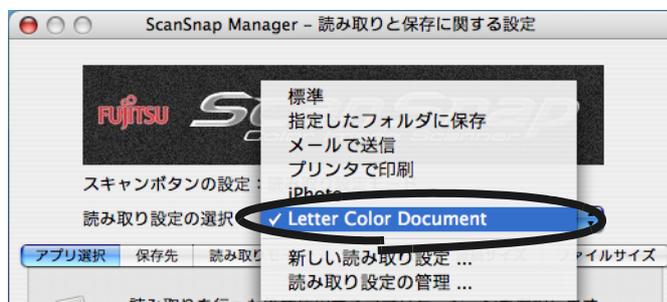


⇒「読み取り設定の新規作成」画面が表示されます。

4. 読み取り設定の名前を入力して、[OK] ボタンをクリックします。



⇒「読み取り設定の選択」ポップアップメニューに、新しい読み取り設定として表示されます。



5. 「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面で、読み取り設定を変更します。



6. [適用] ボタンをクリックします。

⇒ 以上で、読み取り設定の登録は完了です。



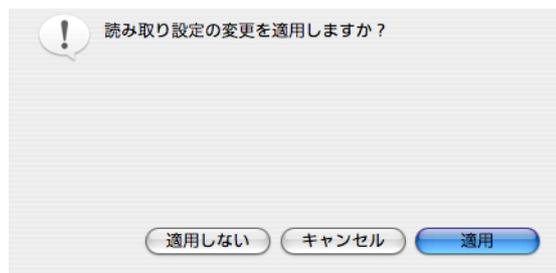
ヒント

- 読み取り設定は、「標準」を含め最大 12 個まで登録できます。
(ただし、「標準」は削除できません。)
- 読み取り設定の表示順番を変更することができます。
(ただし、「標準」の表示順番は変更できません。)

1. 「ScanSnap Manager」のアイコン  をしばらく押し、表示されたメニューから [読み取り設定の管理] を選択し、「読み取り設定の管理」画面を表示します。
2. 移動させたい読み取り設定を、一覧から選択します。
3. [上へ] [下へ] ボタンをクリックして、読み取り設定を移動します。



4. 画面左上の [] ボタンをクリックします。
⇒確認画面が表示されます。[適用] ボタンをクリックすると設定した内容が反映されます。

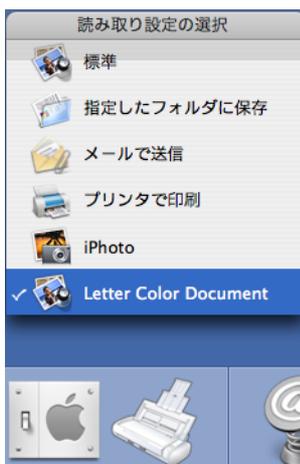


⇒「読み取り設定の管理」画面が閉じます。

■ 登録した読み取り設定を使って読み取ります



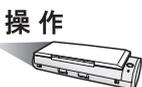
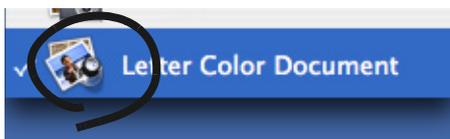
1. ScanSnap Manager のメニューから [読み取り設定の選択] を選択するか、「ScanSnap Manager」のアイコン  をクリックします。



⇒ 「読み取り設定の選択」画面が表示されます。
(設定名の左側に、読み取り後に起動するアプリケーションのアイコンが表示されます。)

2. 読み取りに使用する「読み取り設定」を選択します。

⇒ 選択した「読み取り設定」にチェックマークが付きます。



3. 原稿を ScanSnap にセットします。

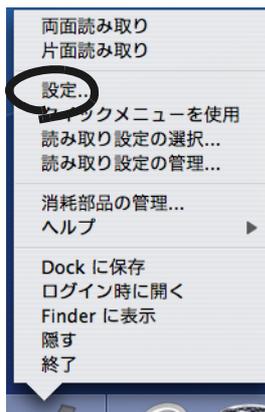
4. [スキャン] ボタン  を押します。

⇒ 選択した読み取り設定で読み取りが行われます。

■ 登録した読み取り設定を変更します

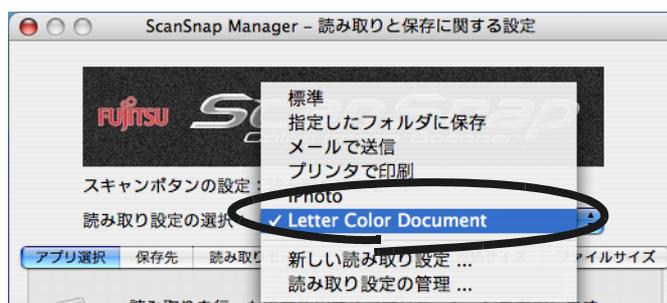


1. 「ScanSnap Manager」のアイコン  をしばらく押し、表示されたメニューから [設定] を選択します。



⇒ 「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

2. 「読み取り設定の選択」ポップアップメニューで、変更する「読み取り設定」を選択します。



3. 設定内容を変更します。



読み取り設定の詳細については、「[4.2 読み取り設定を変更するには](#)」(51 ページ) を参照してください。

4. 設定が終わったら、[適用] ボタンをクリックします。



■ 読み取り設定の名前を変更します



1. 「ScanSnap Manager」のアイコン  をしばらく押し、表示されたメニューから [設定] を選択します。



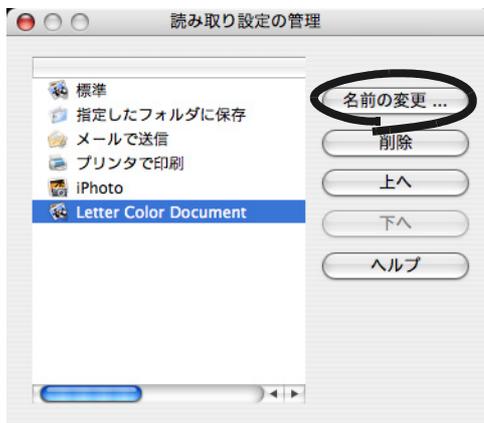
⇒ 「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

2. 「読み取り設定の選択」ポップアップメニューで、「読み取り設定の管理」を選択します。



⇒ 「読み取り設定の管理」画面が表示されます。

3. 名前を変更する設定名を選択して、[名前の変更] ボタンをクリックします。



「読み取り設定の管理」画面は、「ScanSnap Manager」のアイコン  をしば

らく押し、表示されたメニューから「読み取り設定の管理」を選択して表示することもできます。

一覧から変更したい名前を選択して、[操作 3.](#)～[操作 5.](#) を実行してください。



4. 「名前の変更」画面で新しい名前を入力します。



5. [OK] ボタンをクリックします。

⇒ 名前が変更されます。



6. 画面左上の [🔴] ボタンをクリックします。

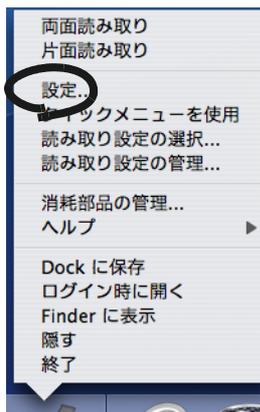
⇒ 「読み取り設定の管理」画面が閉じます。

7. 「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面の [適用] ボタンをクリックします。

■ 読み取り設定を削除します



1. 「ScanSnap Manager」のアイコン  をしばらく押し、表示されたメニューから [設定] を選択します。



⇒ 「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

2. 「読み取り設定の選択」ポップアップメニューで、「読み取り設定の管理」を選択します。



⇒ 「読み取り設定の管理」画面が表示されます。

3. 一覧から、削除したい設定名を選択し、[削除] ボタンをクリックします。



ヒント

「読み取り設定の管理」画面は、「ScanSnap Manager」のアイコン  をしば

らく押し、表示されたメニューから「読み取り設定の管理」を選択して表示することもできます。

一覧から削除したい名前を選択して、「削除」ボタンをクリックしてください。



4. 画面左上の [🔴] ボタンをクリックします。

⇒「読み取り設定の管理」画面が閉じます。

5. 「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面の [適用] ボタンをクリックします。

4.4 ScanSnap クイックメニューの使い方

クイックメニューモード設定時に、[スキャン] ボタンで読み取ると、原稿を読み取ったあとに ScanSnap クイックメニューが表示されます。



この画面では、以下の設定を行います。

項目一覧

読み取った原稿に対して何をしたいかを選択します。
 マウスのポインタを項目の上に合わせると選択され、項目をクリックすると、実行されます。
 最大で、以下の 4 項目が表示されます。

項目名	動作
指定したフォルダに保存	読み取った原稿から PDF ファイルを作成し、指定したフォルダ（共有フォルダ）に保存します。 ⇒ 「5.2 指定したフォルダに保存する」 (91 ページ)
メールで送信	読み取った原稿から PDF ファイルを作成し、メールに添付した状態でメールソフトを起動します。 ⇒ 「5.3 メールに添付して送信する」 (108 ページ)
プリンタで印刷	読み取った原稿を、プリンタで印刷します。 ⇒ 「5.4 ScanSnap をコピー機代わりに利用する」 (123 ページ)
iPhoto	読み取った原稿から PDF ファイルを作成し、iPhoto で表示します。 ⇒ 「5.5 iPhoto へ送信する」 (134 ページ)



iPhoto は、iPhoto5 以降 (Mac OS X v10.3.4 以降で動作可能) がインストールされている場合に表示されます。

選択した項目の動作説明

項目一覧で指定した動作に関する説明がイラスト入りで表示されます。

【設定】 ボタン

動作に関して設定項目がある場合、が表示されます。

マウスのポインタを  の上に移動すると、【設定】 ボタンが表示されます。



【設定】 ボタンは、項目一覧の以下の項目で表示されます。

- メールで送信 (→ 108 ページ)
- プリンタで印刷 (→ 123 ページ)

「次回からこのメニューを使用しない」チェックボックス

次回読み取り時から、ScanSnap クイックメニューを使用しません。

【スキャン】 ボタンの操作モードが、「クイックメニューモード」から「読み取り設定モード」に切り替わります。

再度、「クイックメニューモード」に戻りたい場合は、ScanSnap Manager のメニューで、【クイックメニューを使用】 にチェックを付けてください。

画面左上の ボタン

処理を中止します。

このボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。



【はい】 ボタン : 読み取ったイメージを削除して、処理を中止します。

【いいえ】 ボタン : 読み取ったイメージを保存して、処理を中止します。
読み取ったイメージは、PDF ファイルとして、「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面で指定したフォルダに保存されます。

【キャンセル】 ボタン : ScanSnap クイックメニューに戻ります。

[?] ボタン

ScanSnap クイックメニューに関するヘルプを表示します。



- ScanSnap クイックメニューの表示中は、ScanSnap で読み取りを実行することができません。ScanSnap クイックメニューを閉じるか、ScanSnap クイックメニューのどれか項目を選択して処理を完了してから、次の読み取りを行ってください。
- ScanSnap クイックメニューの表示中は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。

第5章



オフィス機能

この章では、オフィス機能について説明しています。

5.1	オフィス機能とは	90
5.2	指定したフォルダに保存する	91
5.3	メールに添付して送信する	108
5.4	ScanSnap をコピー機代わりに利用する	123
5.5	iPhoto へ送信する	134

5.1 オフィス機能とは

ScanSnap では、日常のオフィス業務で役立つように、オフィスで日常よく使う機能を「オフィス機能」として準備しました。

オフィス機能は、以下のような要望を実現します。

- ScanSnap で読み取った資料をみんなで共有化したい。
⇒ [スキャン] ボタンを押すだけで、読み取ったデータを、ネットワーク上の共有フォルダに直接保存できます。また、保存先情報は、メールに自動的に記載させることができるので、簡単にお知らせできます。
- もうすぐ打ち合わせがあるので、手元にある紙の資料をメールで関係者に送りたい。
⇒ [スキャン] ボタンを押すだけで、メールに添付して素早く送付できます。
- 資料をコピーしたいが、コピー機の所まで行くのが面倒だ。
⇒ [スキャン] ボタンを押すだけで、プリンタを使って印刷できます。

以下に、具体的な使用方法について説明します。

5.2 指定したフォルダに保存する

ScanSnap で読み取った原稿のイメージデータを、任意の共有フォルダに保存する方法について説明します。この機能を使えば、ネットワーク上の共有フォルダに ScanSnap で読み取ったファイルを保存して、情報共有を図れます。

ScanSnap で原稿を読み取ると、ファイルが作成され、指定したフォルダに保存されます。さらに、保存先を関係者にお知らせするために、メールソフトを起動しメール本文に保存先情報を表示する機能もあります。

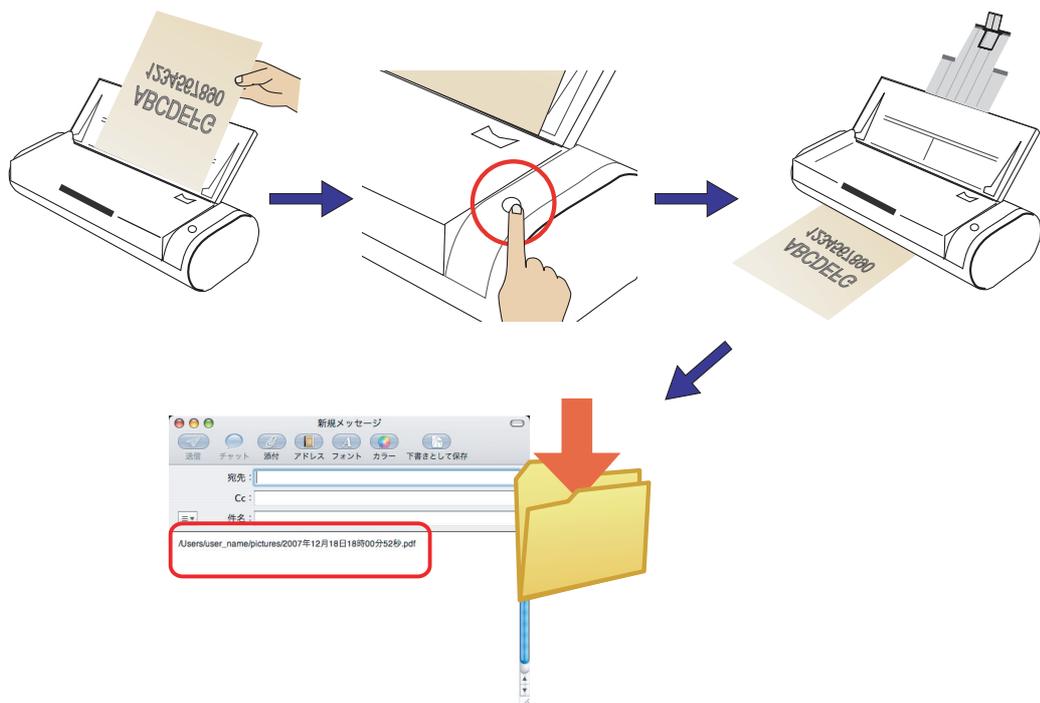


起動されるメールソフトは、以下で設定されているアプリケーションが使用されます。

- Mac OS X v10.3 以降の場合
[Mail] メニュー → [環境設定] を選択して表示される「一般」画面の「デフォルトメールソフト」で設定されているアプリケーション。
- Mac OS X v10.2 の場合
[Mail] メニュー → [システム環境設定] → [インターネット] を選択して表示される「インターネット」画面の [メール] → 「デフォルトメールソフト」で設定されているアプリケーション。

ただし、サポートしているメールソフトは、以下のいずれかです。

- Mail
- Microsoft® Entourage® 2004 for Mac
- Microsoft® Entourage® 2008 for Mac



■ クイックメニューモードの場合

操作



1. ScanSnap に原稿をセットします。



「3.2 読み取りできる原稿」(42 ページ) および「3.3 原稿のセット方法」(44 ページ) を参照してください。

2. [スキャン] ボタン を押します。

⇒ 原稿の読み取りが開始されます。

⇒ 読み取りが完了すると、「ScanSnap クイックメニュー」が表示されます。



選択した項目の動作説明



- ScanSnap クイックメニューを表示してからプレビュー画面を閉じるまでの間は、ScanSnap で読み取りを実行することができません。処理を完了してから、次の読み取りを行ってください。
- ScanSnap クイックメニューを表示してからプレビュー画面を閉じるまでの間は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。



3. 「指定したフォルダに保存」の上にマウスのポインタを移動します。

⇒「指定したフォルダに保存」の動作説明が表示されます。

4. 「指定したフォルダに保存」をクリックします。

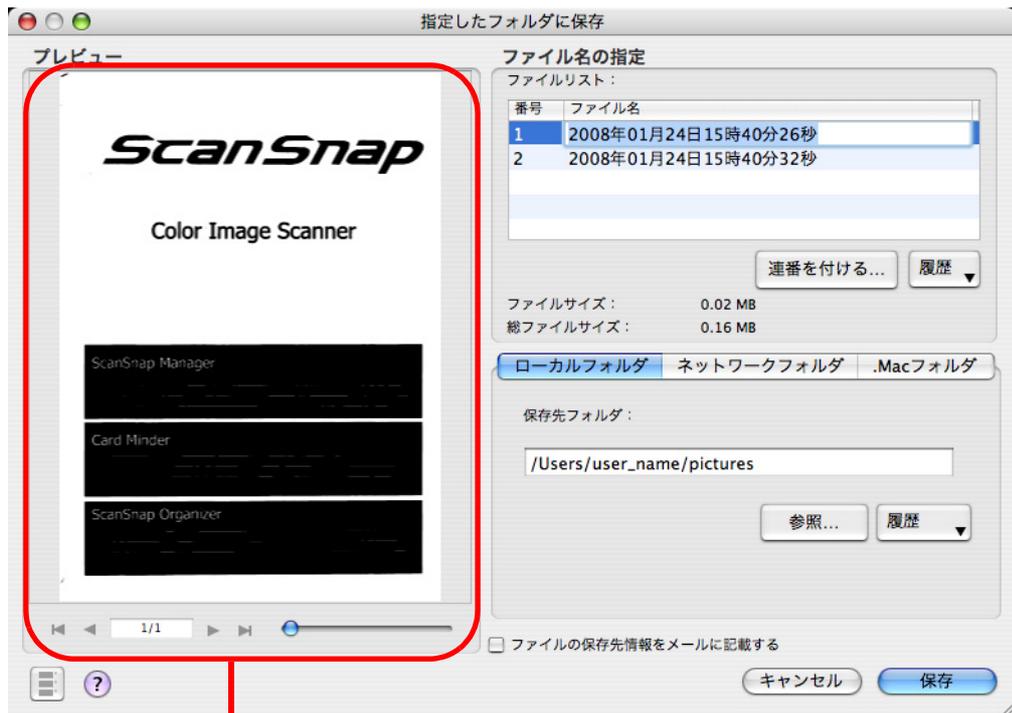


⇒プレビュー画面が表示されます。

5. プレビュー画面で、読み取り結果を確認します。

ファイル名や保存先フォルダを変更したり、メールで保存先の情報をお知らせするように設定することができます。

画面の右下部分をマウスでドラッグすると、画面のサイズが拡大／縮小します。画面のサイズに合わせて、画像表示域のサイズも拡大／縮小されます。



画像表示域

画像表示域

現在選択されているファイルの画像が表示されます。
以下のボタンで操作します。

-  : 先頭の画像に移動します。
-  : 前の画像に移動します。
-  : 次の画像に移動します。
-  : 最終の画像に移動します。
- : 「表示中の画像／総画像数」が表示されます。
-  : ボタンをスライドさせて、画像を拡大または縮小します。



矢印ボタンの動作は、ファイル形式によって異なります。

- PDF ファイルの場合 : ページ移動
- JPEG ファイルの場合 : ファイル移動

ファイル名の指定

ファイル名、ファイルサイズ、総ファイルサイズが表示されます。
ファイル名を変更したり、表示するファイルを切り替えることができます。

ファイルリスト

ファイル名が表示されます。

番号	ファイル名
1	2008年01月24日15時40分26秒
2	2008年01月24日15時40分32秒

ファイル名を変更する場合、ファイル名をダブルクリックして直接入力します。ファイル名は、100文字以内で指定できます。

ファイルサイズ

現在選択されているファイルのサイズが M バイト単位で表示されます。

総ファイルサイズ

複数のファイルがある場合は、その合計サイズが M バイト単位で表示されます。

【連番を付ける】ボタン

一度の読み取りで、複数のファイル（連携されたファイル）が作成される場合は、ファイル名の最後に「_」+「連番」を追加できます。
ボタンをクリックすると、連番の付け方を設定する「指定したフォルダに保存 - 連番を付ける」画面が表示されます。
【連番を付ける】ボタンは、複数のファイルが作成される場合のみ表示されます。



「指定したフォルダに保存 - 連番を付ける」画面の構成は、以下のとおりです。

ファイル名

プレビュー画面（指定したフォルダに保存）で指定したファイル名が表示されます。

「連番」ポップアップメニュー

連番の桁数を 1～6 桁の範囲で指定します。「連番」ポップアップメニューで指定する桁数は、ファイル名と合わせて 100 文字以内で指定できます。

例

設定内容に従ってファイル名が付けられた場合の例が表示されます。ファイル名は「ファイル名_連番」の形式で表示されます。

[OK] ボタン

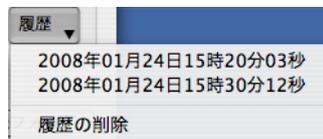
指定した設定内容で連番が付けられます。

[キャンセル] ボタン

この画面で設定した内容がキャンセルされて、プレビュー画面に戻ります。

[履歴] ポップアップメニュー

過去に指定したファイル名の履歴が表示されます。
(ファイル名は、新しい順に最大 10 件表示されます。10 件を超えた場合は、新しい履歴が追加されるたびに、古いものから順に消去されていきます。)
履歴には、「ファイル名」または「指定したフォルダに保存 - 連番を付ける」画面で変更したファイル名が追加されます。



履歴からファイル名を選択すると、「ファイル名」のファイル名を変更することができます。
履歴の一番下にある「履歴の削除」を選択すると、履歴がすべて削除されます。

[ローカルフォルダ] タブ

ファイルの保存先が表示されます。ここで、保存先が変更できます。



保存先フォルダ

現在指定されているフォルダのパス名が表示されます。初期設定では、前回保存したフォルダが表示されます。
ここで、保存先を変更することもできます。保存先を変更するには、フルパスを直接入力するか、[参照] ボタンをクリックして保存先を指定する画面で選択します。選択したフォルダのパスは「保存先フォルダ」に表示されます。
保存先のフォルダ名は、150 文字以内で指定できます。フルパスで指定する場合は、ファイル名を含めて 220 文字以内で指定してください。オペレーティングシステムでファイル名に指定できない文字は指定できません。

【参照】 ボタン

保存先を指定する画面が表示されます。ファイルの保存先を指定します。

【履歴】 ポップアップメニュー

過去に指定したフォルダ名の履歴が表示されます。
(フォルダ名は、新しい順に最大 10 件表示されます。10 件を超えた場合は、新しい履歴が追加されるたびに、古いものから順に消去されていきます。)

履歴には、「保存先フォルダ」または [参照] ボタンをクリックして表示される画面で指定したフォルダが追加されます。

履歴からフォルダ名を選択すると、「保存先フォルダ」に表示され、保存先フォルダを変更することができます。

履歴の一番下にある「履歴の削除」を選択すると、履歴がすべて削除されます。

【ネットワークフォルダ】 タブ

ネットワーク上のファイルの保存先が表示されます。ここで、保存先を変更できます。



サーバーアドレス

ファイルの保存先とするサーバーのアドレスを指定します。指定できるサーバーは、以下のとおりです。

afp:// (サーバー名) : Mac サーバーの場合

smb:// (サーバー名) : Windows サーバーの場合

【接続】 ボタン

「サーバーアドレス」で指定したサーバーに接続します。

【履歴】 ポップアップメニュー

過去に接続したサーバーの履歴が表示されます。

保存先フォルダ

現在指定されているフォルダのパス名が表示されます。初期設定では、前回保存したフォルダが表示されます。

ここで、保存先を変更することもできます。保存先を変更するには、フルパスを直接入力するか、[参照] ボタンをクリックして保存先を指定する画面で選択します。選択したフォルダのパスは「保存先フォルダ」に表示されます。

保存先のフォルダ名は、150文字以内で指定できます。フルパスで指定する場合は、ファイル名を含めて220文字以内で指定してください。オペレーティングシステムでファイル名に指定できない文字は指定できません。

【参照】 ボタン

保存先を指定する画面が表示されます。ファイルの保存先を指定します。

【履歴】 ポップアップメニュー

過去に指定したフォルダ名の履歴が表示されます。
(フォルダ名は、新しい順に最大10件表示されます。10件を超えた場合は、新しい履歴が追加されるたびに、古いものから順に消去されていきます。)

履歴には、「保存先フォルダ」または【参照】ボタンをクリックして表示される画面で指定したフォルダが追加されます。

履歴からフォルダ名を選択すると、「保存先フォルダ」に表示され、保存先フォルダを変更することができます。

履歴の一番下にある「履歴の削除」を選択すると、履歴がすべて削除されます。

【.Mac フォルダ】 タブ

.Mac 上のファイルの保存先が表示されます。ここで、保存先を変更できます。



.Mac ユーザー名

.Mac にログインするユーザー名を入力します。

パスワード

.Mac にログインするときのパスワードを入力します。

【ログイン】 ボタン

ボタンをクリックすると、指定したユーザー名とパスワードで .Mac にログインします。

保存先フォルダ

ファイルの保存先とする .Mac のフォルダを指定します。

【参照】 ボタン

保存先を指定する画面が表示されます。ファイルの保存先を指定します。

「パスワードキーチェーンに保存」チェックボックス

チェックを付けた場合、指定したユーザー名とパスワードが保存されます。

「ファイルの保存先情報をメールに記載する」チェックボックス

ファイルを保存したあとにメールソフトを起動し、保存先情報を記載したメールを表示します。

【保存】ボタン

この画面の設定で、ファイルを保存します。

【キャンセル】ボタン

この画面で設定した内容がキャンセルされて、ScanSnap クイックメニューに戻ります。

【サムネイル】ボタン

ボタンをクリックするたびに、サムネイルの表示／非表示が切り替わります。



ヒント

サムネイルの表示は、ファイル形式によって異なります。

PDF ファイルの場合 : ページ一覧

JPEG ファイルの場合 : ファイル一覧

【ヘルプ】ボタン

プレビュー画面に関するヘルプを表示します。

6. 【保存】ボタンをクリックします。

⇒ ファイルが、指定したフォルダに保存されます。

⇒ プレビュー画面で、「ファイルの保存先情報をメールに記載する」チェックボックスにチェックを付けた場合、メールソフトが起動し、ファイルの保存先情報がメール本文に記載されます。



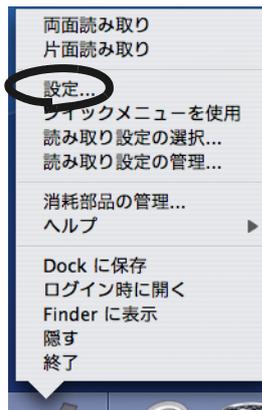
まって!

- プレビュー画面の表示中は、ScanSnap で読み取りを実行することができません。プレビュー画面を閉じてから、次の読み取りを行ってください。
- プレビュー画面の表示中は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。

■ 読み取り設定モードの場合



1. Dockメニューの「ScanSnap Manager」のアイコン  をしばらく押し、表示されたメニューから [設定] を選択します。



⇒「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

2. [アプリ選択] タブの「アプリケーションの選択」ポップアップメニューで「指定したフォルダに保存」を選択します。



3. [適用] ボタンをクリックします。

4. 画面左上の [] ボタンをクリックします。

⇒「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面が閉じます。



- 読み取り設定の選択後、すぐに読み取りを行う場合は、[スキャン] ボタンを押します。そのあと、「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面が閉じます。
- この状態で、読み取り設定を登録しておけば、次回から「読み取り設定の選択」画面で設定を切り替えることができます。読み取り設定の登録方法については、「4.3 読み取り設定を保存するには」(73 ページ)を参照してください。



- 「ScanSnap Manager」のアイコン  をクリックすると表示される

「読み取り設定の選択」画面で、「指定したフォルダに保存」の読み取り設定を選択することもできます。

操作



5. ScanSnap に原稿をセットします。



「3.2 読み取りできる原稿」(42 ページ) および「3.3 原稿のセット方法」(44 ページ)を参照してください。

6. [スキャン] ボタン を押します。

⇒ 原稿の読み取りが開始されます。

⇒ 読み取りが完了したら、プレビュー画面が表示されます。

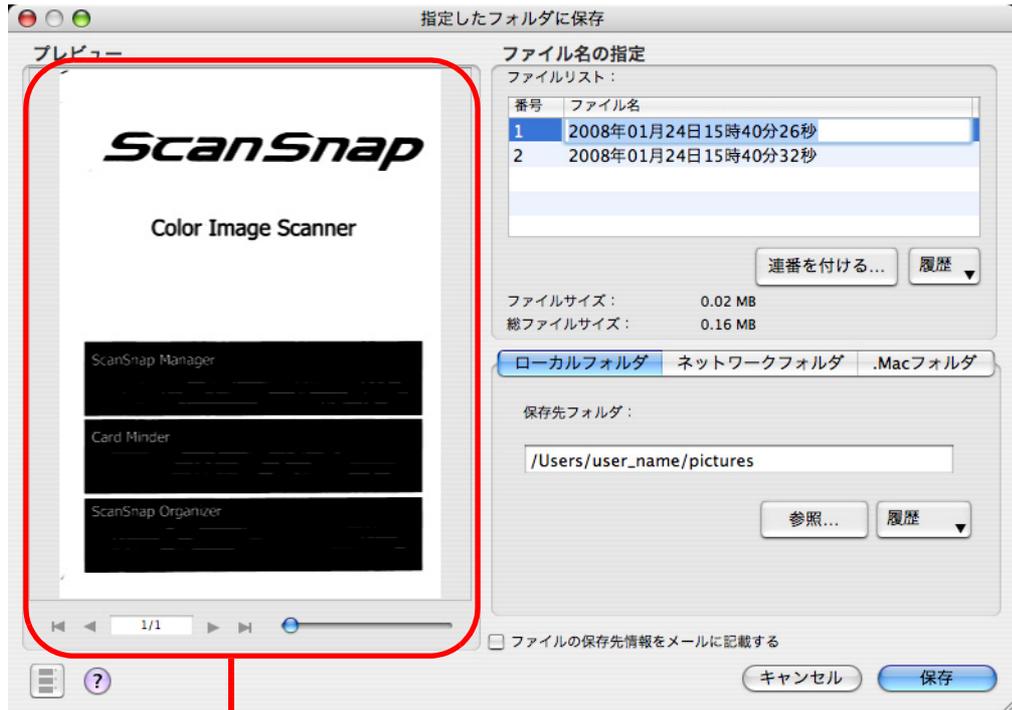
操作



7. プレビュー画面で、読み取り結果を確認します。

ファイル名や保存先フォルダを変更したり、メールで保存先の情報をお知らせするように設定することができます。

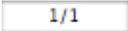
画面の右下部分をマウスでドラッグすると、画面のサイズが拡大／縮小します。画面のサイズに合わせて、画像表示域のサイズも拡大／縮小されます。



画像表示域

画像表示域

現在選択されているファイルの画像が表示されます。
以下のボタンで操作します。

-  : 先頭の画像に移動します。
-  : 前の画像に移動します。
-  : 次の画像に移動します。
-  : 最終の画像に移動します。
-  : 「表示中の画像／総画像数」が表示されます。
-  : ボタンをスライドさせて、画像を拡大または縮小します。



矢印ボタンの動作は、ファイル形式によって異なります。

- PDF ファイルの場合 : ページ移動
- JPEG ファイルの場合 : ファイル移動

ファイル名の指定

ファイル名、ファイルサイズ、総ファイルサイズが表示されます。
ファイル名を変更したり、表示するファイルを切り替えることができます。

ファイルリスト

ファイル名が表示されます。

番号	ファイル名
1	2008年01月24日15時40分26秒
2	2008年01月24日15時40分32秒

ファイル名を変更する場合、ファイル名をダブルクリックして直接入力します。ファイル名は、100文字以内で指定できます。

ファイルサイズ

現在選択されているファイルのサイズが M バイト単位で表示されます。

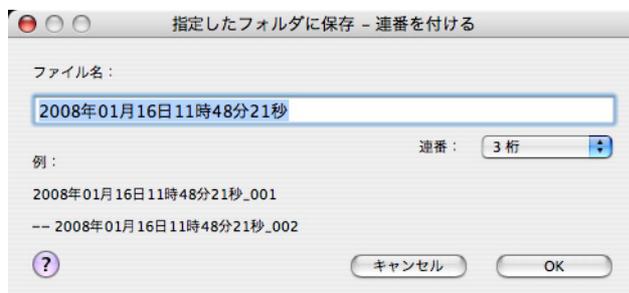
総ファイルサイズ

複数のファイルがある場合は、その合計サイズが M バイト単位で表示されます。

【連番を付ける】ボタン

一度の読み取りで、複数のファイル（連携されたファイル）が作成される場合は、ファイル名の最後に「_」+「連番」を追加できます。
ボタンをクリックすると、連番の付け方を設定する「指定したフォルダに保存 - 連番を付ける」画面が表示されます。

【連番を付ける】ボタンは、複数のファイルが作成される場合のみ表示されます。



「指定したフォルダに保存 - 連番を付ける」画面の構成は、以下のとおりです。

ファイル名

プレビュー画面（指定したフォルダに保存）で指定したファイル名が表示されます。

「連番」ポップアップメニュー

連番の桁数を 1～6 桁の範囲で指定します。「連番」ポップアップメニューで指定する桁数は、ファイル名と合わせて 100 文字以内で指定できます。

例

設定内容に従ってファイル名が付けられた場合の例が表示されます。ファイル名は「ファイル名_連番」の形式で表示されます。

[OK] ボタン

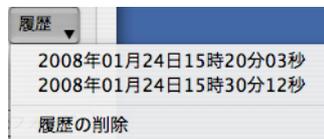
指定した設定内容で連番が付けられます。

[キャンセル] ボタン

この画面で設定した内容がキャンセルされて、プレビュー画面に戻ります。

[履歴] ポップアップメニュー

過去に指定したファイル名の履歴が表示されます。(ファイル名は、新しい順に最大 10 件表示されます。10 件を超えた場合は、新しい履歴が追加されるたびに、古いものから順に消去されていきます。) 履歴には、「ファイル名」または「指定したフォルダに保存 - 連番を付ける」画面で変更したファイル名が追加されます。



履歴からファイル名を選択すると、「ファイル名」のファイル名を変更することができます。履歴の一番下にある「履歴の削除」を選択すると、履歴がすべて削除されます。

[ローカルフォルダ] タブ

ファイルの保存先が表示されます。ここで、保存先が変更できます。



保存先フォルダ

現在指定されているフォルダのパス名が表示されます。初期設定では、前回保存したフォルダが表示されます。ここで、保存先を変更することもできます。保存先を変更するには、フルパスを直接入力するか、[参照] ボタンをクリックして保存先を指定する画面で選択します。選択したフォルダのパスは「保存先フォルダ」に表示されます。保存先のフォルダ名は、150 文字以内で指定できます。フルパスで指定する場合は、ファイル名を含めて 220 文字以内で指定してください。オペレーティングシステムでファイル名に指定できない文字は指定できません。

【参照】 ボタン

保存先を指定する画面が表示されます。ファイルの保存先を指定します。

【履歴】 ポップアップメニュー

過去に指定したフォルダ名の履歴が表示されます。
(フォルダ名は、新しい順に最大 10 件表示されます。10 件を超えた場合は、新しい履歴が追加されるたびに、古いものから順に消去されていきます。)

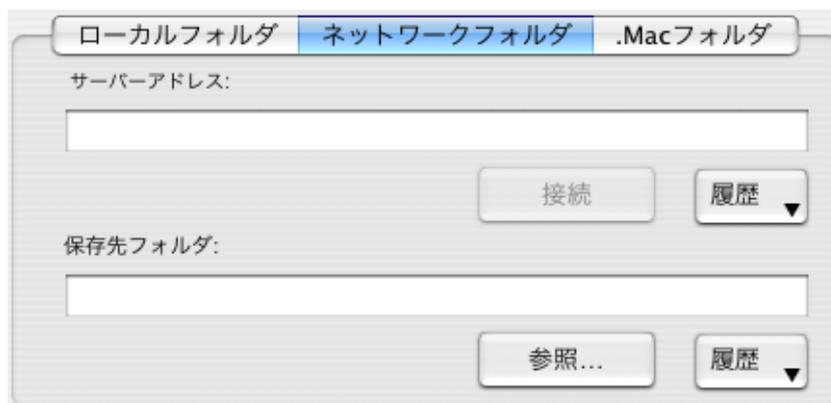
履歴には、「保存先フォルダ」または【参照】 ボタンをクリックして表示される画面で指定したフォルダが追加されます。

履歴からフォルダ名を選択すると、「保存先フォルダ」に表示され、保存先フォルダを変更することができます。

履歴の一番下にある「履歴の削除」を選択すると、履歴がすべて削除されます。

【ネットワークフォルダ】 タブ

ネットワーク上のファイルの保存先が表示されます。ここで、保存先を変更できます。



サーバーアドレス

ファイルの保存先とするサーバーのアドレスを指定します。指定できるサーバーは、以下のとおりです。

afp:// (サーバー名) : Mac サーバーの場合

smb:// (サーバー名) : Windows サーバーの場合

【接続】 ボタン

「サーバーアドレス」で指定したサーバーに接続します。

【履歴】 ポップアップメニュー

過去に接続したサーバーの履歴が表示されます。

保存先フォルダ

現在指定されているフォルダのパス名が表示されます。初期設定では、前回保存したフォルダが表示されます。

ここで、保存先を変更することもできます。保存先を変更するには、フルパスを直接入力するか、【参照】 ボタンをクリックして保存先を指定する画面で選択します。選択したフォルダのパスは「保存先フォルダ」に表示されます。

保存先のフォルダ名は、150文字以内で指定できます。フルパスで指定する場合は、ファイル名を含めて220文字以内で指定してください。オペレーティングシステムでファイル名に指定できない文字は指定できません。

【参照】 ボタン

保存先を指定する画面が表示されます。ファイルの保存先を指定します。

【履歴】 ポップアップメニュー

過去に指定したフォルダ名の履歴が表示されます。
(フォルダ名は、新しい順に最大10件表示されます。10件を超えた場合は、新しい履歴が追加されるたびに、古いものから順に消去されていきます。)

履歴には、「保存先フォルダ」または【参照】ボタンをクリックして表示される画面で指定したフォルダが追加されます。

履歴からフォルダ名を選択すると、「保存先フォルダ」に表示され、保存先フォルダを変更することができます。

履歴の一番下にある「履歴の削除」を選択すると、履歴がすべて削除されます。

【.Mac フォルダ】 タブ

.Mac 上のファイルの保存先が表示されます。ここで、保存先を変更できます。



.Mac ユーザー名

.Mac にログインするユーザー名を入力します。

パスワード

.Mac にログインするときのパスワードを入力します。

【ログイン】 ボタン

ボタンをクリックすると、指定したユーザー名とパスワードで .Mac にログインします。

保存先フォルダ

ファイルの保存先とする .Mac のフォルダを指定します。

【参照】 ボタン

保存先を指定する画面が表示されます。ファイルの保存先を指定します。

「パスワードキーチェーンに保存」チェックボックス

チェックを付けた場合、指定したユーザー名とパスワードが保存されます。

「ファイルの保存先情報をメールに記載する」チェックボックス

ファイルを保存したあとにメールソフトを起動し、保存先情報を記載したメールを表示します。

【保存】ボタン

この画面の設定で、ファイルを保存します。

【キャンセル】ボタン

この画面で設定した内容がキャンセルされて、読み取った原稿のイメージデータを削除するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

【】ボタン

ボタンをクリックするたびに、サムネイルの表示／非表示が切り替わります。



ヒント

サムネイルの表示は、ファイル形式によって異なります。

PDF ファイルの場合 : ページ一覧

JPEG ファイルの場合 : ファイル一覧

【】ボタン

プレビュー画面に関するヘルプを表示します。

8. 【保存】ボタンをクリックします。

⇒ファイルが、指定したフォルダに保存されます。

⇒プレビュー画面で、「ファイルの保存先情報をメールに記載する」チェックボックスにチェックを付けた場合、メールソフトが起動し、ファイルの保存先情報がメール本文に記載されます。



まっぴー!

- プレビュー画面の表示中は、ScanSnap で読み取りを実行することができません。プレビュー画面を閉じてから、次の読み取りを行ってください。
- プレビュー画面の表示中は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。



ヒント

「アプリケーションを起動しません（ファイル保存のみ）」を選択すると、読み取りが完了したあとで、読み取った原稿のイメージデータがファイルに保存されます。読み取り結果は、画面に表示されません。原稿を読み取るたびに読み取り結果を確認する必要がない場合は、この設定が適しています。

5.3 メールに添付して送信する

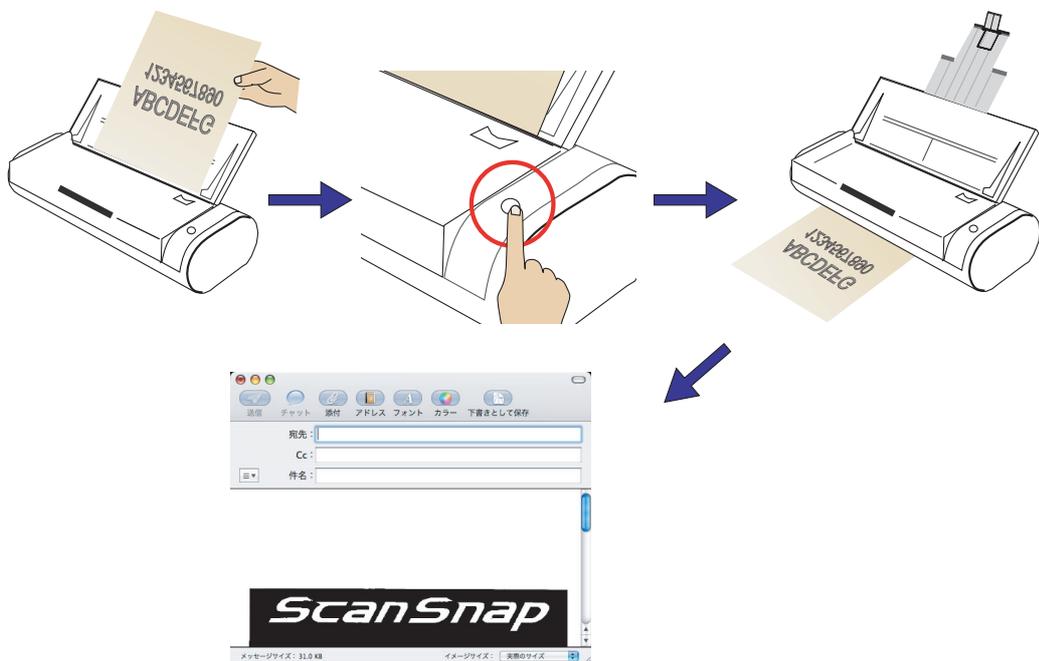
ScanSnap で読み取った原稿のイメージデータをメールに添付して送付する方法について説明します。

ScanSnap で原稿を読み取ると、ファイルが作成され、メールソフトが起動されて、メールに添付されます。



起動されるメールソフトは、以下で設定されているアプリケーションが使用されます。

- Mac OS X v10.3 以降の場合
[Mail] メニュー → [環境設定] を選択して表示される「一般」画面の「デフォルトメールソフト」で設定されているアプリケーション。
 - Mac OS X v10.2 の場合
[Mail] メニュー → [システム環境設定] → [インターネット] を選択して表示される「インターネット」画面の [メール] → 「デフォルトメールソフト」で設定されているアプリケーション。
- ただし、サポートしているメールソフトは、以下のいずれかです。
- Mail
 - Microsoft® Entourage® 2004 for Mac
 - Microsoft® Entourage® 2008 for Mac



■ クイックメニューモードの場合

操作



1. ScanSnap に原稿をセットします。



「3.2 読み取りできる原稿」(42 ページ) および「3.3 原稿のセット方法」(44 ページ) を参照してください。

2. [スキャン] ボタン を押します。

⇒ 原稿の読み取りが開始されます。

⇒ 読み取りが完了すると、「ScanSnap クイックメニュー」が表示されます。



- ScanSnap クイックメニューを表示してからプレビュー画面を閉じるまでの間は、ScanSnap で読み取りを実行することができません。処理を完了してから、次の読み取りを行ってください。
- ScanSnap クイックメニューを表示してからプレビュー画面を閉じるまでの間は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。



3. 「メールで送信」の上にマウスのポインタを移動します。

⇒「メールで送信」の動作説明が表示されます。

4. 「メールで送信」に関する設定を変更する場合は、マウスのポインタを▼の上に移し、表示される「設定」ボタン をクリックします。

(不要な場合は、[操作6.](#)に進んでください。)



⇒ 以下の設定画面が表示されます。



ここでは、「メールで送信」に関する以下の設定を変更することができます。

「プレビュー画面を表示する」チェックボックス

読み取ったあとに、プレビュー画面を表示します。
読み取り結果を確認した上で、メールに添付することができます。

「読み取ったデータをファイルで残す」チェックボックス

メールに添付した PDF ファイルを任意のフォルダに保存します。
「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面の「保存先」タブ
([60 ページ](#)) で指定したフォルダに保存されます。

「添付ファイルサイズ」ポップアップメニュー

読み取ったファイルがこのサイズを超えた場合に警告メッセージを表示します。
1M バイト～10M バイトまで指定できます。
※警告メッセージが出ても添付して送信は可能です。使用環境によりませんが、
添付ファイルのサイズは 2M バイトまでを推奨します。

5. [OK] ボタンをクリックして、「メールで送信 - 設定」画面を閉じます。



送信できる最大ファイルサイズについては、メールのサービスプロバイダにお問い合わせください。

6. 「メールで送信」をクリックします。



⇒ プレビュー画面が表示されます。
(表示させない設定にすることもできます。)

7. プレビュー画面で、読み取り結果を確認します。

ファイル名を変更したり、メール送信後にファイルを残しておくかどうかを指定することもできます。

画面の右下部分をマウスでドラッグすると、画面のサイズが拡大／縮小します。画面のサイズに合わせて、画像表示域のサイズも拡大／縮小されます。



画像表示域

画像表示域

現在選択されているファイルの画像が表示されます。
以下のボタンで操作します。



: 先頭の画像に移動します。



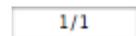
: 前の画像に移動します。



: 次の画像に移動します。



: 最終の画像に移動します。



: 「表示中の画像／総画像数」が表示されます。



: ボタンをスライドさせて、画像を拡大または縮小します。



ヒント

矢印ボタンの動作は、ファイル形式によって異なります。

PDF ファイルの場合 : ページ移動

JPEG ファイルの場合 : ファイル移動

ファイル名の指定

ファイル名、総ファイルサイズが表示されます。
ファイル名を変更したり、表示するファイルを切り替えることができます。

ファイルリスト

ファイル名が表示されます。

番号	ファイル名
1	2008年01月24日15時40分26秒
2	2008年01月24日15時40分32秒

ファイル名を変更する場合、ファイル名をダブルクリックして直接入力します。ファイル名は、100文字以内で指定できます。

総ファイルサイズ

ファイルのサイズが M バイト単位で表示されます。複数のファイルがある場合は、その合計サイズが M バイト単位で表示されます。
(ご使用のメールソフトによっては、ここに表示されるファイルサイズと、このあとにメールソフト上で表示される添付ファイルのサイズが異なる場合がありますが、計算方法の違いによるもので、実際のファイルが異なるわけではありません。)

【連番を付ける】ボタン

一度の読み取りで、複数のファイル（連携されたファイル）が作成される場合は、ファイル名の最後に「_」+「連番」を追加できます。
ボタンをクリックすると、「メールで送信 - 連番を付ける」画面が表示されます。
【連番を付ける】ボタンは、複数のファイルを読み取った場合のみ有効です。



「メールで送信 - 連番を付ける」画面の構成は、以下のとおりです。

ファイル名

プレビュー画面（メールで送信）で指定したファイル名が表示されます。

「連番」ポップアップメニュー

連番の桁数を1～6桁の範囲で指定します。「連番」ポップアップメニューで指定する桁数は、ファイル名と合わせて100文字以内で指定できます。

例

設定内容に従ってファイル名が付けられた場合の例が表示されます。ファイル名は「ファイル名_連番」の形式で表示されます。

[OK] ボタン

指定した設定内容で連番が付けられます。

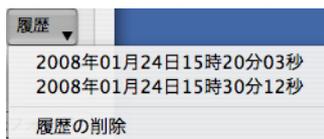
[キャンセル] ボタン

この画面で設定した内容がキャンセルされて、プレビュー画面に戻ります。

【履歴】ポップアップメニュー

過去に指定したファイル名の履歴が表示されます。(ファイル名は、新しい順に最大10件表示されます。10件を超えた場合は、新しい履歴が追加されるたびに、古いものから順に消去されます。)

履歴には、「ファイル名」または「メールで送信 - 連番を付ける」画面で変更したファイル名が追加されます。



履歴からファイル名を選択すると、「ファイル名」のファイル名を変更することができます。

履歴の一番下にある「履歴の削除」を選択すると、履歴がすべて削除されます。

「読み取ったデータをファイルに残す」チェックボックス

チェックを付けると、メール送信後、読み取った原稿のイメージデータは「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面の「保存先」タブ(60ページ)で指定したフォルダに保存されます。

チェックをはずすと、メール送信後、読み取った原稿のイメージデータは削除されます。

「次回からこの画面を表示しない」チェックボックス

次回から、プレビュー画面を表示しません。操作7.が省略されます。

[メールに添付] ボタン

メールソフトを起動して、読み取った原稿のイメージデータをメールに添付します。

[キャンセル] ボタン

この画面で設定した内容がキャンセルされて、ScanSnap クイックメニューに戻ります。

[] ボタン

ボタンをクリックするたびに、サムネイルの表示/非表示が切り替わります。



サムネイルの表示は、ファイル形式によって異なります。
PDF ファイルの場合 : ページ一覧
JPEG ファイルの場合 : ファイル一覧

[?] ボタン

プレビュー画面に関するヘルプを表示します。

8. [メールに添付] ボタンをクリックします。

⇒ メールソフトが起動し、メールにファイルが添付されます。

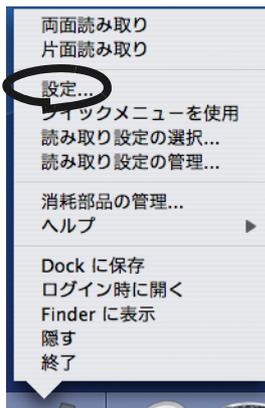


- プレビュー画面の表示中は、ScanSnap で読み取りを実行することができません。プレビュー画面を閉じてから、次の読み取りを行ってください。
- プレビュー画面の表示中は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。

■ 読み取り設定モードの場合



1. Dockメニューの「ScanSnap Manager」のアイコン  をしばらく押し、表示されたメニューから [設定] を選択します。



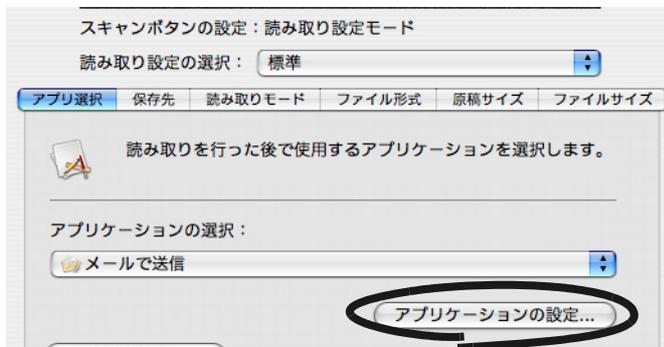
⇒「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

2. [アプリ選択] タブの「アプリケーションの選択」ポップアップメニューで「メールで送信」を選択します。



3. 「メールで送信」に関する設定を変更する場合は、[アプリケーションの設定] ボタンをクリックして変更します。

(不要な場合は、[操作 5](#)に進んでください。)



⇒ 以下の設定画面が表示されます。



ここでは、「メールで送信」に関する以下の設定を変更することができます。

「プレビュー画面を表示する」チェックボックス

読み取ったあとに、プレビュー画面を表示します。
読み取り結果を確認した上で、メールに添付することができます。

「読み取ったデータをファイルで残す」チェックボックス

メールに添付した PDF ファイルを任意のフォルダに保存します。
「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面の [保存先] タブ
([60 ページ](#)) で指定したフォルダに保存されます。

「添付ファイルサイズ」ポップアップメニュー

読み取ったファイルがこのサイズを超えた場合に警告メッセージを表示します。
1M バイト～ 10M バイトまで指定できます。
※警告メッセージが出ても添付して送信は可能です。使用環境によりませんが、
添付ファイルのサイズは 2M バイトまでを推奨します。

4. [OK] ボタンをクリックします。

⇒「メールで送信 - 設定」画面が閉じます。

5. [適用] ボタンをクリックします。

6. 画面左上の ボタンをクリックします。

⇒「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面が閉じます。



ヒント

- 読み取り設定の選択後、すぐに読み取りを行う場合は、[スキャン] ボタンを押します。そのあと、「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面が閉じます。
- この状態で、読み取り設定を登録しておけば、次回から「読み取り設定の選択」画面で設定を切り替えることができます。読み取り設定の登録方法については、「[4.3 読み取り設定を保存するには](#)」(73 ページ)を参照してください。
- 「ScanSnap Manager」のアイコン  をクリックすると表示される「読み取り設定の選択」画面で、「メールで送信」の読み取り設定を選択することもできます。

操作



7. ScanSnap に原稿をセットします。



「[3.2 読み取りできる原稿](#)」(42 ページ) および「[3.3 原稿のセット方法](#)」(44 ページ)を参照してください。

8. [スキャン] ボタン を押します。

⇒ 原稿の読み取りが開始されます。

⇒ 読み取りが完了したら、プレビュー画面が表示されます。

(表示させない設定にすることもできます。)

9. プレビュー画面で、読み取り結果を確認します。

ファイル名を変更したり、メール送信後にファイルを残しておくかどうかを指定することもできます。

画面の右下部分をマウスでドラッグすると、画面のサイズが拡大／縮小します。画面のサイズに合わせて、画像表示域のサイズも拡大／縮小されます。



画像表示域

画像表示域

現在選択されているファイルの画像が表示されます。以下のボタンで操作します。

-  : 先頭の画像に移動します。
-  : 前の画像に移動します。
-  : 次の画像に移動します。
-  : 最終の画像に移動します。
- : 「表示中の画像／総画像数」が表示されます。
-  : ボタンをスライドさせて、画像を拡大または縮小します。



矢印ボタンの動作は、ファイル形式によって異なります。
 PDF ファイルの場合 : ページ移動
 JPEG ファイルの場合 : ファイル移動

ファイル名の指定

ファイル名、総ファイルサイズが表示されます。
ファイル名を変更したり、表示するファイルを切り替えることができます。

ファイルリスト

ファイル名が表示されます。

番号	ファイル名
1	2008年01月24日15時40分26秒
2	2008年01月24日15時40分32秒

ファイル名を変更する場合、ファイル名をダブルクリックして直接入力します。ファイル名は、100 文字以内で指定できます。

総ファイルサイズ

ファイルのサイズが M バイト単位で表示されます。複数のファイルがある場合は、その合計サイズが M バイト単位で表示されます。
(ご使用のメールソフトによっては、ここに表示されるファイルサイズと、このあとにメールソフト上で表示される添付ファイルのサイズが異なる場合がありますが、計算方法の違いによるもので、実際のファイルが異なるわけではありません。)

【連番を付ける】 ボタン

一度の読み取りで、複数のファイル（連携されたファイル）が作成される場合は、ファイル名の最後に「_」+「連番」を追加できます。
ボタンをクリックすると、「メールで送信 - 連番を付ける」画面が表示されます。
【連番を付ける】 ボタンは、複数のファイルを読み取った場合のみ有効です。



「メールで送信 - 連番を付ける」画面の構成は、以下のとおりです。

ファイル名

プレビュー画面（メールで送信）で指定したファイル名が表示されます。

「連番」ポップアップメニュー

連番の桁数を1～6桁の範囲で指定します。「連番」ポップアップメニューで指定する桁数は、ファイル名と合わせて100文字以内で指定できます。

例

設定内容に従ってファイル名が付けられた場合の例が表示されます。ファイル名は「ファイル名_連番」の形式で表示されます。

[OK] ボタン

指定した設定内容で連番が付けられます。

[キャンセル] ボタン

この画面で設定した内容がキャンセルされて、プレビュー画面に戻ります。

【履歴】ポップアップメニュー

過去に指定したファイル名の履歴が表示されます。(ファイル名は、新しい順に最大10件表示されます。10件を超えた場合は、新しい履歴が追加されるたびに、古いものから順に消去されます。)

履歴には、「ファイル名」または「メールで送信 - 連番を付ける」画面で変更したファイル名が追加されます。



履歴からファイル名を選択すると、「ファイル名」のファイル名を変更することができます。

履歴の一番下にある「履歴の削除」を選択すると、履歴がすべて削除されます。

「読み取ったデータをファイルに残す」チェックボックス

チェックを付けると、メール送信後、読み取った原稿のイメージデータは「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面の「保存先」タブ(60ページ)で指定したフォルダに保存されます。

チェックをはずすと、メール送信後、読み取った原稿のイメージデータは削除されます。

「次回からこの画面を表示しない」チェックボックス

次回から、プレビュー画面を表示しません。操作9.が省略されます。

[メールに添付] ボタン

メールソフトを起動して、読み取った原稿のイメージデータをメールに添付します。

[キャンセル] ボタン

この画面で設定した内容がキャンセルされて、読み取った原稿のイメージデータを削除するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

[] ボタン

ボタンをクリックするたびに、サムネイルの表示/非表示が切り替わります。



サムネイルの表示は、ファイル形式によって異なります。
PDF ファイルの場合 : ページ一覧
JPEG ファイルの場合 : ファイル一覧

[?] ボタン

プレビュー画面に関するヘルプを表示します。

10. [メールに添付] ボタンをクリックします。

⇒ メールソフトが起動し、メールにファイルが添付されます。

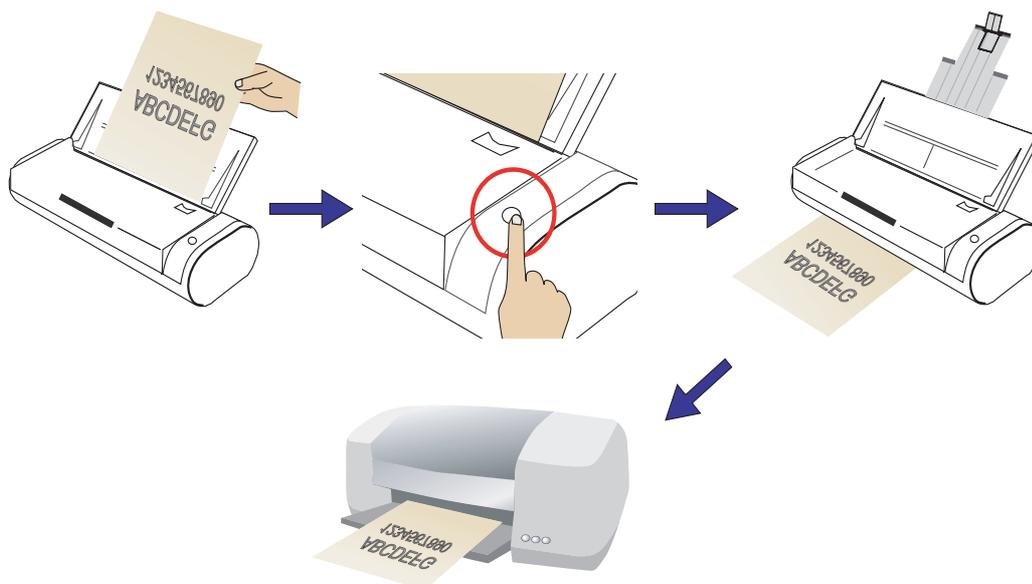


- プレビュー画面の表示中は、ScanSnap で読み取りを実行することができません。プレビュー画面を閉じてから、次の読み取りを行ってください。
- プレビュー画面の表示中は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。

5.4 ScanSnap をコピー機代わりに利用する

ScanSnap で読み取った原稿のイメージデータをプリンタを使って印刷する方法について説明します。

この機能を使えば、ScanSnap をコピー機代わりに使うことができます。



読み取り方法および原稿の状態によっては、印刷されるイメージに、原稿の端の影が線として表示される場合があります。

■ クイックメニューモードの場合

操作



1. ScanSnap に原稿をセットします。

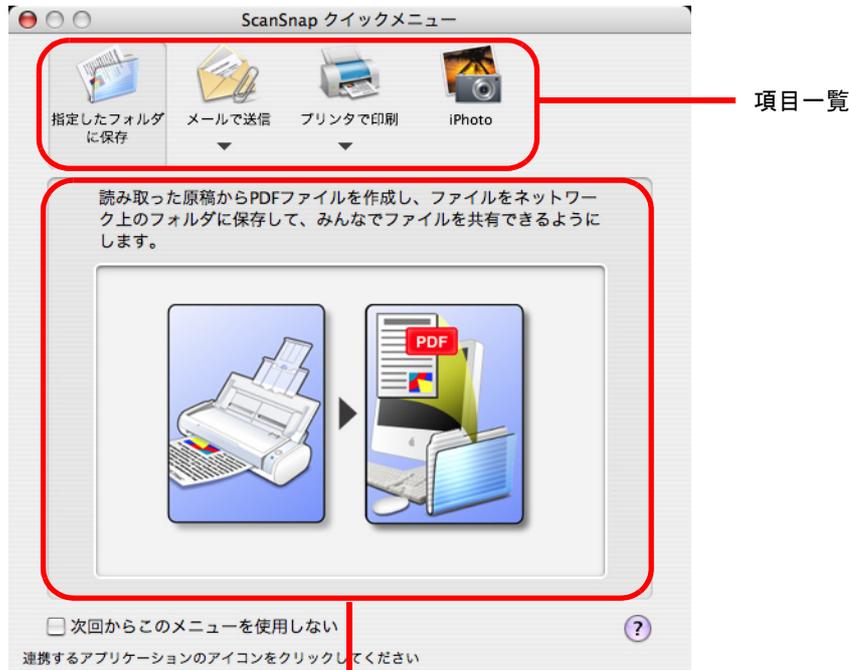


「3.2 読み取りできる原稿」(42 ページ) および「3.3 原稿のセット方法」(44 ページ) を参照してください。

2. [スキャン] ボタン を押します。

⇒ 原稿の読み取りが開始されます。

⇒ 読み取りが完了すると、「ScanSnap クイックメニュー」が表示されます。



選択した項目の動作説明



- ScanSnap クイックメニューを表示してから「プリンタで印刷」画面を閉じるまでの間は、ScanSnap で読み取りを実行することができません。処理を完了してから、次の読み取りを行ってください。
- ScanSnap クイックメニューを表示してから「プリンタで印刷」画面を閉じるまでの間は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。



3. 「プリンタで印刷」の上にマウスのポインタを移動します。

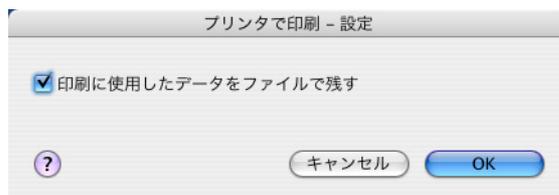
⇒「プリンタで印刷」の動作説明が表示されます。

4. 「プリンタで印刷」に関する設定を変更する場合は、マウスのポインタを▼の上に移動し、表示される「設定」ボタン をクリックします。

(不要な場合は、[操作 6.](#)に進んでください。)



⇒以下の設定画面が表示されます。



ここでは、「プリンタで印刷」に関する以下の設定を変更することができます。

「印刷に使用したデータをファイルで残す」チェックボックス

印刷したデータを PDF ファイルにして保存します。

「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面の「保存先」タブ ([60 ページ](#)) で指定したフォルダに保存されます。

5. [OK] ボタンをクリックして、「プリンタで印刷 - 設定」画面を閉じます。

6. 「プリンタで印刷」をクリックします。



⇒「プリンタで印刷」画面が表示されます。

7. 印刷設定を行います。



「プリンタ」ポップアップメニュー

現在設定されているプリンタの名称が表示されます。

プリンタを変更する場合は、使用するプリンタを一覧から選択します。

「プリセット」ポップアップメニュー

プリントするときのオプションセットを選択します。
プリントするとき使用するオプションの組み合わせがある場合は、その組み合わせを「プリセット」として保存できます。
プリントオプションは、「プリセット」ポップアップメニュー配下のポップアップメニューで、オプションのタイプを選択して指定することができます。

以降の項目は、「印刷部数と印刷ページ」を選択した場合に指定できます。

部数

印刷部数を指定します。1～99部まで指定可能です。

「丁合い」チェックボックス

原稿を丁合いして出力する場合にチェックを付けます。

「すべて」ラジオボタン、「開始」／「終了」ラジオボタン

すべてのページを印刷するか、印刷範囲を指定して印刷するかを指定します。

「出力用紙サイズに縮小する」チェックボックス

チェックを付けると、用紙よりも大きい画像は、画像全体が用紙に収まるように縮小して印刷されます。
チェックをはずすと、画像は縮小されずに等倍（実寸サイズ）で印刷されます。

「自動回転する」チェックボックス

チェックを付けると、イメージデータの縦横の比率と出力用紙の縦横の比率が同じになるように回転して印刷します。
チェックをはずすと、回転せずに印刷します。

「用紙中央に印刷する」チェックボックス

チェックを付けると、出力用紙の中央に印刷します。「出力用紙サイズに縮小する」チェックボックスのチェックをはずした場合、画像サイズが出力用紙よりも大きいときは、出力用紙の中心を基点として印刷され、はみ出した画像は印刷されません。
チェックをはずすと、用紙の左上に印刷します。

「印刷に使用したデータをファイルで残す」チェックボックス

チェックを付けると、印刷したデータをPDFファイルにして保存します。「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面の「保存先」タブ（60ページ）で指定したフォルダに保存されます。
チェックをはずすと、印刷に使用したデータを削除します。

[PDF] ポップアップメニュー

PDFの処理方法を指定します。

[プレビュー] ボタン

プレビューが表示されます。読み取った原稿のイメージデータの内容を確認して、印刷することができます。

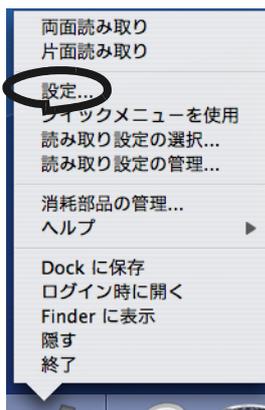
[キャンセル] ボタン

この画面で設定した内容がキャンセルされて、ScanSnap クイックメニューに戻ります。

■ 読み取り設定モードの場合



1. Dockメニューの「ScanSnap Manager」のアイコン  をしばらく押し、表示されたメニューから [設定] を選択します。



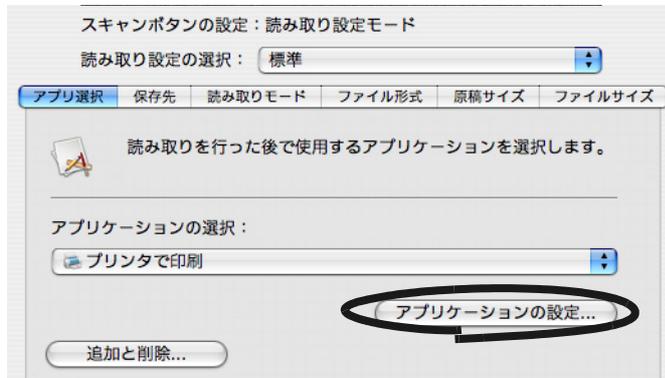
⇒「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

2. [アプリ選択] タブの「アプリケーションの選択」ポップアップメニューで「プリンタで印刷」を選択します。

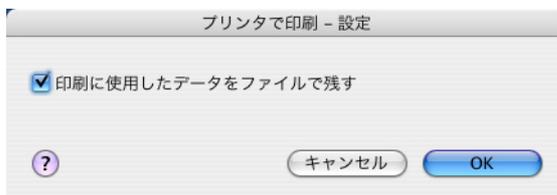


3. 「プリンタで印刷」に関する設定を変更する場合は、[アプリケーションの設定] ボタンをクリックして変更します。

(不要な場合は、[操作 5.](#)に進んでください。)



⇒ 以下の設定画面が表示されます。



ここでは、「プリンタで印刷」に関する以下の設定を変更することができます。

「印刷に使用したデータをファイルで残す」チェックボックス

印刷したデータを PDF ファイルにして保存します。

「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面の [保存先] タブ ([60 ページ](#)) で指定したフォルダに保存されます。

4. [OK] ボタンをクリックします。

⇒ 「プリンタで印刷 - 設定」画面が閉じます。

5. [適用] ボタンをクリックします。

6. 画面左上の [🔴] ボタンをクリックします。

⇒ 「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面が閉じます。



ヒント

- 読み取り設定の選択後、すぐに読み取りを行う場合は、[スキャン] ボタンを押します。そのあと、「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面が閉じます。
- この状態で、読み取り設定を登録しておけば、次回から「読み取り設定の選択」画面で設定を切り替えることができます。読み取り設定の登録方法については、「[4.3 読み取り設定を保存するには](#)」(73 ページ) を参照してください。



- 「ScanSnap Manager」のアイコン  をクリックすると表示される

「読み取り設定の選択」画面で、「プリンタで印刷」の読み取り設定を選択することもできます。

操作



7. ScanSnap に原稿をセットします。



「[3.2 読み取りできる原稿](#)」(42 ページ) および「[3.3 原稿のセット方法](#)」(44 ページ) を参照してください。

8. [スキャン] ボタン を押します。

⇒ 原稿の読み取りが開始されます。

⇒ 読み取りが完了したら、「プリンタで印刷」画面が表示されます。



9. 印刷設定を行います。



「プリンタ」ポップアップメニュー

現在設定されているプリンタの名称が表示されます。
プリンタを変更する場合は、使用するプリンタを一覧から選択します。

「プリセット」ポップアップメニュー

プリントするときのオプションセットを選択します。
プリントするとき使用するオプションの組み合わせがある場合は、その組み合わせを「プリセット」として保存できます。
プリントオプションは、「プリセット」ポップアップメニュー配下のポップアップメニューで、オプションのタイプを選択して指定することができます。

以降の項目は、「印刷部数と印刷ページ」を選択した場合に指定できます。

部数

印刷部数を指定します。1～99部まで指定可能です。

「丁合い」チェックボックス

原稿を丁合いして出力する場合にチェックを付けます。

「すべて」ラジオボタン、「開始」／「終了」ラジオボタン

すべてのページを印刷するか、印刷範囲を指定して印刷するかを指定します。

「出力用紙サイズに縮小する」チェックボックス

チェックを付けると、用紙よりも大きい画像は、画像全体が用紙に収まるように縮小して印刷されます。
チェックをはずすと、画像は縮小されずに等倍（実寸サイズ）で印刷されます。

「自動回転する」チェックボックス

チェックを付けると、イメージデータの縦横の比率と出力用紙の縦横の比率が同じになるように回転して印刷します。
チェックをはずすと、回転せずに印刷します。

「用紙中央に印刷する」チェックボックス

チェックを付けると、出力用紙の中央に印刷します。「出力用紙サイズに縮小する」チェックボックスのチェックをはずした場合、画像サイズが出力用紙よりも大きいときは、出力用紙の中心を基点として印刷され、はみ出した画像は印刷されません。
チェックをはずすと、用紙の左上に印刷します。

「印刷に使用したデータをファイルで残す」チェックボックス

チェックを付けると、印刷したデータを PDF ファイルにして保存します。「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面の「保存先」タブ（60 ページ）で指定したフォルダに保存されます。
チェックをはずすと、印刷に使用したデータを削除します。

[PDF] ポップアップメニュー

PDF の処理方法を指定します。

[プレビュー] ボタン

プレビューが表示されます。読み取った原稿のイメージデータの内容を確認して、印刷することができます。

[キャンセル] ボタン

この画面で設定した内容がキャンセルされて、読み取った原稿のイメージデータを削除するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

[プリント] ボタン

設定した内容に従って、印刷します。

[?] ボタン

「プリンタで印刷」画面に関するヘルプを表示します。

10. [プリント] ボタンをクリックします。

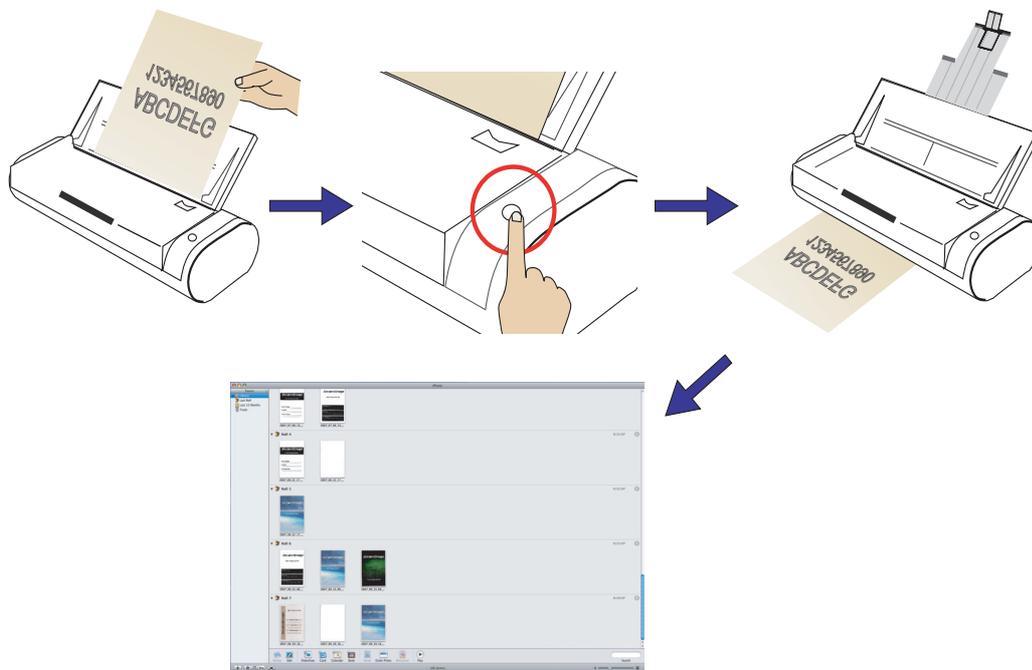
⇒ 印刷が実行されます。



- 「プリンタで印刷」画面の表示中は、ScaSnap で読み取りを実行することができません。「プリンタで印刷」画面を閉じてから、次の読み取りを行ってください。
- 「プリンタで印刷」画面の表示中は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。

5.5 iPhoto へ送信する

ここでは、読み取ったデータを iPhoto に保存する方法について説明します。



■ クイックメニューモードの場合

操作



1. ScanSnap に原稿をセットします。



「3.2 読み取りできる原稿」(42 ページ) および「3.3 原稿のセット方法」(44 ページ) を参照してください。

2. [スキャン] ボタン を押します。

⇒ 原稿の読み取りが開始されます。

⇒ 読み取りが完了すると、「ScanSnap クイックメニュー」が表示されます。



まって!

- ScanSnap クイックメニューの表示中は、ScanSnap で読み取りを実行することができません。処理を完了してから、次の読み取りを行ってください。
- ScanSnap クイックメニューの表示中は、別のアプリケーションを使用して、ファイルの移動／削除／名前の変更などのファイル操作を行わないでください。



3. 「iPhoto」の上にマウスのポインタを移動します。

⇒「iPhoto」の動作説明が表示されます。

4. [iPhoto] をクリックします。



⇒ iPhoto の画面が表示されます。

5. 画面に表示された、読み取った原稿のイメージデータを確認します。

■ 読み取り設定モードの場合



1. Dockメニューの「ScanSnap Manager」のアイコン  をしばらく押し、表示されたメニューから [設定] を選択します。



⇒ 「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

2. [アプリ選択] タブの「アプリケーションの選択」ポップアップメニューで「iPhoto」を選択します。



3. [適用] ボタンをクリックします。

4. 画面左上の [🔴] ボタンをクリックします。

⇒ 「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面が閉じます。



- 読み取り設定の選択後、すぐに読み取りを行う場合は、[スキャン] ボタンを押します。そのあと、「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面が閉じます。
- この状態で、読み取り設定を登録しておけば、次回から「読み取り設定の選択」画面で設定を切り替えることができます。読み取り設定の登録方法については、「[4.3 読み取り設定を保存するには](#)」(73 ページ)を参照してください。
- 「ScanSnap Manager」のアイコンをクリックすると表示される「読み取り設定の選択」画面で、「iPhoto」の読み取り設定を選択することもできます。

操作



5. ScanSnap に原稿をセットします。



「[3.2 読み取りできる原稿](#)」(42 ページ) および「[3.3 原稿のセット方法](#)」(44 ページ)を参照してください。

6. [スキャン] ボタン を押します。

⇒ 原稿の読み取りが開始されます。

⇒ iPhoto の画面が表示されます。

7. 画面に表示された、読み取った原稿のイメージデータを確認します。

第6章



ScanSnap のいろいろな使い方

この章では、ScanSnap の便利な使い方について説明しています。

6.1	ScanSnap Manager を使う	140
-----	----------------------------	-----

6.1 ScanSnap Manager を使う

ScanSnap は、購入時の状態で、そのまま、[スキャン] ボタン  を押すだけでご使用いただけるように、もっとも一般的な使用状況を考慮して初期設定を行っています。(下表) また、特定の読み取りに対して、手動で設定することもできます。ここでは、特定の条件で読み取る方法や、読み取った画像を加工する方法について、代表的な例を挙げて説明します。

[スキャン] ボタン (クイックメニューモード時) の初期設定

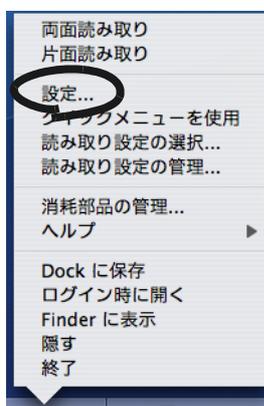
読み取りと保存に関する設定項目	[スキャン] ボタンの初期値
アプリケーションの選択	— (読み取り後に指定)
イメージの保存先	/Users/ <ユーザ名> / Pictures
ファイル名の設定	日付を使用します (yyyy 年 MM 月 dd 日 HH 時 mm 分 ss 秒)
画質の選択	ノーマル (高速に読み取ります)
カラーモードの選択	自動 (原稿ごとにカラーと白黒を自動識別します)
読み取り面の選択	両面読み取り
継続読み取りを有効にします	無効
読み取りモードオプション	
白黒読み取りの濃度	標準
文字をくっきりします	無効
白紙ページを自動的に削除します	有効
文字列の傾きを自動的に補正します	無効
ファイル形式の選択	PDF (*.pdf)
PDF フォーマットオプション	
PDF ファイルオプション	すべてのページを 1 つの PDF ファイルにします
原稿サイズの選択	サイズ自動検出
幅や長さの違う原稿を同時に読み取ります	無効
ファイルサイズ	
圧縮率	3

■ 片面だけを読み取ります

[スキャン] ボタン  は、初期設定では「両面読み取り」に設定されています。片面読み取りをしたい場合は、以下の手順で設定を変更してください。

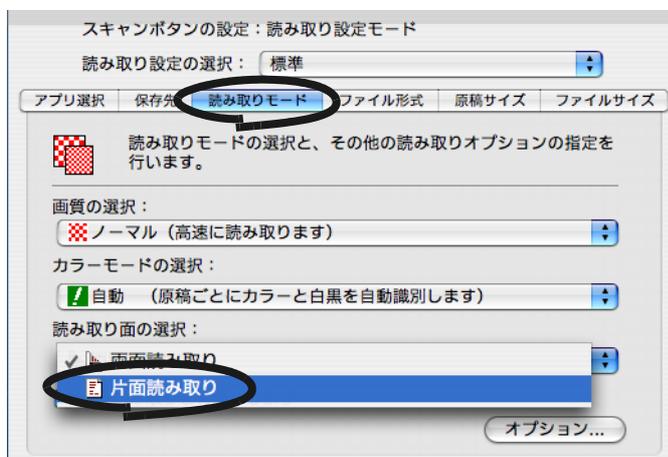


1. Dock メニューの「ScanSnap Manager」のアイコン  をしばらく押し、表示されたメニューから [設定] を選択します。



⇒「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

2. [読み取りモード] タブを選択し、「読み取り面の選択」ポップアップメニューで「片面読み取り」を選択します。



3. [適用] ボタンをクリックします。

4. 画面左上の [] ボタンをクリックします。

⇒「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面が閉じます。

操作



5. 原稿を ScanSnap にセットします。

6. [スキャン] ボタン  を押します。

⇒片面読み取りが実行されます。



ヒント

両面読み取りに戻したい場合は、再度、[操作 2.](#) で、「両面読み取り」を選択してください。一度設定すると、変更するまで有効になります。

■ カラー原稿を白黒で読み取ります

ScanSnap は、初期設定では、カラー原稿と白黒原稿を自動で識別して、カラー原稿はカラーで、白黒原稿は白黒で出力します。

カラー原稿を白黒で出力したい場合は、以下の手順で設定を変更してください。



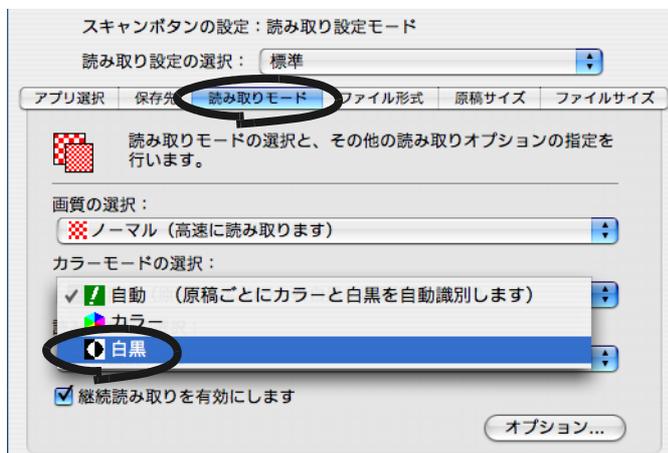
1. Dock メニューの「ScanSnap Manager」のアイコン  をしばらく押し、表示されたメニューから [設定] を選択します。



⇒「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

2. [読み取りモード] タブを選択し、「カラーモードの選択」ポップアップメニューで「白黒」を選択します。

逆に、カラー固定で読み取りたい場合は、「カラー」を選択してください。



3. [適用] ボタンをクリックします。

4. 画面左上の [] ボタンをクリックします。

⇒「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面が閉じます。

操作



5. 原稿を ScanSnap にセットします。

6. [スキャン] ボタン  を押します。

⇒読み取り後、白黒の画像が出力されます。

■ 読み取った原稿から白紙ページを削除します

ScanSnap は、読み取った原稿から、不要な白紙ページを自動的に取り除いて出力することができます。たとえば、両面・片面原稿が混在している場合、両面読み取りを行えば、片面原稿の裏面（白紙）は自動的に削除され、必要なページだけ出力できます。以下の手順で、設定を変更することができます。

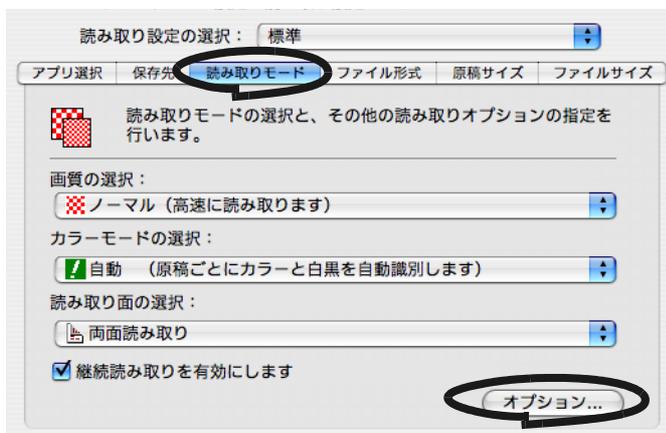


1. Dock メニューの「ScanSnap Manager」のアイコン  をしばらく押し、表示されたメニューから [設定] を選択します。



⇒「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

2. [読み取りモード] タブを選択し、[オプション] ボタンをクリックします。



⇒「読み取りモードオプション」画面が表示されます。

■ 文字列の傾きを自動的に補正します

ScanSnap は、原稿内の文字列が傾いて読み取られても、自動的に補正して出力することができます。

以下の手順で、設定を変更することができます。

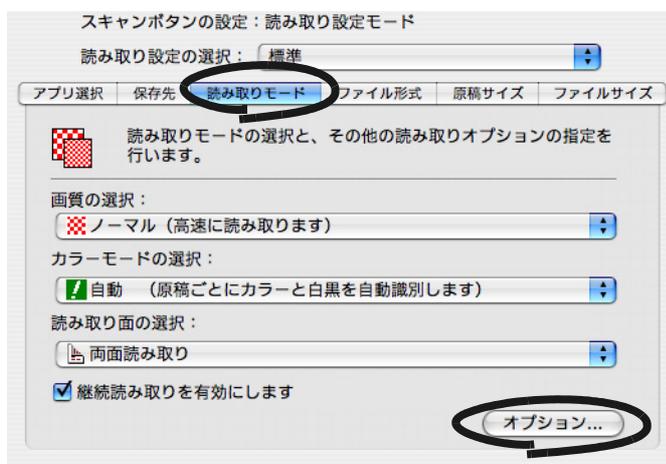


1. Dock メニューの「ScanSnap Manager」のアイコン  をしばらく押し、表示されたメニューから [設定] を選択します。



⇒「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

2. [読み取りモード] タブを選択し、[オプション] ボタンをクリックします。



⇒「読み取りモードオプション」画面が表示されます。

3. 「文字列の傾きを自動的に補正します」チェックボックスにチェックを付けます。



4. [OK] ボタンをクリックします。

5. 「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面の [適用] ボタンをクリックします。

⇒ 次の読み取りから、有効になります。



最大±5° までの傾きを補正できます。

原稿中の文字列を基準にして補正するため、以下のような原稿は画像が傾く場合があります。

- 文字間や行間が、極端に狭かったり、文字が接触している原稿
- 白抜きや装飾文字が多い原稿
- 写真や図などが多い原稿
- 文字の背景に模様がある原稿
- 図面など、文字が一定方向を向いていない原稿
- 斜め方向の長い直線がある原稿
- 手書き文字の原稿

※このような原稿を読み取る場合は、チェックをはずしてください。

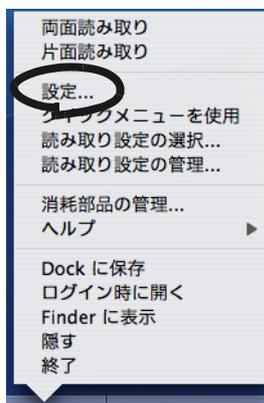
■ 幅や長さの違う原稿を同時に読み取ります

「幅や長さの違う原稿を同時に読み取ります」チェックボックスにチェックを付けると、幅や長さの違う原稿を同時にセットして読み取ることができます。

サイズの異なる原稿を同時にセットして読み取る場合は、以下の方法で行います。

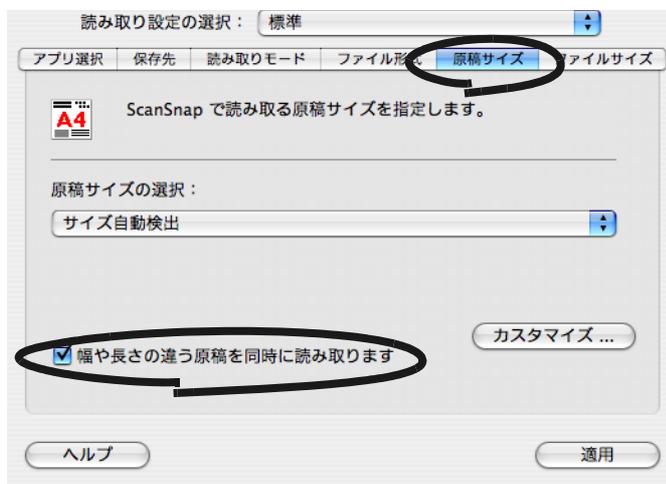


1. Dockメニューの「ScanSnap Manager」のアイコン  をしばらく押し、表示されたメニューから [設定] を選択します。

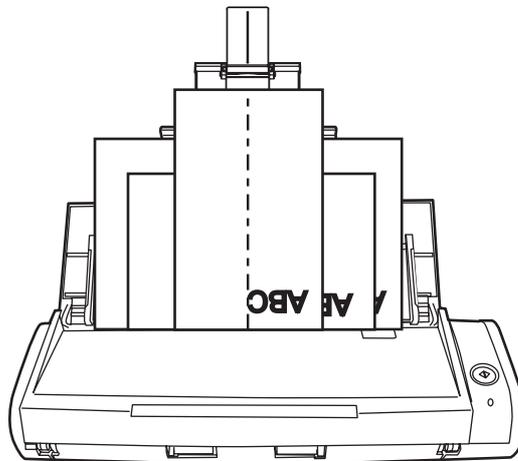


⇒「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

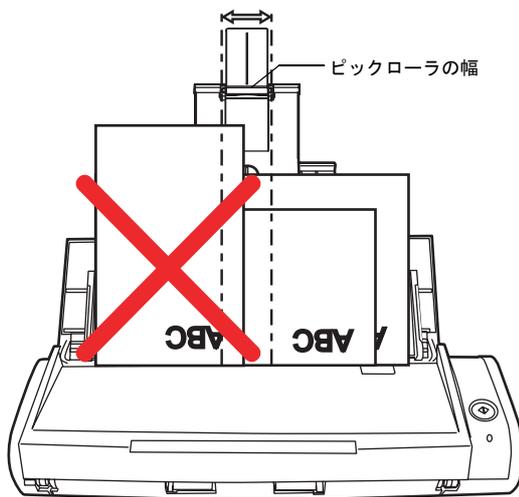
2. [原稿サイズ] タブを選択し、「幅や長さの違う原稿を同時に読み取ります」チェックボックスにチェックを付けます。



6. 原稿を給紙カバー（原稿台）の中央にセットします。



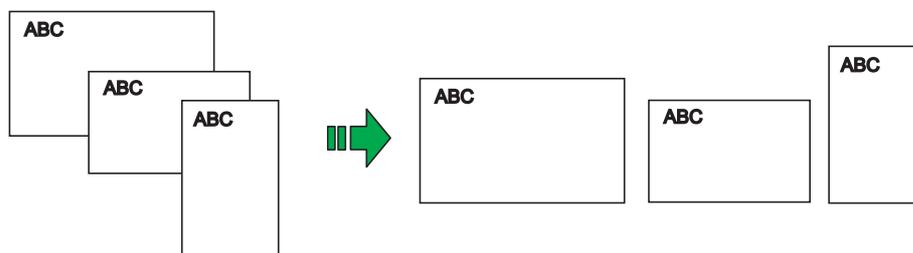
- すべての原稿が、ピックアップ（中央）の下に来るようにセットしてください。（ピックアップからはずれた位置に原稿があると、給紙できません。）



- サイドガイドは、最大サイズの原稿幅に合わせてください。
- サイドガイドに突き当たらない幅の狭い原稿については、まっすぐ読み取られるように原稿をセットしてください。原稿が斜めに読み取られた場合、画像の乱れ（画像欠け／画像に斜めの線が入る）や、原稿サイズと一致しない画像が出力される、などの現象が発生する場合があります。原稿がまっすぐ搬送されない場合は、幅の同じ原稿に分けての読み取りを推奨します。また、原稿がサイドガイドに突き当たっていないと、原稿づまりとなる場合があります。

7. [スキャン] ボタン を押します。

⇒ それぞれの原稿サイズに一致する画像データが出力されます。



原稿が斜めに読み取られた場合に、原稿サイズと一致しない画像データが出力される場合があります。

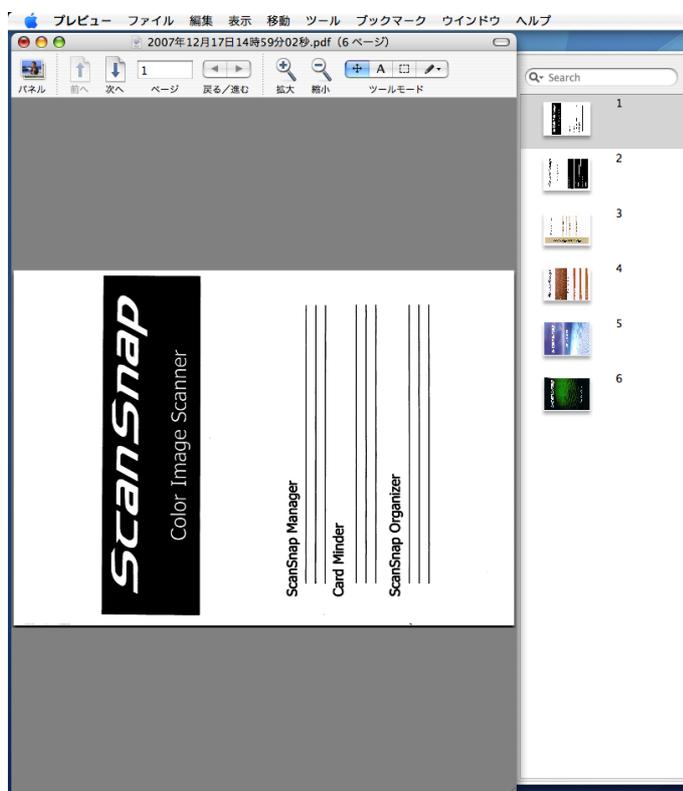
■ PDF ファイルのページを回転します

プレビューの回転機能を使えば、原稿を読み取ってファイルに保存したあとでも、PDF ファイル上でページの向きを修正することができます。

以下の方法で、読み取り後にページを回転してください。



1. 対象となる PDF ファイルを、プレビューで開きます。

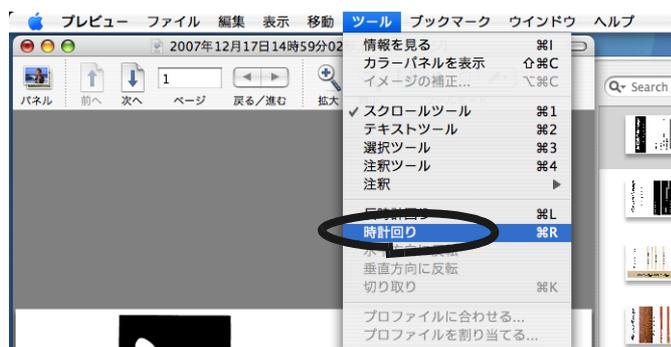


2. メニューバーから [時計回り] または [反時計回り] を選択します。

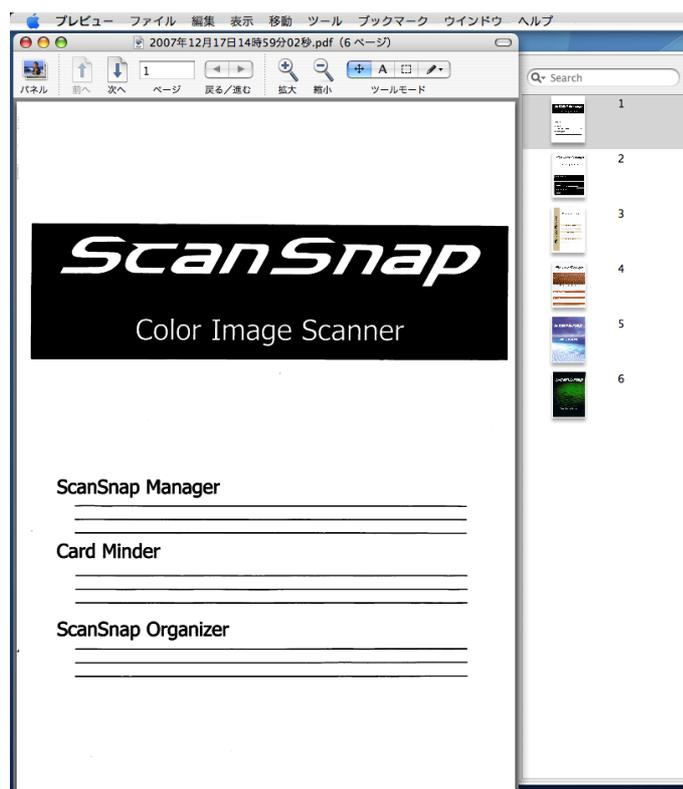
(1) Mac OS X v10.2 / v10.3 の場合、[表示] → [時計回り] または [反時計回り] を選択します。

(2) Mac OS X v10.4 / v10.5 の場合、[ツール] → [時計回り] または [反時計回り] を選択します。

ここでは、[時計回り] を選択します。



⇒ 回転した結果が表示されます。



ヒント

本機能の詳細については、「プレビューヘルプ」を参照してください。



Mac OS X v10.5 の場合、ページ単位で回転することができます。

Mac OS X v10.4 以前のオペレーティングシステムの場合、ページ単位で回転することができません。

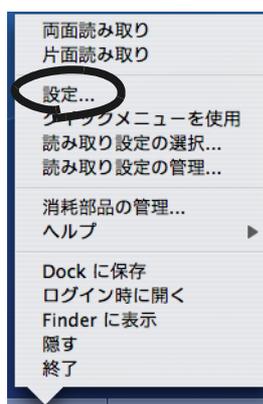
■ 読み取った原稿を複数のファイルに保存します

ScanSnap は、読み取った原稿のイメージデータを、一定のページごとに区切って、別々の PDF ファイルとして保存することができます。

たとえば、定型の伝票を一度に読み取って、1枚ずつ別々のファイルとして保存することができます。

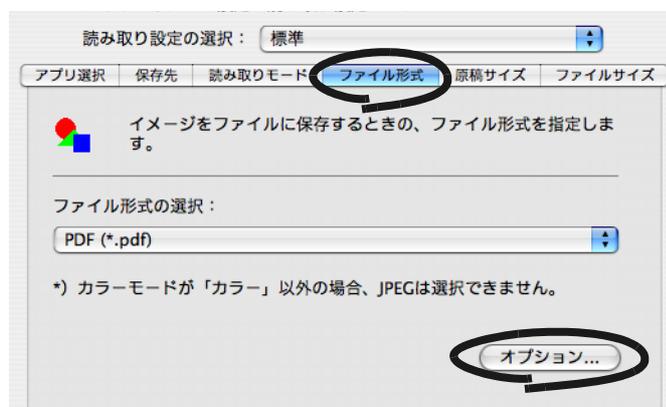


1. Dock メニューの「ScanSnap Manager」のアイコン  をしばらく押し、表示されたメニューから [設定] を選択します。



⇒「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面が表示されます。

2. [ファイル形式] タブを選択し、[オプション] ボタンをクリックします。



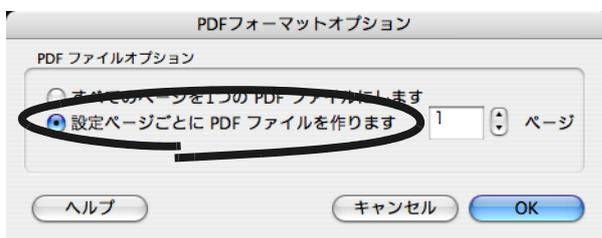


「ファイル形式の選択」ポップアップメニューに、「PDF (*.pdf)」が選択されていることを確認してください。

⇒「PDF フォーマットオプション」画面が表示されます。

3. 「設定ページごとに PDF ファイルを作ります」を選択し、ページ数を指定します。

ここで指定したページ数分読み取るごとに、ファイルが1つ作成されます。



「両面読み取り」の場合、1枚の原稿は、表・裏で2ページとなります。
また、[読み取りモード] タブ→ [オプション] ボタン→「白紙ページを自動的に削除します」チェックボックスにチェックを付けると、白紙ページが混じていた場合にページがずれる場合がありますので、チェックをはずしておくことを推奨します。

4. [OK] ボタンをクリックします。

5. 「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面の [適用] ボタンをクリックします。

⇒ 次の読み取りから、設定が有効になります。

■ 読み取り中にエラーが発生して分断されたデータを1つのファイルにします

複数枚の原稿を読み取り中に、原稿づまりなどのエラーが発生すると、以下のようなエラーメッセージが表示されます。



この場合は、以下のような手順で、読み取りを継続したり、中止したりすることができます。

<読み取りを継続する場合>



1. 画面右の「最後のページ」で、読み取り状況を確認します。
2. まだ読み取られていない原稿を、再度 ScanSnap にセットします。
3. [継続読み取り] ボタンをクリックするか、[スキャン] ボタン  を押して、読み取りを再開します。

<読み取りを中止する場合>



1. [読み取り中止] ボタンをクリックします。

⇒ 以下の画面が表示されます。



2. すでに読み取った画像を保存せずに終了する場合は [はい] ボタン、保存して終了する場合は [いいえ] ボタンをクリックします。

([キャンセル] ボタンをクリックすると、最初の画面に戻ります。)



以下のように、[継続読み取り] ボタンの無効なエラーメッセージが表示される場合があります。



この場合は、継続読み取りできません。

第7章



困ったときには

この章では、原稿づまりの対処方法およびトラブルの対処方法について説明しています。

7.1	原稿づまりの処理	162
7.2	トラブルと対処	164

7.1 原稿づまりの処理

読み取り中に原稿が詰まった場合は、以下の方法で原稿を取り除いてください。

注意

- つまった原稿は無理に引き抜かず、ADF カバーを開けてから取り除いてください。
- つまった原稿を取り除くときは、鋭利な部分に触れないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- つまった原稿を取り除くときは、ネクタイやネックレスなどが ScanSnap 内部に巻き込まれないように注意してください。
- ガラスの表面が高温になっている場合があります。やけどに注意してください。



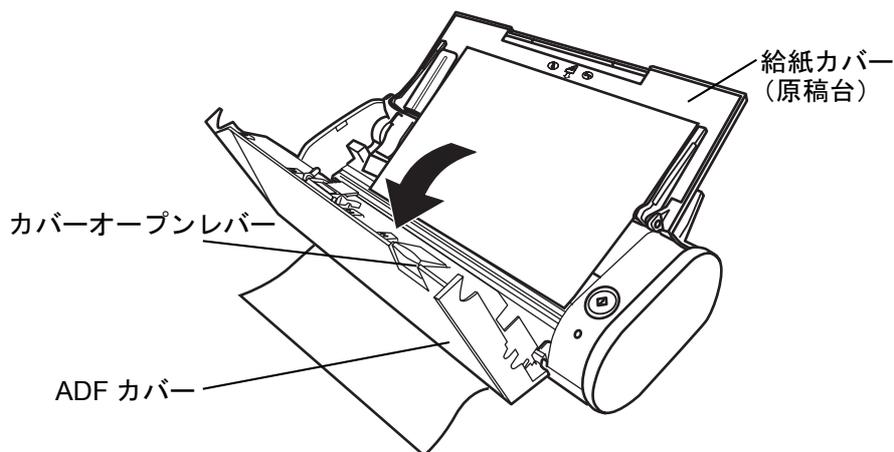
ヒント

ScanSnap 内部は、「8.3 ScanSnap 内部の清掃」(174 ページ)にある清掃の目安をもとに清掃してください。

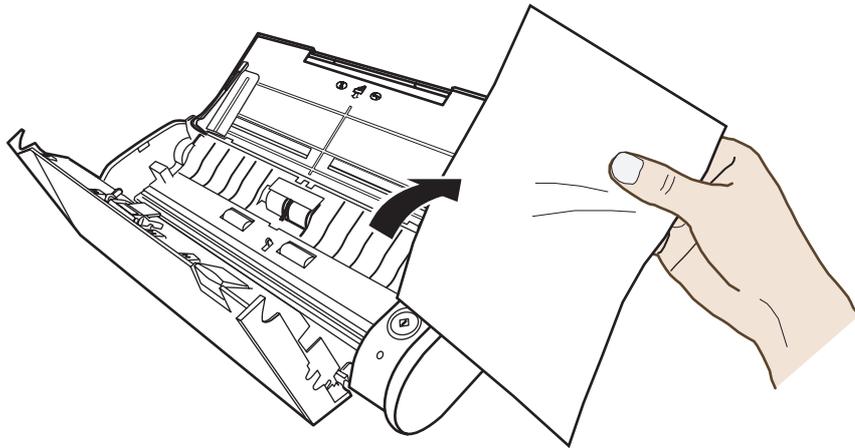
操作



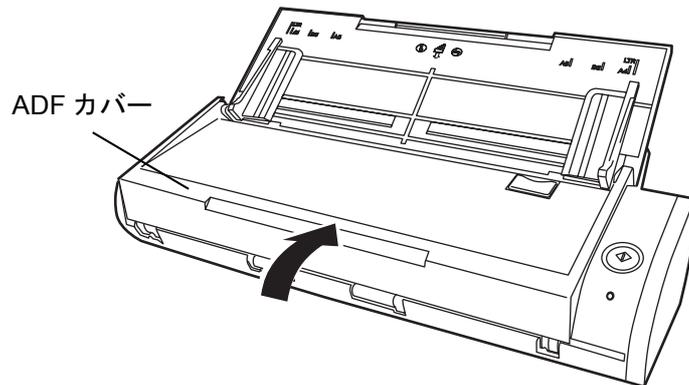
1. 給紙カバー（原稿台）の上にある原稿を取り除きます。
2. カバーオープンレバーを手前に引いて、ADF カバーを開きます。



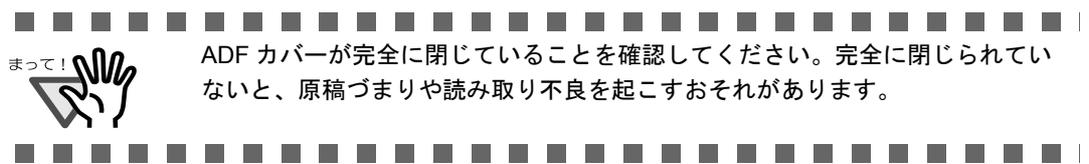
3. つまっている原稿を取り除きます。



4. ADF カバーを閉じます。



⇒「カチン」と音がします。



ADF カバーが完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられていないと、原稿づまりや読み取り不良を起こすおそれがあります。

7.2 トラブルと対処

ScanSnap を使用中に発生するトラブルとその対処方法について説明します。

修理を依頼される前に、以下の項目を点検してください。

項目を点検しても改善されない場合は、株式会社 PFU イメージング サービス & サポートセンター (205 ページ) にお問い合わせください。

こんなとき	ここをお調べください	対処方法
電源が入らない	電源ケーブルまたは給電ケーブル、USB ケーブルが正しく接続されていますか？	電源ケーブルまたは給電ケーブル、USB ケーブルを正しく接続してください。 USB ハブを使用している場合は、ハブの電源を確認してください。 また、給電ケーブル使用時は、電源付き (AC アダプター付き) USB ハブを使用してください。電源なしのハブに接続した場合、正常動作しません。
		電源ケーブルまたは給電ケーブルを一度抜いてから、再度、接続してください。 (※電源ケーブルまたは給電ケーブルの抜き差しは、5 秒以上間隔をあけて行ってください。)
	給紙カバー (原稿台) が閉まっていませんか？ (給紙カバー (原稿台) の開閉で、自動的に電源が ON / OFF します。)	給紙カバー (原稿台) を開けてください。
	Mac OS X は正常に起動していますか？ (コンピュータの電源に連動して、自動的に ScanSnap の電源が ON / OFF します。)	Mac OS X が正常に起動するまでお待ちください。 Mac OS X の起動処理中やコンピュータのスリープ中は、①ランプが消灯する場合があります。

こんなとき	ここをお調べください	対処方法
読み取りが開始されない	ScanSnap Manager S300M の ScanSnap Manager がインストールされていますか？	ScanSnap Manager S300M の ScanSnap Manager をインストールしてください。 〔2.1 インストールします〕(6 ページ) を参照してください。
	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	USB ケーブルを正しく接続してください。 USB ハブを使用している場合は、ハブの電源を確認してください。 また、USB ハブは、電源付き (AC アダプター付き) のハブを使用してください。 電源なしのハブに接続した場合、正常動作しません。
	電源ランプ④が点滅していませんか？	電源ケーブルまたは給電ケーブルを一度抜いてから、再度、接続してください。 (※電源ケーブルまたは給電ケーブルの抜き差しは、5 秒以上間隔をあけて行ってください。)
	ScanSnap Manager が起動していますか？ (正常に起動している場合は、Dock メニューに「ScanSnap Manager」のアイコン  が表示されています。)	「ScanSnap Manager」のアイコンが表示されていない場合は、Finder から、「ScanSnap」のインストール場所 (通常は、[アプリケーション] → [ScanSnap]) → [ScanSnap Manager] を選択して、ScanSnap Manager を起動してください。
	ScanSnap Manager が、正常に動作していますか？ (正常に動作していない場合は、Dock メニューの「ScanSnap Manager」のアイコンが  になっています。) コンピュータによっては、電源切断前に ScanSnap がスリープ状態になっていると電源再投入直後には ScanSnap を認識できないことがあります。	以下の手順を実施してください。 1. ScanSnap の電源を切断し、再度投入してください。 (※電源の切断/投入は、5 秒以上間隔をあけて行ってください。) 状況が変わらない場合は、2. を行ってください。 2. USB ハブをお使いの場合は、ScanSnap とコンピュータを直接接続してください。 状況が変わらない場合は、3. を行ってください。 3. コンピュータを再起動してください。 上記の対処を行っても改善されない場合は、ScanSnap Manager をアンインストールし、再度、インストールしてください。 アンインストールについては、「付録 A アンインストール」(193 ページ) を参照してください。
コンピュータをスリープ状態から、復帰させましたか？	コンピュータをスリープ状態から復帰させた場合は、マウスを動かすか、キーボードの任意のキーを押したあとに、読み取りを行ってください。	
画像に縦すじが発生する	ScanSnap 内部がよごれていませんか？	〔第 8 章 清掃方法〕(171 ページ) に従って、清掃してください。

こんなとき	ここをお調べください	対処方法
画像にモアレ（縞模様など）が目立つ	「 画質の選択 」ポップアップメニュー（62 ページ）を変更し読み取りを試されましたか？	読み取り画像にモアレ（縞模様など）が目立つ場合は、「 画質の選択 」ポップアップメニュー（62 ページ）を変更し、読み取りを試してみてください。 「ノーマル」→「スーパーファイン」
画像がずれる／画像がゆがむ	原稿が正しくセットされていますか？	「 3.3 原稿のセット方法 」（44 ページ）を参考にして、原稿を正しくセットしてください。
画像が薄い／画像が濃い	「白黒」読み取りで、「白黒読み取りの濃度」の設定が極端に薄く（または濃く）なっていませんか？	「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面の「読み取りモード」タブ→「オプション」ボタンで、「白黒読み取りの濃度」を調整してください。
原稿上の細かい線がかすれてしまう（例：表の罫線が見えない）	カラー読み取りで、活字や罫線つきの表、手書き文字が含まれる原稿を読み取っていませんか？	このような場合は、「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面で、「読み取りモード」タブの「オプション」ボタン→「文字をくっきりします」チェックボックスにチェックを付けてください。それでもかすれる場合には、読み取りモードを変更してください。
読み取りに時間がかかる	ご使用のコンピュータは、推奨条件を満たしていますか？	「 インストールする前に 」（6 ページ）で、システム条件を確認してください。推奨に満たないCPU、メモリ容量の場合は、読み取り速度が低下します。その場合は、「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面の「読み取りモード」タブ→「オプション」ボタンで、以下の設定を無効にする（チェックをはずす）と、読み取り速度を速くすることができます。 ・文字列の傾きを自動的に補正します
	USB 1.1 で接続していませんか？ USB 1.1 の場合、データ転送量が大きくなると、極端に読み取り速度が遅くなる場合があります。	USB2.0 に対応した USB ポートをお持ちの場合、そちらを使用してください。（USB ハブをご使用の場合は、そちらも USB2.0 に対応している必要があります。）（*1）
マルチフィードが多発する 注）マルチフィードとは、原稿が重なって読み込まれることです。	パッドユニットがよごれていませんか？	「 8.3 ScanSnap 内部の清掃 」（174 ページ）に従って、パッドを清掃してください。
	パッドユニットが消耗していませんか？	「 9.2 パッドユニットの交換 」（182 ページ）に従って、パッドユニットを交換してください。
	原稿の枚数が搭載できる枚数を超過していませんか？	「 3.3 原稿のセット方法 」（44 ページ）に従って、原稿をセットしてください。

こんなとき	ここをお調べください	対処方法
原稿が読み込まれない（途中で止まる）	ピックアップローラがよごれていませんか？	「8.3 ScanSnap 内部の清掃」（174 ページ）に従って、ピックアップローラを清掃してください。
	ピックアップローラユニットが消耗していませんか？	「9.3 ピックローラユニットの交換」（186 ページ）に従って、ピックアップローラユニットを交換してください。
	搬送路に異物が入っていませんか？	搬送路の異物を取り除いてください。（「7.1 原稿づまりの処理」（162 ページ）を参照してください。）
	名刺やはがきなどの厚紙を読み取っていませんか？ 名刺、はがきなどの厚い原稿を読み取る場合、まれに、セットした原稿がうまく送り込まれないことがあります。	以下の方法を試してください。 ・読み取りを開始したら、1 枚目の原稿を指などで軽く押し込む ・原稿をセットする向きを変える
白黒原稿を読み取っているのに、ファイルサイズがカラー原稿を読み取ったときと変わらない	白黒原稿を、「カラー」読み取りしていませんか？	「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面の「読み取りモード」タブの「カラーモードの選択」ポップアップメニューで「白黒」を設定してください。
両面原稿を読み取ると、裏面が透けて読み取られてしまう（裏写り）	「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面の「読み取りモード」タブの「オプション」ボタンで、「文字をくっきりします」チェックボックスのチェックがはずれていませんか？	「文字をくっきりします」チェックボックスにチェックを付けてください。
読み取ったはずの原稿のデータが消えてしまう（「白紙ページを自動的に削除します」が有効の場合）	「白紙ページを自動的に削除します」が有効の場合、白紙に近い原稿（例：2、3 行の文字が書かれたほぼ白紙の原稿）も、白紙とみなされて削除される場合があります。	「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面で、「読み取りモード」タブの「オプション」ボタンをクリックし、「白紙ページを自動的に削除します」チェックボックスのチェックをはずしてください。
読み取った画像が傾いている（「文字列の傾きを自動的に補正します」が有効の場合）	原稿が± 5° 以上傾いていませんか？	傾き補正が可能な角度は、± 5° までです。 「文字列の傾きを自動的に補正します」チェックボックス（65 ページ）を参照してください。 この範囲を超えないように、サイドガイドで原稿をしっかりそろえて（原稿のセット方法（44 ページ）を参照）読み取ってください。
	原稿に問題はありませんか？ 原稿に記載されている内容によっては、自動傾き補正が正常に機能しない場合があります。	「文字列の傾きを自動的に補正します」（148 ページ）を参照してください。

こんなとき	ここをお調べください	対処方法
読み取った画像の文字が読めない	文字の小さい原稿を読み取っていませんか？	小さい文字がつぶれてしまうような場合は、「画質の選択」ポップアップメニューを「スーパーファイン」または「エクセレント」にして読み直してください。 (※ただし、「エクセレント」で読み取ると、イメージデータサイズが大きくなるため、読み取りにかかる時間が長くなります。)
現在の設定が「読み取り設定」として保存できない	クイックメニューモードで読み取っていませんか？ 上記の場合、設定内容は、「読み取り設定」を保存することができません。	「読み取り設定」に任意の設定を保存したい場合は、[スキャン] ボタンの操作モードを「読み取り設定モード」に切り替えてください。 設定の保存方法については、「 4.3 読み取り設定を保存するには 」(73 ページ) を参照してください。
原稿がうまく搬送されない、つまる	1.ScanSnap の内部がよごれていませんか？ 2. 薄い紙、破れた紙、折れ曲がった紙などを読み取っていませんか？	1.ScanSnap の内部 (よごれている部分) を清掃してください。 2. 搬送製の悪い原稿は、1 枚ずつ読み取ってください。
原稿に黒い跡が残る	鉛筆書きの原稿を読み取っていませんか？	鉛筆書きの原稿を読み取る際は、原稿に黒い跡が残る可能性があります。 また、ローラよごれ、原稿送り不良の原因となります。読み取る場合は、できる限り頻繁にローラを清掃してください。(清掃方法については、「 8.3 ScanSnap 内部の清掃 」(174 ページ) を参照してください。)
画像が欠ける／画像に斜めの線が入る／原稿の幅が大きく出力される	「原稿サイズの選択」ポップアップメニューで「サイズ自動検出」を選択して読み取った際に、原稿が斜めに傾いていませんか？ (サイドガイドできちんと原稿をそろえて読み取っていますか？)	サイドガイドで原稿をしっかりとそろえて読み取ってください。 「幅や長さの違う原稿を同時に読み取ります」(150 ページ) のような場合は、幅の狭い原稿が、まっすぐ読み取られるように原稿をセットしてください。 原稿がまっすぐ搬送されない場合は、幅の同じ原稿に分けて読み取ることをお勧めします。
ScanSnap クイックメニューが表示されなくなった	「読み取り設定モード」に切り替わっていませんか？	Dock メニューの「ScanSnap Manager」のアイコンをしばらく押し、表示されたメニューの [クイックメニューを使用] にチェックを付けてください。
「読み取り設定の選択」画面が表示されない	「クイックメニューモード」に切り替わっていませんか？ (読み取ったあとに ScanSnap クイックメニューが表示されませんか？)	Dock メニューの「ScanSnap Manager」のアイコンをしばらく押し、表示されたメニューの [クイックメニューを使用] のチェックをはずしてください。
	「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面が開いていませんか？	「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面を閉じてください。

こんなとき	ここをお調べください	対処方法
「ScanSnap Manager-読み取りと保存に関する設定」画面で、アプリケーションが選択できない	「クイックメニューモード」で使用していませんか？ 「クイックメニューモード」は、読み取ったあとにメニューからアプリケーションを選択するモードです。 あらかじめアプリケーションを指定する必要があります。	アプリケーションを指定して読み取る場合は、「読み取り設定モード」を使用してください。 Dockメニューの「ScanSnap Manager」のアイコンをしばらく押し、表示されたメニューの「クイックメニューを使用」のチェックをはずすと、「読み取り設定モード」になります。
ScanSnap で読み取ったファイルが、対象アプリケーションで開けない (例：PDF ファイルを Adobe Acrobat で開こうとするとエラーが発生する)	ファイル保存先として、ネットワーク経由で、他のコンピュータやハードディスクのフォルダを指定していませんか？その際に、ScanSnap で読み取ったファイルを保存中に、LAN ケーブルが抜けるなどの原因で、エラーが発生しませんでしたか？このようなネットワーク上のエラーが発生した場合、ファイルが正しく保存されず、保存途中の異常ファイルがフォルダに残る可能性があります。	ファイル保存先のフォルダを確認し、異常ファイルを削除して、再度読み取りを行ってください。
ラップトップコンピュータがスリープモードになってもラップトップコンピュータのバッテリーの減りが早い	ScanSnap を USB バスパワーでご使用の場合、ラップトップコンピュータをスリープモードにしても ScanSnap の電源ランプがついていませんか？	ラップトップコンピュータによっては、スリープ時も USB バス電源が切れないものがあります。 ScanSnap をご使用にならない場合は、ScanSnap の給紙カバーを閉めるか、給電ケーブルを抜いてください。

ー：関係なし

1)：USB 1.1 で接続されているか、USB 2.0 で接続されているのか分からない場合は、

「ScanSnap Manager」のアイコン



をしばらく押し、表示されたメニューから

[ヘルプ] → [ScanSnap Manager について] を選択し、「ScanSnap Manager-バージョン情報」画面で、[詳細] ボタンをクリックしてください。「スキャナ情報」の「USB タイプ」に表示されます。

※この他にも、ホームページの「よくあるご質問 (FAQ)」コーナーで、最新の情報を随時アップしていきます。

詳細については、以下の ScanSnap ホームページを参照してください。

<http://scansnap.fujitsu.com/jp/>

7

困ったときには

第8章

清掃方法

この章では、ScanSnap 本体の清掃方法について説明しています。

 **警告**

- ScanSnap を清掃する場合は、電源ケーブルまたは給電ケーブルをコンセントまたはコンピュータから抜いて電源を切ってから行ってください。火災、感電の原因となることがあります。
- 内部の部品（パッドユニット、ピックアップローラなど）は、小さなお子様の手の届くところに置かないでください。けがの原因となることがあります。
- 清掃などの目的でエアスプレーおよびアルコール等を含むスプレーは使用しないでください。スプレーから噴射される強い空気によって、埃などが装置内部に侵入し、故障や装置異常の原因となる場合があります。また、静電気などによるスパーク（火花）により引火する恐れがあります。

8.1	清掃用品	172
-----	------------	-----

8.2	ScanSnap 外部の清掃	173
-----	----------------------	-----

8.3	ScanSnap 内部の清掃	174
-----	----------------------	-----

8.1 清掃用品

清掃用品のご購入については、以下のホームページを参照していただくか、または富士通コワーコ株式会社にお問い合わせください。

<http://scansnap.fujitsu.com/jp/support/consumables.html>

富士通コワーコ株式会社

TEL: 0120-505-279 (お客様総合センター)

<http://jp.fujitsu.com/group/coworco/>

品名	商品番号	出荷単位	備考
クリーナ F1(*1) 	0631151	1 本	容量 : 100ml
クリーニングワイプ (*2)	0631190	1 箱	24 袋入り
乾いた布 (*3)	市販品	—	—

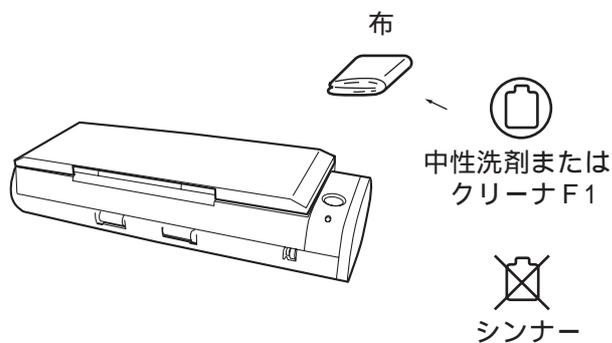
- *1) クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナ液が残らないように柔らかい布で本剤をよくふき取ってください。
- *2) クリーニングワイプは、クリーナ F1 をしみこませたウェットティッシュタイプのクリーナです。クリーナ F1 を布にしみこませる代わりに、本品を使用することができます。
- *3) 繊維クズの発生しにくい布であれば使用可能です。

8.2 ScanSnap 外部の清掃

ScanSnap 外部は、乾いた布や、少量のクリーナ F1 または中性洗剤を浸した布で清掃します。



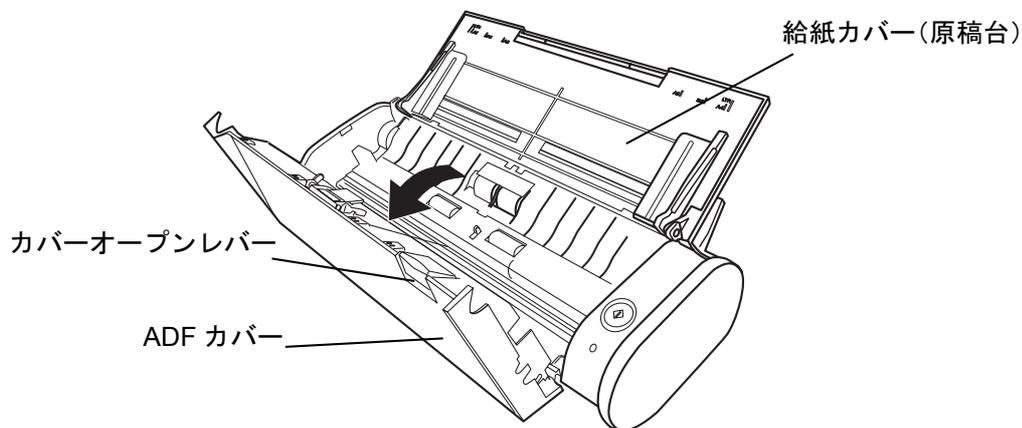
- シンナーなどの有機溶剤は、絶対に使用しないでください。
- 清掃中に、内部に水分が入らないように注意してください。
- クリーナ F1 を大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナ液が残らないように柔らかい布で本剤をよくふき取ってください。



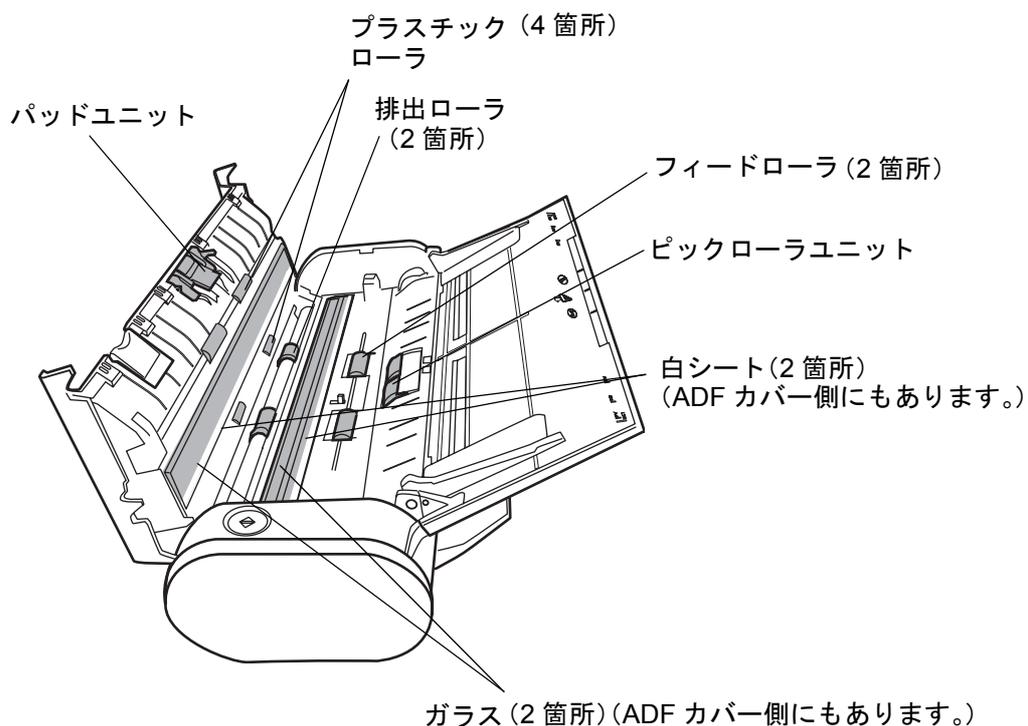
操作



1. カバーオープンレバーを手前に引いて、ADF カバーを開きます。



2. 乾いた布に、少量のクリーナ F1 を浸して、以下の箇所を清掃します。



まって!

大量に使用するとなかなか乾かない場合があります。適量を布にしみこませて使用してください。また、清掃箇所にクリーナ液が残らないように柔らかい布で本剤をよくふき取ってください。

以下の箇所は、電源を切断して清掃します。

- **パッドユニット（1箇所）**

ゴム製のパッド表面に付着したよごれやほこりを、上から下に向かってふき取ります。このとき、金属部分に、手や布が引っかからないように注意してください。

- **ガラス（ADFカバー側、本体側の2箇所）**

ガラス表面に付着したよごれやほこりを、軽くふき取ります。

- **白シート（ADFカバー側、本体側の2箇所）**

ガラスの端の白い部分です。表面に付着した汚れやほこりを、軽くふき取ります。

- **ピックアップユニット（1箇所）**

手で上から下に向かって回転させながら、よごれやほこりを軽くふき取ります。ローラの表面を傷めないように注意してください。特に黒い異物が付着している場合、給紙性能に影響が出ますので、十分に清掃を行ってください。

- **プラスチックローラ（ADFカバー側4箇所）**

手で少しずつ回転させながら、よごれやほこりを軽くふき取ります。ローラの表面を傷めないように注意してください。特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響が出ますので、十分に清掃を行ってください。

以下の箇所は、電源を入れて回転させながら清掃します。

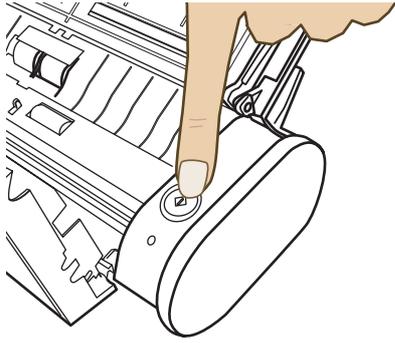
- **フィードローラ（2箇所）**

ローラの表面を傷めないように、よごれやほこりを軽くふき取ります。特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響が出ますので、十分に清掃を行ってください。

- **排出ローラ（2箇所）**

ローラの表面を傷めないように、よごれやほこりを軽くふき取ります。特に黒い異物が付着している場合、搬送性能に影響しやすいため、十分に清掃を行ってください。

電源ランプが白点灯の状態、ADFカバーを開き、[スキャン] ボタン  を3秒間長押しすると、一定量、フィードローラと排出ローラが回転します。このあと、ADFカバーを閉じるまで、[スキャン] ボタンを押すごとに、一定量、フィードローラと排出ローラが回転します。（目安として、[スキャン] ボタンを7回押し、フィードローラと排出ローラが1回転します。）

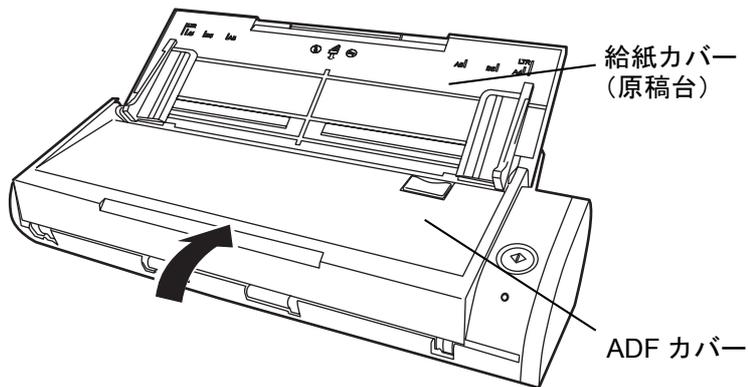


[スキャン]ボタンを3秒間長押しします。
⇒ フィードローラと排出ローラが
回転します。



フィードローラと排出ローラの清掃時のみ、電源ケーブルまたは給電
ケーブルを接続し、電源ランプが白点灯している状態で行ってください。

3. ADF カバーを閉じます。



⇒ 「カチン」と音がします。



ADF カバーが完全に閉じていることを確認してください。完全に閉じられてい
ないと原稿づまりや読み込み不良を起こすおそれがあります。

第9章

消耗品／定期交換部品

この章では、消耗品／定期交換部品の交換方法および購入方法について説明しています。

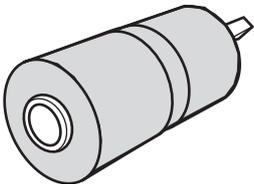
警告

- ScanSnap の消耗品／定期交換部品の交換をする場合は、電源ケーブルまたは給電ケーブルをコンセントまたはコンピュータから抜いて電源を切ってから行ってください。火災、感電の原因になることがあります。
- 内部の部品（パッドユニット、ピックアップローラなど）は、小さなお子様の手の届くところに置かないでください。けがの原因となる場合があります。

9.1	消耗品の番号と交換周期.....	180
9.2	パッドユニットの交換	182
9.3	ピックアップローラユニットの交換	186

9.1 消耗品の番号と交換周期

消耗品の商品番号と交換周期の目安を、以下に示します。

No.	品名	商品番号	交換周期（目安）
1	パッドユニット 	0637870	1万枚または1年ごと
2	ピックローラユニット 	0637880	10万枚または1年ごと

交換周期は、A4 上質 64g / m² (55kg / 連) の用紙を使用した場合の目安であり、使用する用紙によって交換周期が異なります。
 当社指定の消耗品以外は使用しないでください。



以下の手順で、消耗部品の、交換の目安および使用回数を知ることができます。

1. Dock メニューの「ScanSnap Manager」のアイコン  をしばらく押し続けます。
2. 表示されたメニューから [消耗部品の管理] を選択します。



⇒消耗部品の使用回数を表示している画面（「ScanSnap Manager- 消耗部品の管理」画面）が表示されます。



「消耗部品交換の目安」を目安にして、消耗部品の交換をしてください。

消耗品のご購入については、以下のホームページを参照していただくか、または富士通コワーコ株式会社にお問い合わせください。

<http://scansnap.fujitsu.com/jp/support/consumables.html>

富士通コワーコ株式会社

TEL: 0120-505-279 (お客様総合センター)

<http://jp.fujitsu.com/group/coworco/>

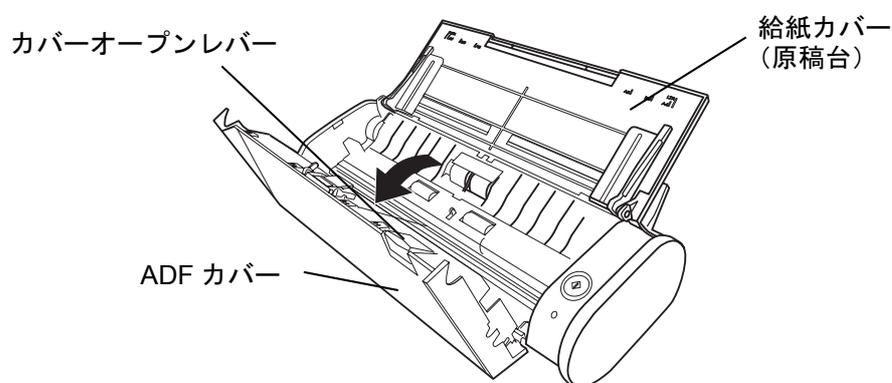
9.2 パッドユニットの交換

パッドユニットの交換方法を、以下に示します。

操作

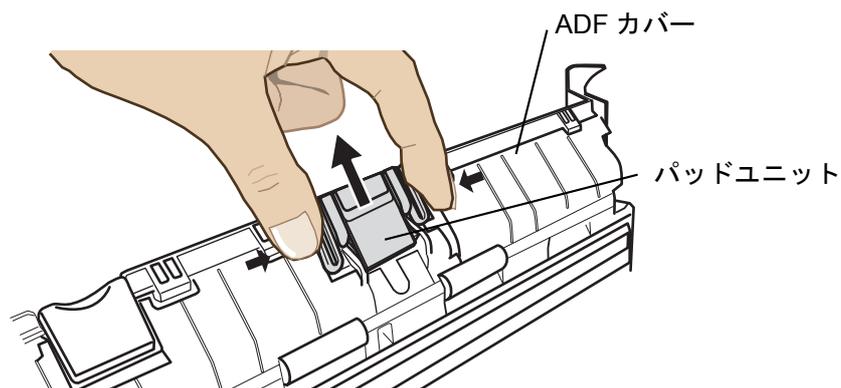


1. 給紙カバー（原稿台）上に原稿がある場合は、原稿を取り除きます。
2. カバーオープンレバーを手前に引いて、ADFカバーを開きます。



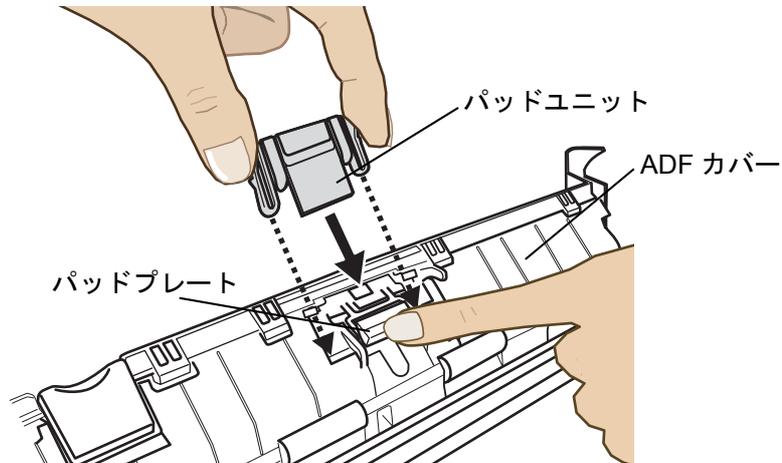
3. パッドユニットを取りはずします。

パッドユニットの両端をつまんで、矢印の方向に取りはずします。



4. 新しいパッドユニットを取り付けます。

パッドプレートを押しながら、取り付けてください。

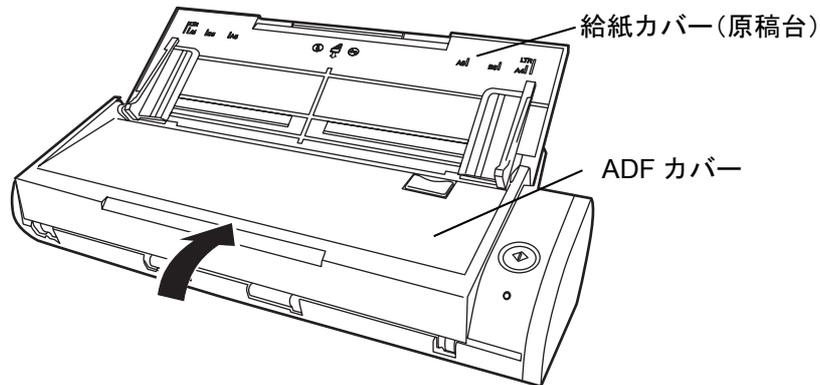


5. ツメにしっかりと取り付けられていることを確認します。



パッドユニットがしっかりと取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。

6. ADF カバーを閉じます。

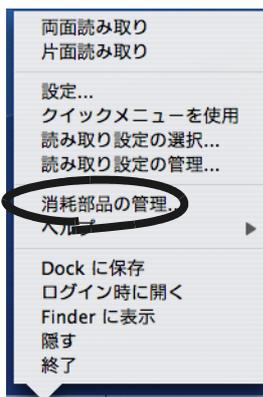


⇒「カチン」と音がします。

7. ScanSnap の電源を入れます。



8. Dock メニューの「ScanSnap Manager」のアイコン  をしばらく押し、表示されたメニューから [消耗部品の管理] を選択します。



⇒ 「ScanSnap Manager- 消耗部品の管理」画面が表示されます。

9. 「ScanSnap Manager- 消耗部品の管理」画面で、「パッド使用回数」の [リセット] ボタンをクリックします。



⇒ 確認画面が表示されます。



⇒ [はい] ボタンをクリックすると、使用回数が 0 になります。



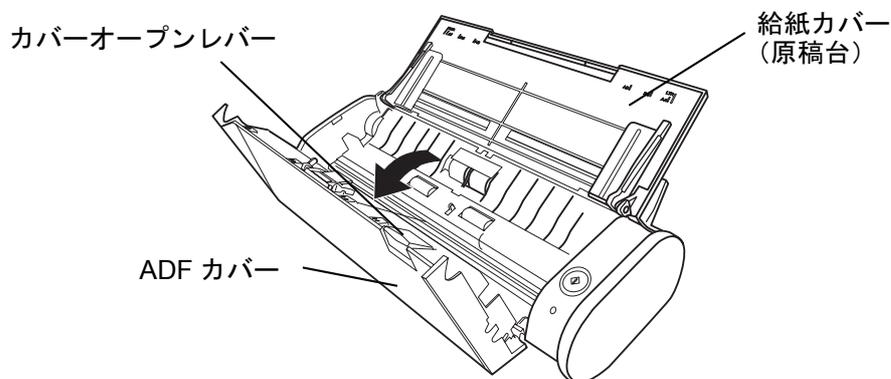
9.3 ピックローラユニットの交換

ピックアップローラユニットの交換方法を、以下に示します。

操作

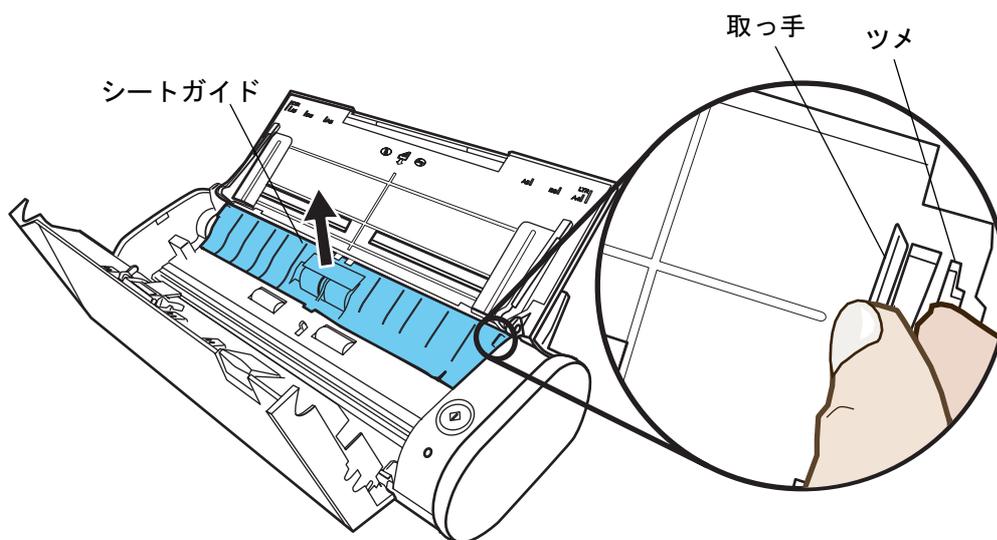


1. 給紙カバー（原稿台）上に原稿がある場合は、原稿を取り除きます。
2. カバーオープンレバーを手前に引いて、ADFカバーを開きます。

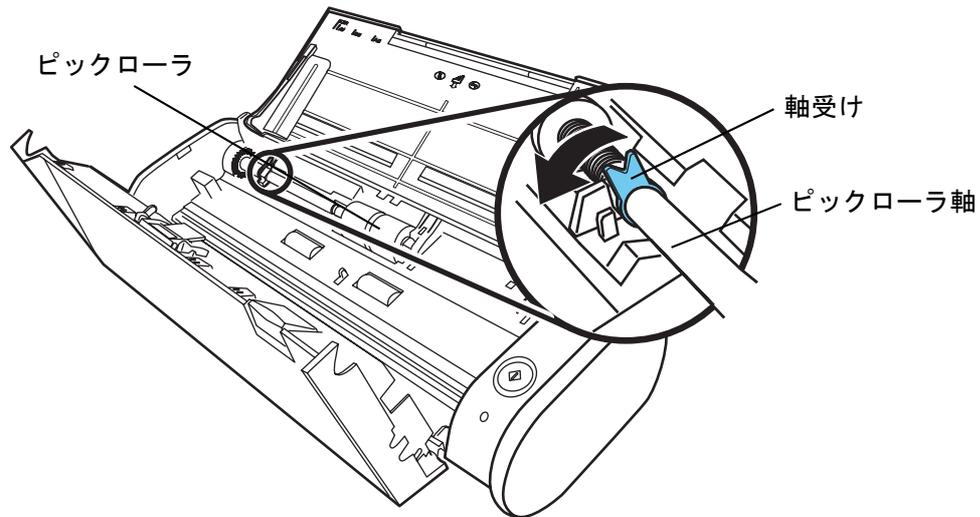


3. シートガイドを取りはずします。

両端の取っ手をつまみ、ツメを内側に押しながら、持ち上げてはずします。

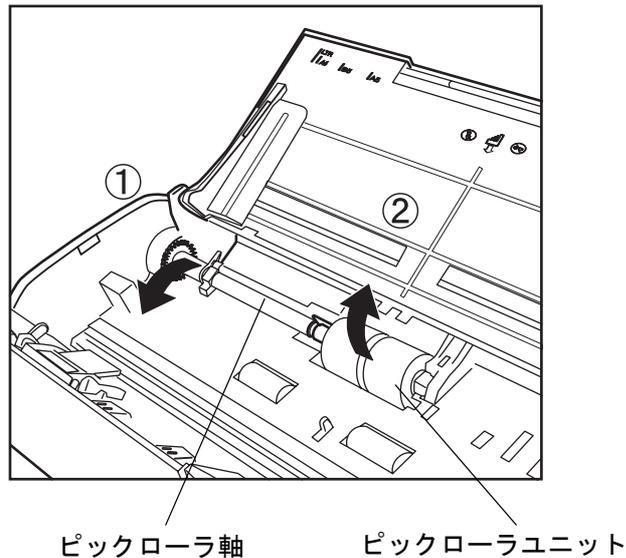


4. ピックローラの軸受け（左側）を回転させます。



5. ピックローラユニットを、軸ごとはずします。

ピックローラ軸の左側を軽く引き上げ（5mm 程度）、左側にずらしてから、上に持ち上げて取りはずします。

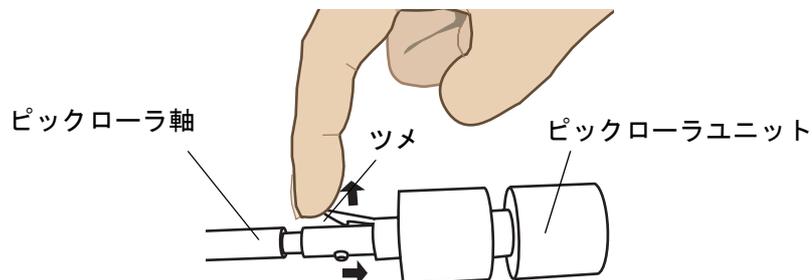


まって！

ピックローラの周辺が紙粉でよごれている場合があります。そのまま放置すると、読み取り不良の原因となりますので、乾いた布に少量のクリーナ F1 を浸して、紙粉をふき取ってください。
※水や中性洗剤、エアスプレーは使用しないでください。

6. ピックローラユニットを、ピックアップ軸からはずします。

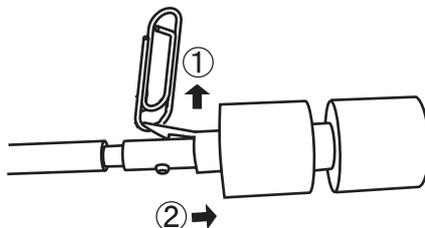
ピックアップユニットのツメを持ち上げながら、ピックアップ軸を引き抜きます。



まっぴー!

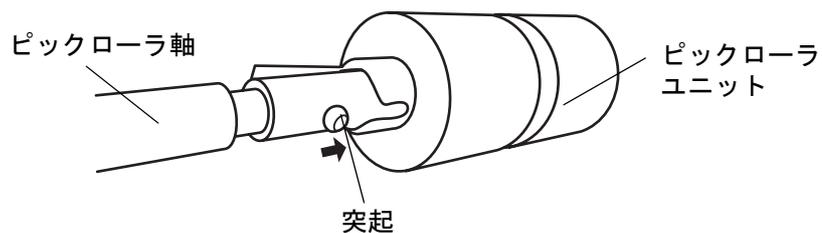
指のつめを使って持ち上げると、指のつめが傷ついたり、欠けたりする可能性があります。

指でうまく持ち上げられない場合は、クリップなどを使ってピックアップユニットのツメを持ち上げてください。



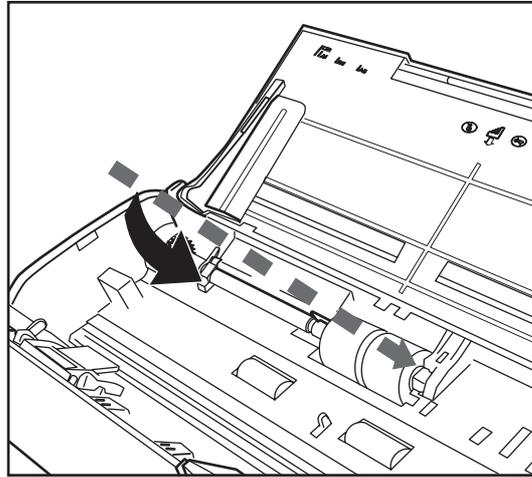
7. 新しいピックアップユニットを、ピックアップ軸に取り付けます。

ピックアップ軸の突起部分をピックアップユニットの溝にはめ込みます。

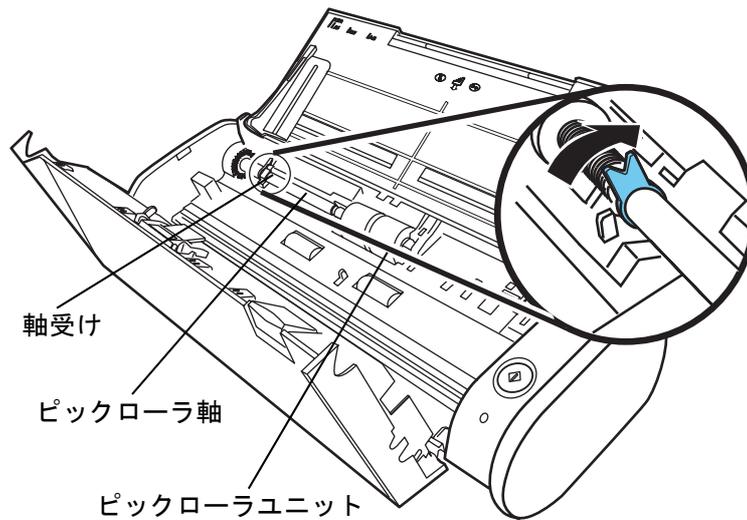


8. ピックローラを ScanSnap に取り付けます。

まず、右側の軸受けに、斜め上方からピックローラ軸の先端をはめ、軸を寝かせながら、徐々にはめ込みます。



9. 軸受け（左側）を固定します。

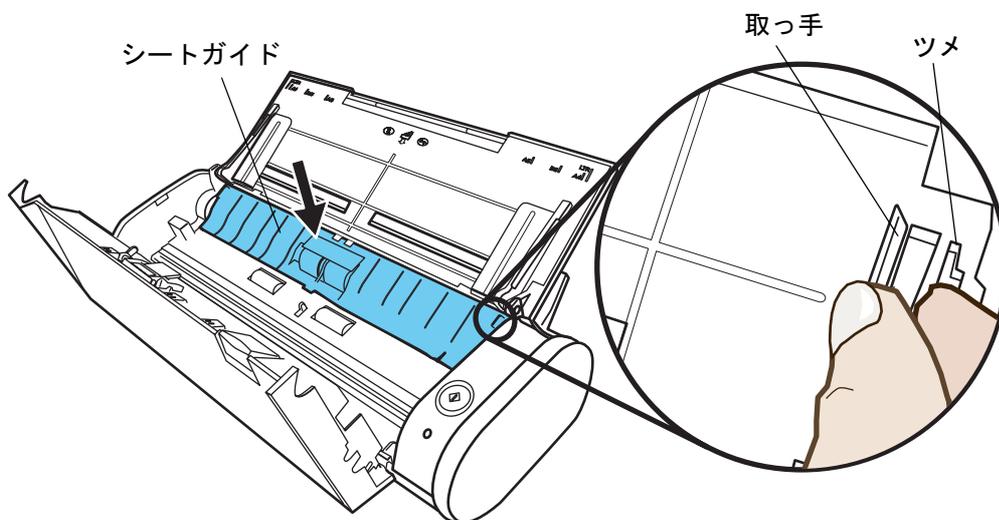


まって！

ピックローラが完全に取り付けられていることを確認してください。完全に取り付けられていないと、原稿づまりなどの給紙エラーを起こすおそれがあります。

10. シートガイドを取り付けます。

両端の取っ手をつまんで、シートガイドを元の位置に取り付けます。



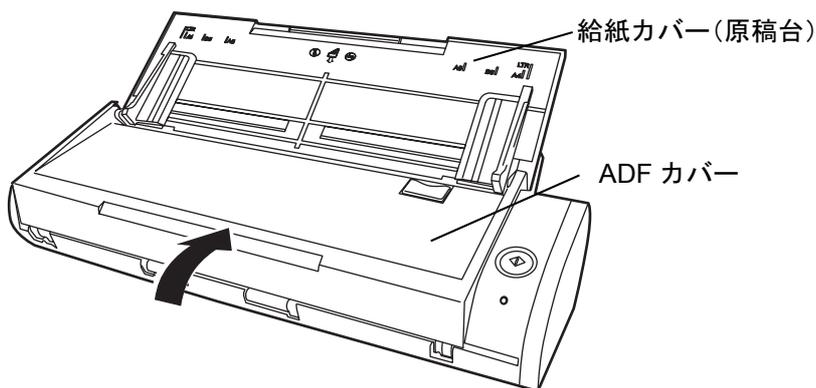
⇒「パチン」と音がして、ツメが外側に開きます。



まって!

シートガイドがしっかり固定されていることを確認してください。取り付けが完全でないと、原稿づまりや給紙エラーなどを引き起こす原因となります。

11. ADF カバーを閉めます。



⇒「カチン」と音がします。

12. ScanSnap の電源を入れます。



13. Dock メニューの「ScanSnap Manager」のアイコン をしばらく押し、

表示されたメニューから [消耗部品の管理] を選択します。



⇒ 「ScanSnap Manager- 消耗部品の管理」画面が表示されます。

14. 「ScanSnap Manager- 消耗部品の管理」画面で、「ピックアップローラ使用回数」の [リセット] ボタンをクリックします。



⇒ 確認画面が表示されます。



⇒ [はい] ボタンをクリックすると、使用回数が 0 になります。



付録 A

アンインストール

アンインストールとは、インストールでコピーした ScanSnap のプログラムファイルを削除し、変更したシステムの環境をもとに戻すことです。

ScanSnap 用のプログラム ScanSnap Manager を、以下の手順でアンインストールします。

A

■ Mac OS X v10.2 の ScanSnap Manager を削除する場合



1. コンピュータを起動します。
2. ScanSnap Manager が動作している場合は、ScanSnap Manager を終了します。(Dock メニューの「ScanSnap Manager」のアイコン  をしばらく押し、表示されたメニューから [終了] をクリックします。)
3. Dock メニューに「ScanSnap Manager」のアイコンが残っていれば、「ScanSnap Manager」のアイコンをゴミ箱に入れます。
4. アップル () メニューから [システム環境設定] を選択します。
⇒「システム環境設定」画面が表示されます。

5. 「システム環境設定」画面で [ログイン項目] タブを選択します。

⇒「ログイン項目」画面が表示され、ログインされているアプリケーションの一覧が表示されます。

6. 削除する「ScanSnap Manager」を選択します。

7. [取り除く] ボタンをクリックします。

⇒「ScanSnap Manager」がリストから削除されます。

8. 「ログイン項目」画面を閉じます。

9. マルチユーザー環境では、すべてのユーザーで、操作 2. から操作 8. までの操作を繰り返します。

10. コンピュータの管理者権限を持つユーザーでログインして、Finder から、「ScanSnap」のインストール場所（通常は、[アプリケーション] → [ScanSnap]）を選択して、[ScanSnap] フォルダをゴミ箱に入れます。

11. ゴミ箱を空にします。

⇒「ScanSnap Manager」が削除されます。

■ Mac OS X v10.3 の ScanSnap Manager を削除する場合



1. コンピュータを起動します。

2. ScanSnap Manager が動作している場合、ScanSnap Manager を終了しま

す。(Dock メニューの「ScanSnap Manager」のアイコン  をしばら

く押し、表示されたメニューから [終了] をクリックします。)

3. Dock メニューに「ScanSnap Manager」のアイコンが残っていれば、「ScanSnap Manager」のアイコンをゴミ箱に入れます。
4. アップル () メニューから [システム環境設定] を選択します。
⇒「システム環境設定」画面が表示されます。
5. 「システム環境設定」画面で [アカウント] を選択します。
⇒「アカウント」画面が表示されます。
6. 「アカウント」画面で [マイアカウント] の該当するユーザーを選択します。
7. 「アカウント」画面で [起動項目] タブを選択します。
⇒「起動項目」画面が表示され、ログイン時に自動的に開くアプリケーションの一覧が表示されます。
8. 「起動項目」リストで、削除する「ScanSnap Manager」を選択します。
9. [-] (削除) ボタンをクリックします。
⇒「ScanSnap Manager」が「起動項目」リストから削除されます。
10. 「アカウント」画面を閉じます。
11. マルチユーザー環境では、すべてのユーザーで、操作 2. から操作 10. までの操作を繰り返します。
12. コンピュータの管理者権限を持つユーザーでログインして、Finder から、「ScanSnap」のインストール場所 (通常は、[アプリケーション] → [ScanSnap]) を選択して、[ScanSnap] フォルダをゴミ箱に入れます。
13. ゴミ箱を空にします。
⇒「ScanSnap Manager」が削除されます。

■ Mac OS X v10.4 または Mac OS X v10.5 の ScanSnap Manager を削除する場合



1. コンピュータを起動します。
2. ScanSnap Manager が動作している場合、ScanSnap Manager を終了します。(Dock メニューの「ScanSnap Manager」のアイコン  をしばらく押し、表示されたメニューから [終了] をクリックします。)
3. Dock メニューに「ScanSnap Manager」のアイコンが残っていれば、「ScanSnap Manager」のアイコンをゴミ箱に入れます。
4. アップル () メニューから [システム環境設定] を選択します。
⇒「システム環境設定」画面が表示されます。
5. 「システム環境設定」画面で [アカウント] を選択します。
⇒「アカウント」画面が表示されます。
6. 「アカウント」画面で [マイアカウント] の該当するユーザーを選択します。
7. 「アカウント」画面で [ログイン項目] タブを選択します。
⇒「ログイン項目」画面が表示され、ログイン時に自動的に開くアプリケーションの一覧が表示されます。
8. 「ログイン項目」リストで、削除する「ScanSnap Manager」を選択します。
9. [-] (削除) ボタンをクリックします。
⇒「ScanSnap Manager」が「ログイン項目」リストから削除されます。

10.「アカウント」画面を閉じます。

11.マルチユーザー環境では、すべてのユーザーで、操作 2. から操作 10. までの操作を繰り返します。

12.コンピュータの管理者権限を持つユーザーでログインして、Finder から、「ScanSnap」のインストール場所（通常は、[アプリケーション] → [ScanSnap]）を選択して、[ScanSnap] フォルダをゴミ箱に入れます。

13.ゴミ箱を空にします。

⇒「ScanSnap Manager」が削除されます。

A

インストール

付録 B

スキャンボタンの設定項目 (メニューモードでの機能差)

スキャンボタンの設定の「クイックメニューモード」(30 ページ)と「読み取り設定モード」(35 ページ)では、「ScanSnap Manager- 読み取りと保存に関する設定」画面で設定できる項目が違います。

用途に合わせて使い分けてください。

(○ : 設定可能、× : 設定不可)

設定項目		クイック メニューモード	読み取り設定 モード	ページ
読み取り設定	読み取り設定の選択	×	○	54 ページ 73 ページ
	新しい読み取り設定	×	○	55 ページ
	読み取り設定の管理	×	○	55 ページ
アプリ選択	アプリケーションの選択	× *1	○	56 ページ
	アプリケーションを起動しません (ファイル保存のみ)	×	○	
	Adobe Acrobat	×	○	
	Adobe Acrobat Reader または、 Adobe Reader	×	○	
	プレビュー	×	○	
	指定したフォルダに保存	×	○	
	メールで送信	×	○	
	プリンタで印刷	×	○	
iPhoto	×	○		
保存先	イメージの保存先	○	○	60 ページ
	ファイル名の設定	○	○	61 ページ

B

付録 B スキャンボタンの設定項目（メニューモードでの機能差）

設定項目		クイック メニューモード	読み取り設定 モード	ページ
読み取り モード	画質の選択	○	○	62 ページ
	ノーマル（高速に読み取ります）	○	○	
	ファイン（綺麗に読み取ります）	○	○	
	スーパーファイン（より綺麗に読み取ります）	○	○	
	エクセレント（更に綺麗に読み取ります）	○	○	
	カラーモードの選択	○	○	63 ページ
	自動	○	○	
	カラー	○	○	
	白黒	○	○	
	読み取り面の選択	○	○	63 ページ
	継続読み取りを有効にします	○	○	64 ページ
	オプション	○	○	64 ページ
	白黒読み取りの濃度	○	○	
	文字をくっきりします	○	○	
白紙ページを自動的に削除します	○	○		
文字列の傾きを自動的に補正します	○	○		
ファイル 形式	ファイル形式の選択	×	○	66 ページ
	PDF (*.pdf)	○	○	
	JPEG (*.jpg)	×	○	
	オプション	○	○	67 ページ
	すべてのページを1つのPDFファイルにします	○	○	
設定ページごとにPDFファイルを作ります	○	○		

設定項目		クイック メニューモード	読み取り設定 モード	ページ
原稿 サイ ズ	原稿サイズを選択	○	○	68 ページ
	サイズ自動検出	○	○	
	A4 (210 × 297mm)	○	○	
	A5 (148 × 210mm)	○	○	
	A6 (105 × 148mm)	○	○	
	B5 (182 × 257mm)	○	○	
	B6 (128 × 182mm)	○	○	
	はがき (100 × 148mm)	○	○	
	名刺 (90 × 55mm、55 × 90mm)	○	○	
	レター (8.5 × 11 インチ、216 × 279.4mm)	○	○	
	リーガル (8.5 × 14 インチ、216 × 355.6mm)	○	○	
カスタマイズ	○	○	69 ページ	
幅や長さの違う原稿を同時に読み取ります	○	○	70 ページ	
フ ァ イ ル サ イ ズ	圧縮率	○	○	71 ページ
	1	○	○	
	2	○	○	
	3	○	○	
	4	○	○	
	5	○	○	

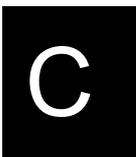
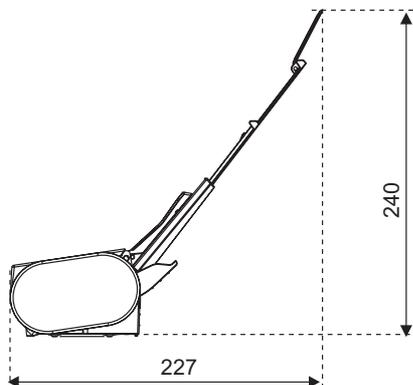
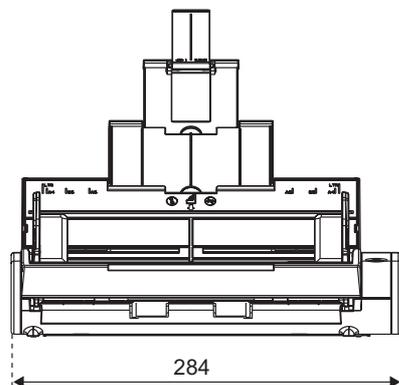
*1：クイックメニューモード時（30 ページ）は、読み取り後に ScanSnap クイックメニューから動作を指定することによって、関連したアプリケーションが起動されます。そのため、[アプリ選択] タブは表示されません。

付録 C

設置諸元

ScanSnap の設置諸元は、以下のとおりです。

項目		仕様	
外形寸法（幅×奥行×高さ） *：外形寸法は、参考値		最小：284 × 95 × 77 mm（給紙台を閉じた状態） 最大：284 × 227 × 240 mm（給紙台を開き、 シュータガイドをのばした状態）	
質量		1.4 kg	
入力電源	電圧	電源ケーブル接続時	100V
		給電ケーブル接続時	5V（接続するコンピュータに、給電ケーブル用と装置接続用（USB ケーブル用）の 2 つ USB ポートが必要）
	相数	単相	
	周波数	50 / 60Hz	
消費電力	電源ケーブル接続時	稼動時：9.0W 以下 休止時：3.2W 以下	
	給電ケーブル接続時	稼動時：5.0W 以下 休止時：2.0W 以下	
温度／湿度 許容範囲	温度（℃）	稼動時：5 ～ 35 休止時：-20 ～ 60 保管運搬時：-20 ～ 60	
	湿度（％）	稼動時：20 ～ 80 休止時：8 ～ 95 保管運搬時：8 ～ 95	



修理・お問い合わせについて

当社では、お客様に安心して ScanSnap をご使用いただけるよう、万全のサポート体制を整えています。

必要な時にそのつどご利用いただけるスポットサービスにより、お客様を強力にバックアップいたします。

■スポットサービス

スポットサービスには、以下のサービスがあります。

● 持込／SENDバック修理

修理窓口まで機器を持ち込んでいただき、修理を行います。

持込／SENDバック修理	定額 * 送料：発送元負担
引き取り修理サービス（付加）	指定日に修理機を引き取ります。
代替機サービス（付加）*1 *2	修理中に代替機を貸し出します。

*1 代替機については、同一機種ではなく、同等機能をもつ機種となることがあります。

*2 代替機サービスは、引き取り修理サービスとの併用でのみご利用できます。代替機サービスのみのご利用はできません。ご了承ください。

診断料	診断後、交換部品が高価などの理由で修理をキャンセルされた場合などにかかります。
-----	---

スポットサービスの場合の故障・修理、および各種お問い合わせ	
受付窓口	PFU イメージング サービス & サポートセンター
E-mail	scanners@pfu.fujitsu.com
電話	0120-37-9089 042-788-7746（携帯電話からおかけの場合）
受付時間	月～金曜日 9:00～12:00、13:30～17:00 （土・日・祝祭日・年末年始・当社休業日を除く）
ホームページ	http://scansnap.fujitsu.com/jp/

修理・お問い合わせについて

なお、本サービス内容は、予告なく変更される場合があります。
詳細につきましては、当社ホームページでご確認いただくか、または **PFU イメージングサービス & サポートセンター**までお問い合わせください。

- 本製品の修理はお客様自身で行わないでください。
- 本製品の保証条件は同梱の当社の保証書の規定をご覧ください。
- 本製品の修理部品の供給期間は製造中止後 **5 年間**です。

索引

あ行

圧縮率.....	71
アプリケーションの設定.....	57
アプリケーションの選択.....	56
アプリ選択.....	56
イメージの保存先.....	60
印刷.....	123
インストール.....	6
インストールする前に.....	6
エクセレント.....	62
お使いになる前に.....	1
オフィス機能.....	89, 90
オプション（ファイル形式）.....	67
オプション（読み取りモード）.....	64

か行

カスタマイズ.....	69
カスタム原稿サイズ.....	69
カスタムサイズ.....	68
画像の選択.....	62
傾き補正.....	65
片面読み取り.....	142
カバーオープンレバー.....	3
カラーモードの選択.....	63
カラー読み取り.....	63
給紙カバー（原稿台）.....	3
給電ケーブル.....	19
共有フォルダ.....	91
クイックメニュー.....	86
クリーナ F1.....	172
継続読み取りをします.....	64
原稿サイズ.....	68
原稿サイズの選択.....	68

原稿ぶまりの処理.....	162
原稿のセット方法.....	44
コピー.....	123
コピー機代わりに利用.....	123
困ったときには.....	161

さ行

サイズ自動選択.....	68
サイドガイド.....	3
システム条件.....	6
指定したフォルダに保存.....	91, 93, 100
自動（カラー／白黒自動識別）.....	63
自動給紙部の清掃.....	174
消耗品.....	180
消耗品の交換.....	179
初期設定.....	140, 141
白黒読み取り.....	63, 144
白黒読み取りの濃度.....	64
スーパーファイン.....	62
スキャンボタン.....	3
清掃方法.....	171
設定ページごとに PDF ファイルを作成.....	157
操作の流れ.....	24
操作ボタン.....	3

た行

追加と削除.....	57
電源ケーブル.....	17
電源コネクタ.....	4
電源の ON/OFF.....	40
電源ランプ.....	3
電源 ON.....	20
トラブルと対処.....	164

な行

ノーマル 62

は行

白紙ページ削除 146
 白紙ページを自動的に削除 65
 パッドユニット 180
 パッドユニットの交換 182
 幅や長さの違う原稿の読み取り 70, 150
 ピックローラユニット 180
 ピックローラユニットの交換 186
 ファイル形式 66
 ファイル形式の選択 66
 ファイルサイズ 71
 ファイル名の設定 61
 ファイン 62
 プリンタで印刷 125, 129
 プレビュー画面（指定したフォルダに保存）
 93, 101
 プレビュー画面（メールで送信） 111, 119
 保存先 60

ま行

メールで送信 110, 116
 メールに添付 108
 メールに添付して送信 108
 文字列の傾きを自動的に補正 65, 148
 文字をくっきり 65

や行

読み取り 30, 35
 読み取り設定 73
 「読み取り設定の選択」画面 50
 読み取り設定の登録 74
 読み取り設定の名前を変更 81
 読み取り設定モード 27
 読み取り設定を削除 84

読み取り設定を使った読み取り 78
 読み取り設定を変更する 51
 読み取りできる原稿 42
 読み取りと保存に関する設定 52
 読み取り面の選択 63
 読み取りモード 62

A

ADF カバー 3

I

iPhoto 136, 137

S

ScanSnap クイックメニューの設定 86
 ScanSnap Manager アイコン 48
 ScanSnap Manager のインストール 8
 ScanSnap Manager のメニュー 49
 ScanSnap の状態 3
 ScanSnap の初期設定 140
 ScanSnap 背面 4

U

USB ケーブル 17, 19
 USB コネクタ 4

ScanSnap S300M

オペレーターガイド

P3PC-2212-01Z0

発行日 2008年2月

発行責任 株式会社PFU

-
- 本書の内容は、改善のため予告なく変更することがあります。
 - 本書に記載されたデータの使用に起因する、第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社は一切その責任を負いません。
 - 無断転載を禁じます。